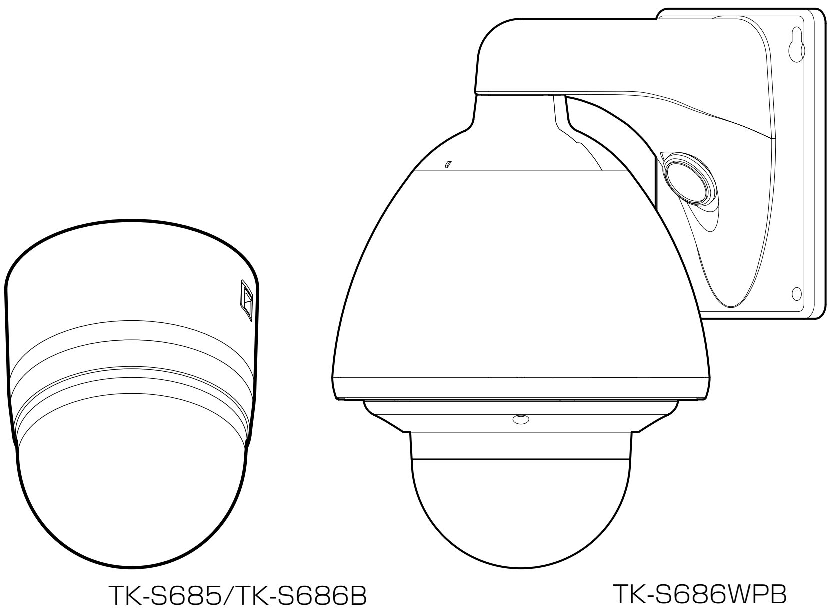
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

コンビネーションカメラ（ドーム型）
コンビネーションカメラ（屋外ドーム型）

型名 **TK-S685**
TK-S686B
TK-S686WPB

取扱説明書



TK-S685/TK-S686B　　TK-S686WPB

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0835-001A

もくじ

はじめに

接続・設置 (TK-S685/TK-S686B)

接続・設置 (TK-S686WPB)

リモコンからカメラの設定を変える

詳細設定

RM-P2200/RM-P2600/RM-P1000 の詳細設定

RM-P2580 の詳細設定

その他

特長

防水性・耐候型筐体の採用 (TK-S686WPB)

防塵・防滴構造で、雨の影響も受けないため、直接屋外に設置することができます。（IP66 仕様）

※ TK-S685/TK-S686B は屋内仕様であり、屋外や水分のかかる場所でご使用になれません。

高画質の実現

新開発デジタル信号処理回路により水平解像度 540 本（標準）、S/N50dB(標準) の高解像度・高画質を実現しました。

高倍率ズームレンズの採用

光学 36 倍 (TK-S686B/TK-S686WPB)・光学 27 倍 (TK-S685) の高倍率レンズによって、きめ細かな監視が可能です。
また、高倍率ながら最大口径比 F1.6（WIDE 端）と明るいレンズのため、カラーモード時 1 lx（AGC SUPER, 50 %）の高感度を実現しています。

高精度の高速回転台を装備

新開発のダイレクトドライブ方式回転台を採用し、水平約 500°/s、垂直約 500°/s の高速回転により、プリセットポジションへすばやく移動が可能です。また減速機構を持たないため、停止精度、耐久性が高く、低速でも滑らかに回転が行えます。

昼夜監視可能

赤外線カットフィルター挿抜機構を装備していますので、夜間などの低照度時は赤外線カットフィルターを OFF にすることで高感度モード（白黒）に切り換えることができます。

多様なシステムに対応

SW-2200/SW-2600/SW-U1403 , RM-P2200 / RM-P2600/RM-P1000, カメラコントロールユニット（CCU）を組み合わせた同軸多重システムに対応、またビデオ信号を直接カメラから出力することもできますので CCU を使用しないシステムを組むことも可能です。

プライベートマスク機能搭載

撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。

トラッキング機能 (簡易追尾機能) 搭載

ホームポジションを表示中に、映像に動きがあると、動きのある被写体を簡易的に追いかけて撮影します。

イメージスタビライザーを装備 (TK-S686B/TK-S686WPB）

カメラの揺れを検出し、映像の揺れを軽減する機能を搭載しています。

ExDR 機能 (ワイドダイナミックレンジ) 搭載

輝度差の激しい被写体条件下でも、ダイナミックレンジ拡大により、明るい場所も暗い場所も見やすく撮影することができます。

- 大切な撮像の場合は、必ず事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラ、VTR、ハードディスクレコーダーまたは、ビデオテープなどの使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- ホームモーションディテクト機能、トラッキング機能は簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。これらの機能が検出できなかった場合、もしくは誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 共通ページのカメラのイラストは、すべて TK-S686B を使用しています。

安全上のご注意

⚠警告

十分な強度を持った場所に取り付ける

本機は高速回転を行うため、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。
質量：約 1.9 kg (TK-S685/TK-S686B)
　　　約 5.5 kg (TK-S686WPB)

化粧合板、石膏ボード、プラスターボードなど、天井材質に強度が足りない場合は補強材（ベニヤ合板など）を当てて補強してください。(TK-S685/TK-S686B)

強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険があります。

専用の取付金具で正しく取り付ける

必ず専用の取付金具を使用してください。落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。

正しい電源、電圧で使用する

本機の電源定格は AC24V 50 Hz/60 Hz です。定格を超えた電源を供給すると故障や最悪の場合発煙、発火のおそれがあります。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。

⚠注意

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。

取付ねじやナットでの締め付けが不確実だと落下するおそれがありますので確実に締め付けてください。

定期的に点検してください。

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

本機設置時は、カメラ本体などの取り扱いに十分注意してください。落下など、怪我の原因になる場合があります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- TK-S685/TK-S686B は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- TK-S685/TK-S686B は吊り下げ専用です。必ず本機が水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- TK-S686WPB は壁付け専用です。必ずカメラ部が水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- 次のような場所に置かない

  誤動作や故障の原因となります。
  - 許容動作温度範囲外の暑いところや寒いところ
許容動作温度 :
－ 10 ℃ ～ 50 ℃ (TK-S685/TK-S686B)
－ 40 ℃ ～ 50 ℃ (TK-S686WPB)
  - 許容動作湿度（20 %RH ～ 90 %RH）範囲外の湿気の多いところ（結露なきこと）
  - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 車両や船舶などの振動するところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 可燃性雰囲気などの特殊環境
  - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
  - プールなど、薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。本機は本体表面から放熱を行なっています。壁の近くなど、熱がこもる場所に設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所に設置しないでください。ドームカバー内部が結露することがあります。
- TK-S686WPB は低温（－ 40 ℃～ － 20 ℃) の環境下でご使用の場合、内蔵のヒーターにより内部が温まるまで、最長で2時間映像が出ません。低温環境下では常時通電しご使用されることを推奨いたします。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、曇ったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

- 移動するときは接続ケーブル類をはずしてください。
- 移動するときは、システムの電源を切ってください。
- 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- 本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。

その他

- レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。
- 本機は AGC 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなどが発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれてお使いください。
- オートアイリス時、AGC ON の場合アイリスコントロールボタンでアイリス設定を変更しても、感度アップ機能が働き画面の明るさが変化しないことがあります。この場合は AGC を OFF にするかアイリスをマニュアルにしてください。
- オートアイリス時、画面の明るさによっては、（十分な光量が得られないとき）アイリスコントロールボタンが働かないことがあります。この場合は、アイリスをマニュアルにしてください。
- 本機をホワイトバランス ATW-N、ATW-W（自動調整）で使用したとき、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影したとき、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現われます。これは固体撮像素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時 1/60 秒に設定しています。商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光照明下ではリモートコントロールユニットで 1/100 秒に切り換えてご使用ください。（1/100 秒のとき、感度が少し下がります。）
- 24 時間連続して長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、リモートコントロールユニットからの操作が不安定になることが考えられます。そのため 1 週間に 1 回、システムの電源を再投入（カメラをイニシャル動作させる）し、接点のクリーニングを行なってください。
- ドームカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣下の原因となります。
- ドームカバーに強い衝撃を与えないでください。破損、浸水の原因となります。高湿時、急激な温度変化によりドームカバーが曇ることがあります。
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)

正しくお使いいただくためのご注意(つづき)

その他(つづき)

● AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。

● ドームカバーは、半球形をしているため半球の端では像のゆがみが発生します。本機では半球の端をマスクしており、チルト方向で水平を映すと半球の端が画角に入るため、画面の上端が黒くなったり、フォーカスが甘くなることがあります。その場合は、チルトリミット設定(☞ 46 ページ)によって、上記エリアを映さないようにすることができます。

● 光源(照明など)の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これはドームカバーと内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。

● 特に TELE 端(望遠側)付近において、マニュアル操作、オートパン動作をすると、画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。これらの現象はモーターの性能によるもので故障ではありません。

● 本機は高倍率レンズを使用しているため、温度変化によりフォーカスが甘くなる場合がありますが故障ではありません。

● フォーカスをプリセットする場合は、実際にご使用になる環境温度に近い状態で、プリセットを行なってください。また、温度変化が大きくフォーカスが甘くなった場合は、再度プリセットし直してご使用ください。

● ご使用中の温度変化によってフォーカスが甘く感じたときは、ワンプッシュ AF 機能をご使用いただくか、マニュアルでフォーカスを取り直してください。

省エネについて

● 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

免責について

● モーションディテクト機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

● 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

輸送について

● 本機の入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合は、この箱を使用してください。

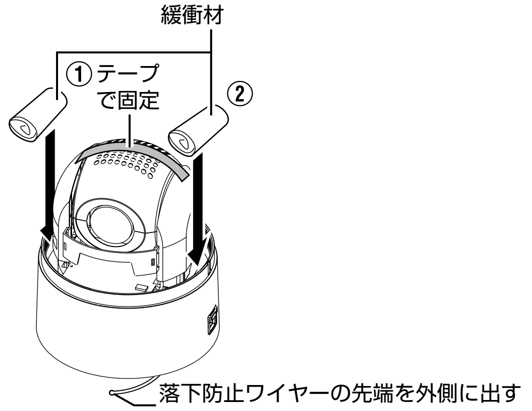
● カメラ部が非常に回転し易い構造のため、輸送時はドームカバー内部のカメラ部が回転しないように固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。

①放熱孔を上に向け、レンズ部をテープで固定する。

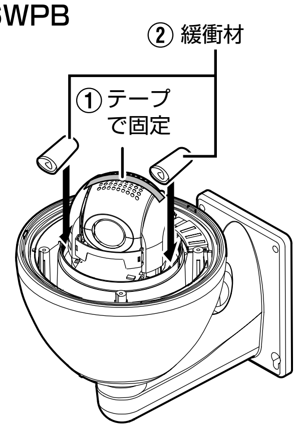
②エアキャップなど(約 50mm ×約 200mm) を巻いた緩衝材をカメラの対面2か所に入れる。

● 輸送時、カメラ本体に天井取付金具を取り付ける場合、落下防止ワイヤーを挟み込まないように落下防止ワイヤーの先端を外側に出してください。落下防止ワイヤーが挟み込まれると、カメラ本体と天井取付金具がはずれなくなるおそれがあります。(TK-S685/TK-S686B)

■ TK-S685/TK-S686B



■ TK-S686WPB



■ 消耗部品について

以下の部品は消耗部品であり寿命時間、回数をめやすに交換が必要です。

寿命時間はめやすであり、使用環境や使用条件によって異なります。

消耗部品の交換は、保証期間内であっても有償となります。

- **ズームレンズ組立**
  ズーム動作 .... 約 200 万動作
  フォーカス動作 .... 約 400 万動作
- **スリップリング .... 約 500 万動作**
- **冷却ファン .... 約 5 万時間**
- **アラーム出力 1 用リレー .... 約 10 万回**
- **ヒーター用リレー (TK-S686WPB) .... 約 10 万回**
- **ヒーター用ファン (TK-S686WPB) .... 約 5 万時間**

■ オートフォーカスについて

本機はワンプッシュオートフォーカス、イージー AF の機能を備えていますが、被写体やカメラの設定ではフォーカスが合わせられない場合があります。

この場合は、手動でフォーカス合わせを行なってください。

- **オートフォーカスが合わせにくい被写体**
  - 画面の輝度が極端に高い（明るい）とき
  - 画面の輝度が極端に低い（暗い）とき
  - 画面の輝度が常に変化しているとき（点滅中のライトなど）
  - コントラスト（明暗差）がほとんどないとき
  - 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき
- **オートフォーカスが動作困難な設定**
  - AGC で感度アップし画面がザラついているとき
  - 電子感度アップで画面の動きが少ないとき
  - 電子ズーム中で十分な輪郭成分がないとき

■ ズーム動作

以下の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。

- マニュアル操作あるいはプリセット選択によって TELE 端付近でズーム動作が止まった後、フォーカスがかすかに動く。
- マニュアルでズーム操作中動きがなめらかでない。
- プリセット選択をしたとき、ズーム動作中、瞬間的にフォーカスがずれる。
- ズーム動作中にフォーカスがずれることがある。

■ プリセットポジション

本機で設定できるプリセットポジション数は、下記になります。

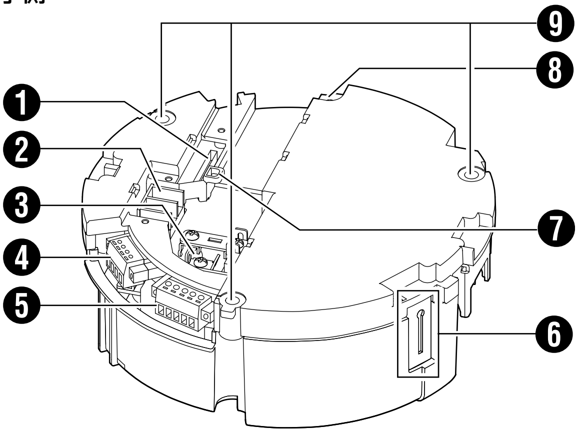
- RM-P1000、RM-P2200、RM-P2600 使用時
  ホームポジションと 255 か所のプリセットポジションで合計 256 か所
- RM-P2580 使用時
  ホームポジションと 99 か所のプリセットポジションで合計 100 か所

各部の名前とはたらき

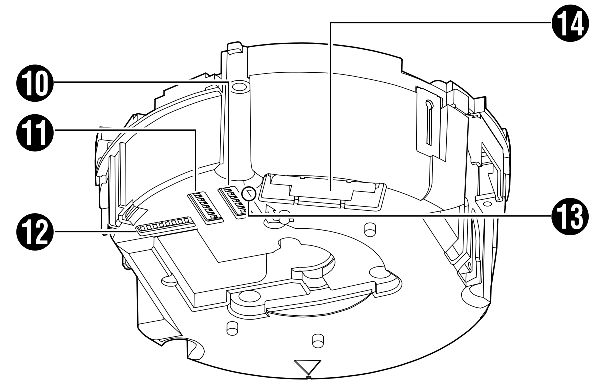
TK-S685/TK-S686B

■ 天井取付金具

端子側



設定スイッチ側



❶ [ALARM I/O 2] アラーム入力 2~6/ アラーム出力 2 端子 (CN605)

アラーム入力 2~6、アラーム出力 2 の端子です。付属のアラームケーブルと接続します。(☞ 24 ページ)

ピン番号	ケーブルの色	信号名
1	茶	アラーム入力2
2	赤	GND
3	オレンジ	アラーム入力 3
4	黄色	GND
5	緑	アラーム入力 4
6	青	GND
7	紫	アラーム入力 5
8	灰色	GND
9	白	アラーム入力 6
10	黒	GND
11	桃	アラーム出力 2 +
12	若草	アラーム出力 2 −

❷ AC24V 入力端子

AC24V 電源と接続します。

❸ [VIDEO OUT] 同軸ケーブル接続端子

本機は設定スイッチ ❿ の切り換えで、カメラコントロールユニット（CCU）を接続するシステムでも、CCU を使用しない直接ビデオ出力のシステムでも対応できます。
(☞ 21 ページ)

同期信号、制御信号、映像信号を重畳した特殊信号用の端子です。SW-2200、SW-2600、SW-U1403、カメラコントロールユニット（CCU) などと接続します。または、複合映像信号（1V（p-p)、出力インピーダンス 75 Ω) の出力端子です。スイッチャーなどと接続します。

❹ [CONTROL] 制御信号接続端子（J601）

リモートコントロールユニット (RM-P2580) と接続します。

ピン番号	信号名	記号
1	TX +	Ⓐ
2	TX −	Ⓑ
3	RX +	Ⓒ
4	RX −	Ⓓ

❺ [ALARM I/O 1] アラーム入力 1/ アラーム出力 1 端子 (J602)

アラーム入力 1、アラーム出力 1 の端子です。(☞ 24 ページ)

ピン番号	信号名
1	アラーム出力 1(OUT1 NOP)
2	アラーム出力 1（COM)
3	アラーム出力 1(OUT1 NCL)
4	アラーム入力 1
5	GND

❻ 落下防止ワイヤー固定金具

カメラ本体の落下防止ワイヤー ⓯ をひっかけます。

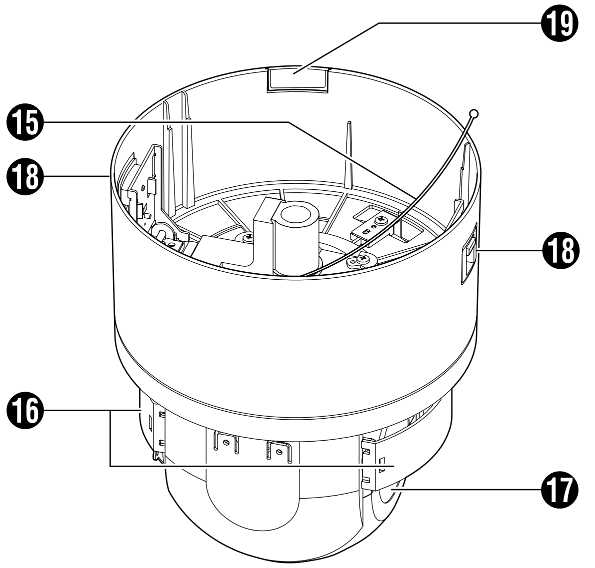
❼ ワイヤークランプ固定穴

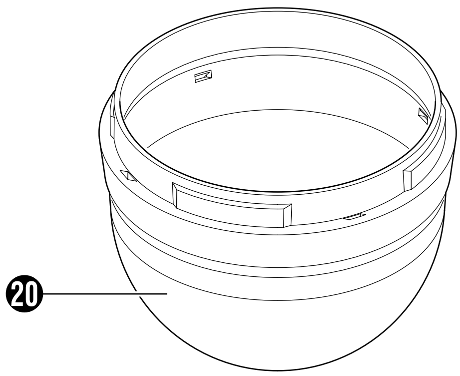
ワイヤー類を束ねるのに使用します。(☞ 18 ページ)

❽ 安全ワイヤー取付穴

万一のカメラ落下に備え、この穴に天井スラブまたはチャンネルからのワイヤーを取り付けます。

■ カメラ本体





❾ 固定用穴（3 か所）

天井あるいは、天井埋込ブラケット（WB-S685 別売）などに取り付けるための穴です。

❿ 設定スイッチ

ケーブル長、接続機種などの設定を行います。
(☞ 21 ページ)

⓫ マシン ID 設定スイッチ

RM-P2580 のシステムなど、通信方式として RS-485 マルチドロップ方式の場合、カメラごとにマシン ID を設定します。(☞ 22 ページ)

⓬ 予備スイッチ

このスイッチはご使用になれません。

⓭ 電源ランプ

AC24V 電源を投入すると、緑色に点灯します。

⓮ カメラ接続端子（メス）

カメラ本体の接続端子（オス）と接続します。

⓯ 落下防止ワイヤー

天井取付金具の落下防止ワイヤー固定金具 ❻ にかけます。

⓰ フロントマスク

⓱ レンズ部

レンズを交換することはできません。

⓲ カメラ本体固定ロックノブ（2か所）

カメラを天井に取り付け、落ちないように固定します。

⓳ ケーブルカバー

ケーブル類を横出ししてカメラを取り付ける場合、カバーをはずします。(☞ 18 ページ)

⓴ ドームカバー

ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

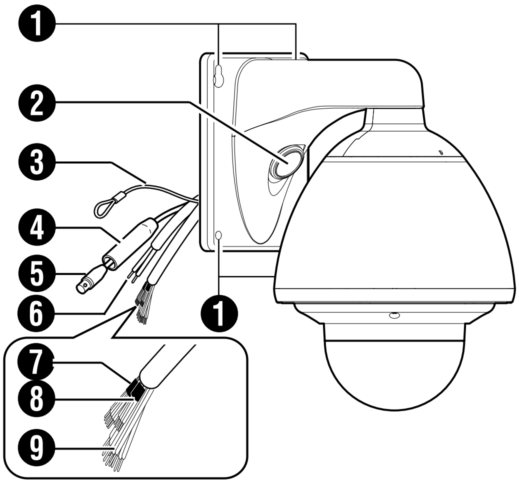
ご注意:

- 出荷時に貼ってある保護シートは、ドームカバーを本体に取り付けるまではがさないでください。(☞ 19 ページ)

各部の名前とはたらき（つづき）

TK-S686WPB

■ カメラ本体



❶ カメラ本体固定用穴（4 か所）

カメラ本体を壁に取り付けるための穴です。

❷ ケーブル接続用穴、キャップ

キャップをはずしてケーブル類をこの穴から出し、ケーブル類の接続を行います。(☞ 29 ページ)

❸ 落下防止ワイヤー

カメラ本体と壁をつなぎます。壁に立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトにしっかり固定してください。(☞ 29 ページ)

❹ 保護カバー

同軸ケーブルの接続後、スライドさせて同軸ケーブル接続用コネクター ❺ にかぶせます。コネクターの金属部を壁内部の構造物から、絶縁保護します。(☞ 30 ページ)

❺ 同軸ケーブル接続用コネクター（BNC）

複合映像信号（1V（p-p)、出力インピーダンス 75Ω) の出力端子です。スイッチャーなどと接続します。

本機は設定スイッチ ⓰ の切り換えで、カメラコントロールユニット（CCU) を接続するシステムでも、CCU を使用せず直接ビデオ出力するシステムでも対応できます。
(☞ 31 ページ)

同期信号、制御信号、映像信号を重畳した特殊信号用の端子です。SW-2200、SW-2600、SW-U1403、カメラコントロールユニット (CCU) などと接続します。

❻ AC24V 電源ケーブル

AC24V 電源と接続します。(☞ 30 ページ)

❼ アラーム入力 1/ アラーム出力 1 ケーブル（5本）

アラーム入力 1、アラーム出力 1 ケーブルです。(☞ 32 ページ)

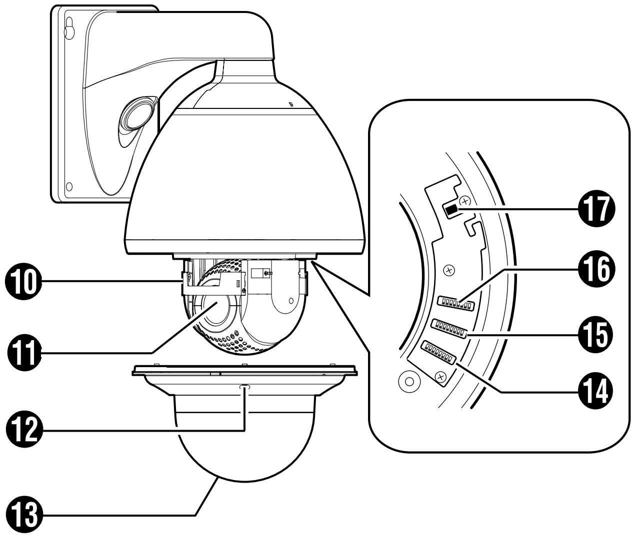
ケーブルの色	信号名
緑 / 白	アラーム出力 1(OUT1 NOP)
青 / 白	アラーム出力 1(COM)
紫 / 白	アラーム出力 1(OUT1 NCL)
赤 / 黒	アラーム入力 1
オレンジ / 黒	アラーム入力 1(COM)

❽ 制御信号接続ケーブル（4本）

リモートコントロールユニット (RM-P2580) と接続します。(☞ 33 ページ)

ケーブルの色	信号名	記号
茶 / 白	TX ＋	Ⓐ
赤 / 白	TX －	Ⓑ
オレンジ / 白	RX ＋	Ⓒ
黒 / 白	RX －	Ⓓ

■ カメラ内部



⑨ アラーム入力 2~6/ アラーム出力 2 ケーブル

アラーム入力 2~6、アラーム出力 2 のケーブルです。アラーム (☞ 32 ページ)

ピン番号	ケーブルの色	信号名
1	茶	アラーム入力2
2	赤	GND
3	オレンジ	アラーム入力 3
4	黄色	GND
5	緑	アラーム入力 4
6	青	GND
7	紫	アラーム入力 5
8	灰色	GND
9	白	アラーム入力 6
10	黒	GND
11	桃	アラーム出力 2 ＋
12	若草	アラーム出力 2 －

⑩ フロントマスク

⑪ レンズ部

レンズを交換することはできません。

⑫ ドームカバー固定ねじ（4か所）

⑬ ドームカバー

ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

ご注意:
- 出荷時にはってある保護シートは、設置が完了するまではがさないでください。(☞ 30 ページ)

⑭ 予備スイッチ

このスイッチはご使用になれません。

⑮ マシン ID 設定スイッチ

RM-P2580 のシステムなど、通信方式として RS-485 マルチドロップ方式の場合、カメラごとにマシン ID を設定します。(☞ 32 ページ)

⑯ 設定スイッチ

ケーブル長、接続機種などの設定を行います。
(☞ 31 ページ)

⑰ ヒーター ON/OFF スイッチ

内蔵ヒーターの自動制御 ON/OFF スイッチです。

ドームカバーへの雪や霜の付着や、曇り防止のため、ヒーターが内蔵されています。ヒーターが不要な場所に設置する場合は、ヒーターのスイッチを切ってください。通常は “ON” で使用します。(☞ 28 ページ)

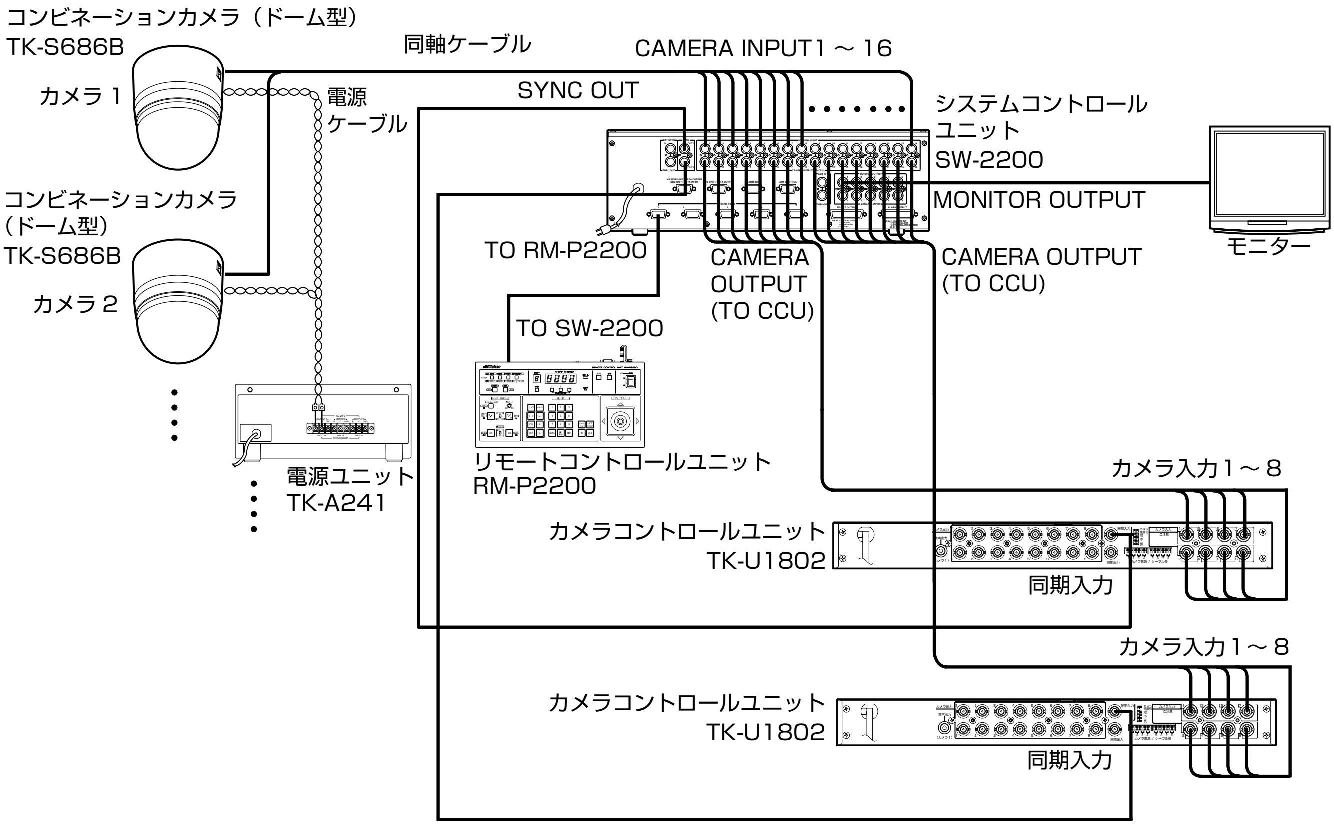
システム接続例

RM-P2200 のシステム

システムコントロールユニット (SW-2200) 1 台に、カメラ 16 台まで接続できます。最大 80 台までの拡張に対応しています。（各カメラごとに 256 ポジション設定可能）

メモ：
- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離については、[ケーブルの接続] をご覧ください。
  TK-S685/TK-S686B　：☞ 24～27 ページ
  TK-S686WPB　：☞ 32～34 ページ
- 使用機器の [取扱説明書] をお読みのうえ行なってください。
- ご使用のシステムに応じて、スイッチの設定を正しく行なってください。設定スイッチの詳細は、[スイッチの設定] をご覧ください。
  TK-S685/TK-S686B　：☞ 21 ページ
  TK-S686WPB　：☞ 31 ページ

ご注意：
- AC24V ケーブルは間違えて AC100V に接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。



※ カメラのイラストは、TK-S686B を使用しています。TK-S686WPB は、1 台の電源ユニット (TK-A241) に対して、1 台のみ接続できます。(OUTPUT1 をご使用ください。)

RM-P2600 のシステム

システムコントロールユニット (SW-2600)1 台に、カメラ 9 台まで接続できます。
(各カメラごとに 256 ポジション設定可能)

メモ:

- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離については、[ケーブルの接続] をご覧ください。

  TK-S685/TK-S686B : ☞ 24~27 ページ

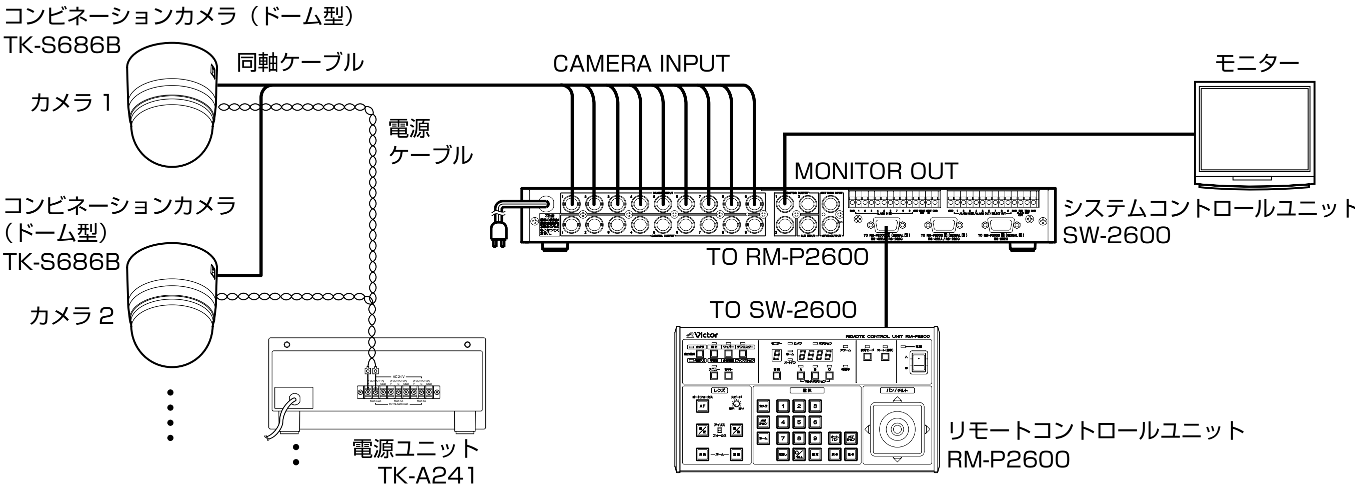
  TK-S686WPB : ☞ 32~34 ページ
- 使用機器の [取扱説明書] をお読みのうえ行なってください。
- ご使用のシステムに応じて、スイッチの設定を正しく行なってください。設定スイッチの詳細は、[スイッチの設定] をご覧ください。

  TK-S685/TK-S686B : ☞ 21 ページ

  TK-S686WPB : ☞ 31 ページ

ご注意:

- AC24V ケーブルは間違えて AC100V に接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。



※ カメラのイラストは、TK-S686B を使用しています。TK-S686WPB は、1 台の電源ユニット (TK-A241) に対して、1 台のみ接続できます。(OUTPUT1 をご使用ください。)

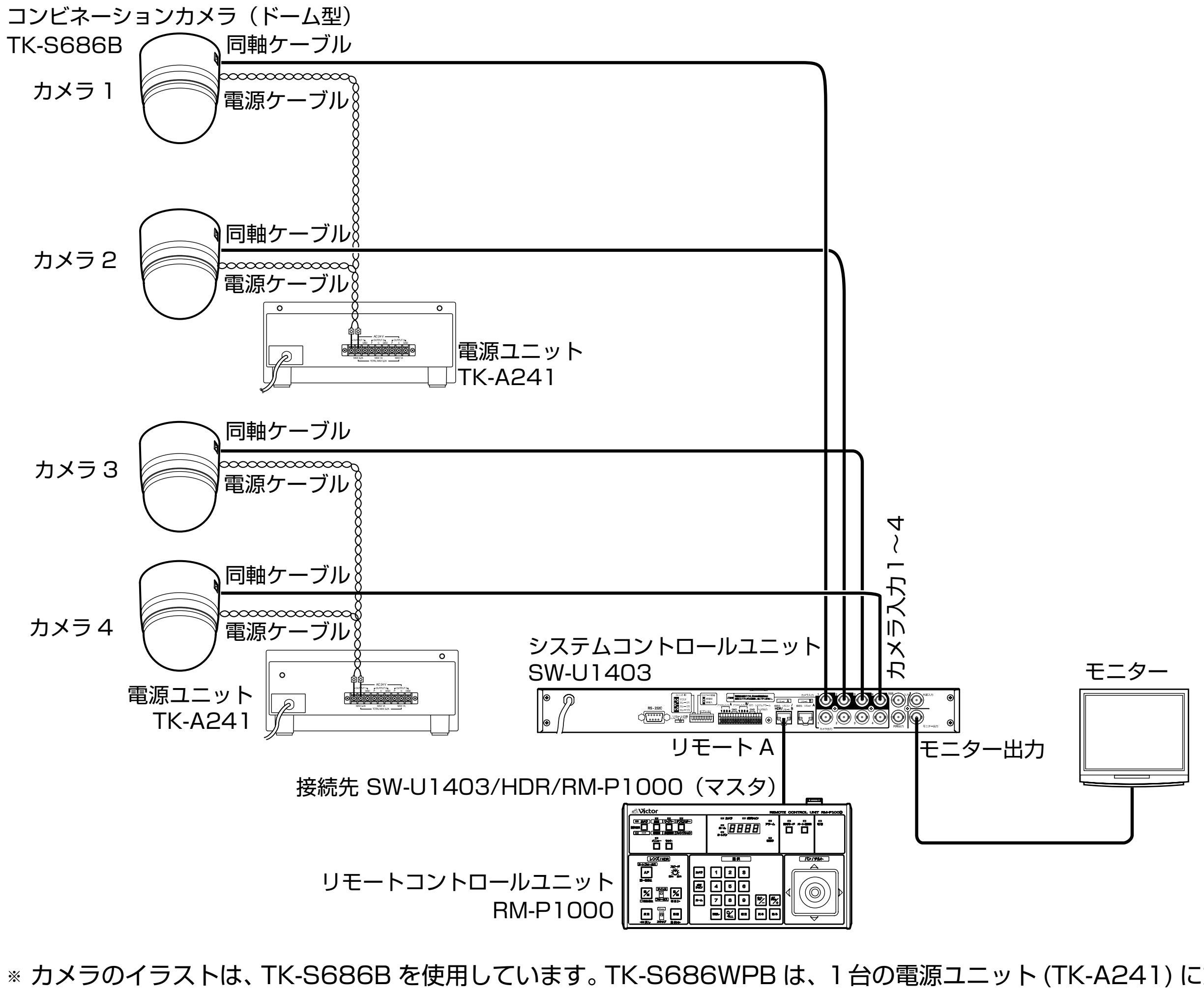
システム接続例（つづき）

RM-P1000 のシステム

システムコントロールユニット (SW-U1403)1 台に、4 台までカメラを接続できます。さらに SW-U1403 を 4 台連結することでカメラ 16 台までのシステム構築が可能となります。（各カメラごとに 256 ポジション設定可能です。）

メモ：
- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離については、［ケーブルの接続］をご覧ください。
  TK-S685/TK-S686B　：☞ 24～27 ページ
  TK-S686WPB　：☞ 32～34 ページ
- 使用機器の [取扱説明書] をお読みのうえ行なってください。
- ご使用のシステムに応じて、スイッチの設定を正しく行なってください。設定スイッチの詳細は、［スイッチの設定］をご覧ください。
  TK-S685/TK-S686B　：☞ 21 ページ
  TK-S686WPB　：☞ 31 ページ

ご注意：
- AC24V ケーブルは間違えて AC100V に接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。



※ カメラのイラストは、TK-S686B を使用しています。TK-S686WPB は、1 台の電源ユニット (TK-A241) に対して、1 台のみ接続できます。(OUTPUT1 をご使用ください。)

RM-P2580 のシステム

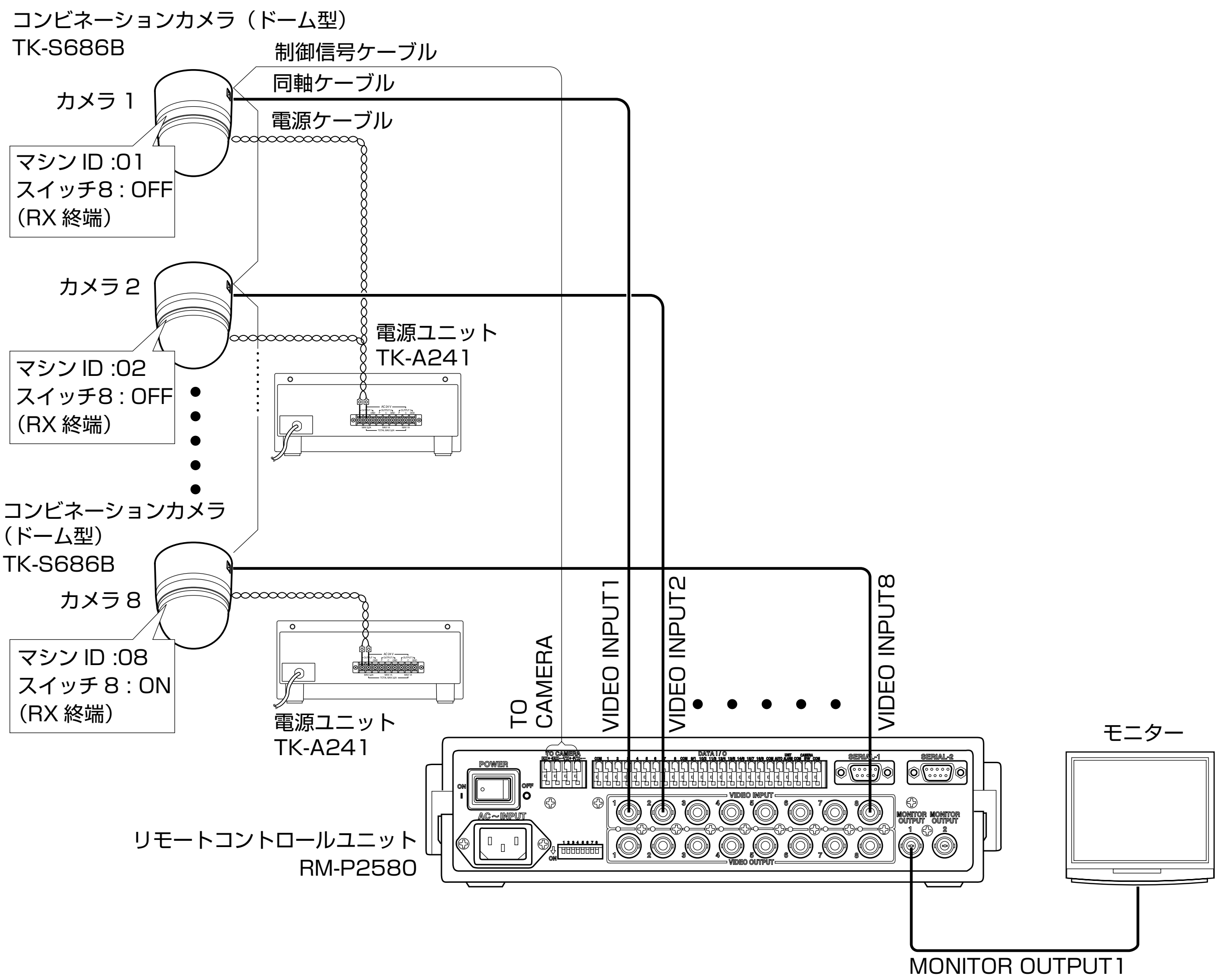
カメラ 8 台までのシステムです。(各カメラごとに 100 ポジション設定可能)

メモ:

● 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
● 使用機器の [取扱説明書] をお読みのうえ、行なってください。
● 接続ケーブルの種類および距離については、[ケーブルの接続] をご覧ください。
TK-S685/TK-S686B　:☞ 24~27 ページ
TK-S686WPB　:☞ 32~34 ページ
● 制御信号ケーブルはループ接続できません。
● ご使用のシステムに応じて、スイッチの設定を正しく行なってください。設定スイッチの詳細は、[スイッチの設定] をご覧ください。
TK-S685/TK-S686B　:☞ 21 ページ
TK-S686WPB　:☞ 31 ページ

ご注意:

● AC24V ケーブルは間違えて AC100V に接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
● AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。



※ カメラのイラストは、TK-S686B を使用しています。TK-S686WPB は、1 台の電源ユニット (TK-A241) に対して、1 台のみ接続できます。(OUTPUT1 をご使用ください。)

カメラの取り付け

準備

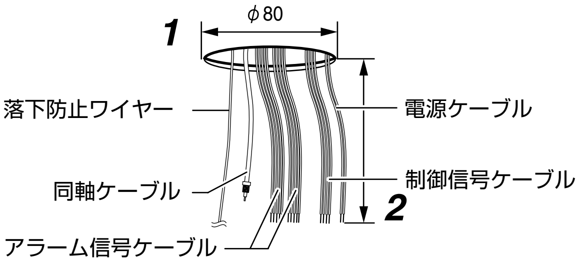
天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。

1 天井に穴をあける

- 付属のテンプレートを使用し, 接続ケーブルを天井裏に通す穴（ø 80mm) をあけます。
- 必要に応じて、天井取付金具を天井に取り付けるためのねじ穴もあけます。その場合、カメラを正面に向けたい方向にテンプレートの “⬆FRONT マーク ” を合わせてねじ穴をあけてください。

2 ケーブル類を天井の穴から出す

あらかじめ天井スラブなどに取り付けた落下防止ワイヤー、電源ケーブル、同軸ケーブル、制御信号ケーブル、アラーム信号ケーブル、付属のアラームケーブルなどを天井から出します。



ご注意:
- 落下防止ワイヤーは、十分強度のある場所に取り付けてください。

3 カメラ本体から天井取付金具をはずす

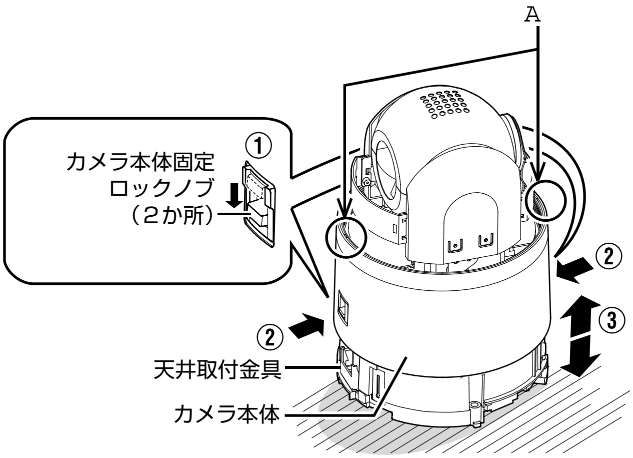
梱包時はカメラ本体に天井取付金具が取り付けられています。設置の前にカメラ本体から天井取付金具をはずします。

① カメラ本体固定ロックノブ（左右 2 か所）がロックされていないのを確認します。
- ロックされている場合は矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除してください。

② カメラ本体固定ロックノブ（2 か所）を矢印の方向に左右から押し込みます。
- 天井取付金具がはずれますので、落下しないよう机などの上に置いて作業してください。

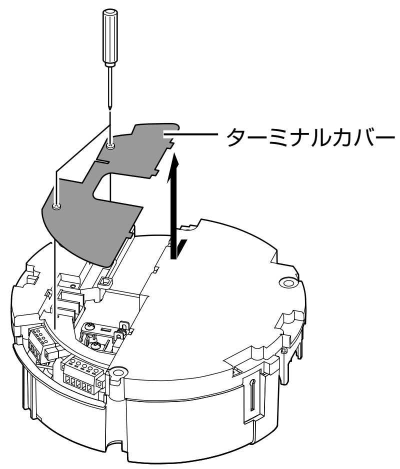
メモ:
- カメラ本体固定ロックノブが押し込みにくい場合、カメラ本体の縁（図 A）を作業している机などに押しつけながら押し込んでください。

③ カメラ本体を上部に持ち上げると、天井取付金具がはずれますので、図の方向へ引き出します。



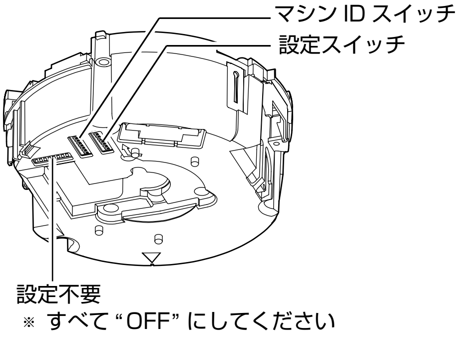
4 ターミナルカバーをはずす

天井取付金具のねじ２か所をゆるめて、ターミナルカバーをはずします。

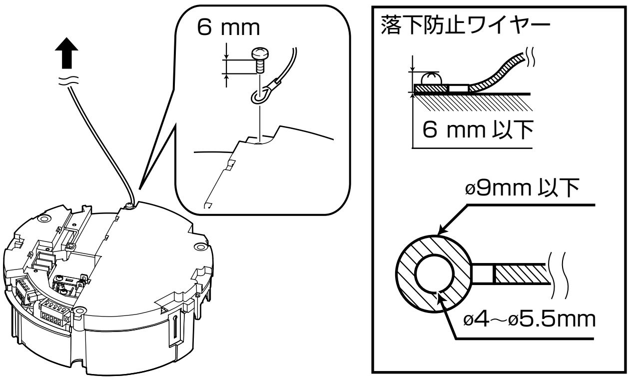


5 スイッチの設定を行う（☞ 21、22 ページ）

システムや接続カメラに応じて、設定スイッチやマシン ID スイッチの設定を行います。



6 天井取付金具と天井をつなぐ落下防止ワイヤーを取り付ける



⚠注意

- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）などにも十分注意し、ワイヤー強度２０ kg 以上のものをご使用ください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、カメラ本体に取りつける輪の部分の内径が ø4 mm 以上 ø5.5 mm 以下、外径が ø9 mm 以下のものを使用してください。
- 落下防止ワイヤーは、ねじ頭と落下防止ワイヤーの厚み（ワッシャー含む）が、合わせて6 mm 以下になるよう取り付けてください。6mm 以上になるとねじが天井にぶつかりカメラ本体が水平に設置できません。
- 固定ねじは M4 を使用してください。

メモ:

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。

7 ケーブル類を接続する（☞ 24～27 ページ）

天井取付金具の端子にケーブル類を接続します。
接続ケーブルはアラーム信号ケーブル、同軸ケーブル、制御信号ケーブル、AC24V 電源ケーブルがあります。

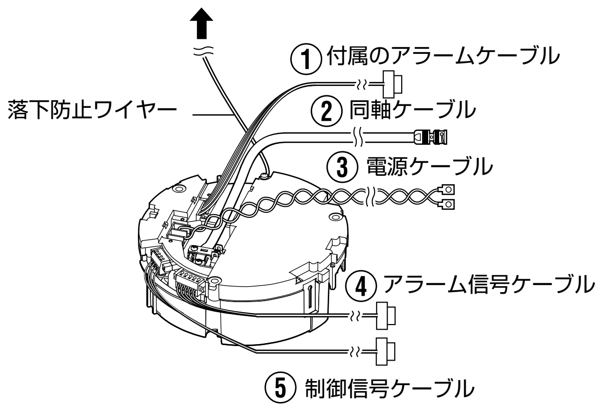
① 付属のアラームケーブル (☞ 24 ページ)
アラーム入出力端子のある機器に接続します。

② 同軸ケーブル (☞ 25 ページ)
CCU、モニターなどを接続します。

③ 電源ケーブル (☞ 27 ページ)
AC24V 電源に接続します。

④ アラーム信号ケーブル (☞ 24 ページ)
アラーム入出力端子のある機器に接続します。

⑤ 制御信号ケーブル (☞ 26 ページ)
RM-P2580 と接続します。



ご注意:

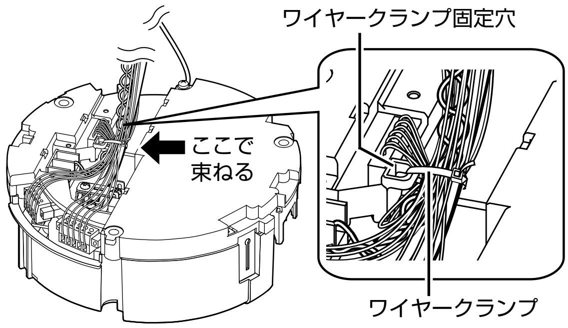
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- 安全上、全ての結線が終わってから電源を入れてください。
- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。

カメラの取り付け（つづき）

準備 (つづき)

8 ケーブル類の処理

添付のワイヤークランプを天井取付金具のワイヤークランプ固定穴に通し全てのワイヤー類を束ねます。

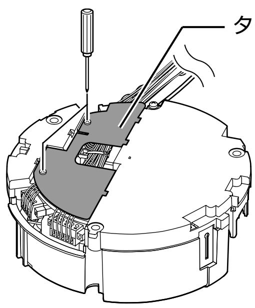


ご注意:
- ケーブルが絡まって断線するのを防ぐため、必ずワイヤークランプ固定穴にワイヤークランプを通してケーブル類を束ねてください。
- 付属のアラームケーブルも図のようにワイヤークランプで束ねてください。

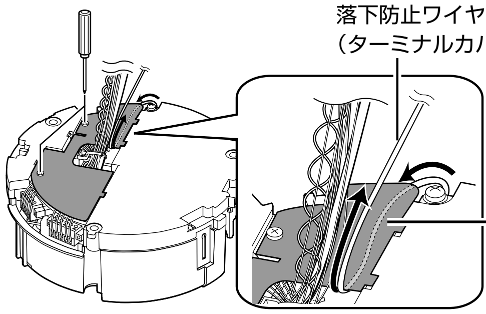
9 ターミナルカバーを取り付ける

手順 **3** ではずしたターミナルカバーを元に戻します。カメラの取り付け方法によってケーブルを出す方向が変わります。

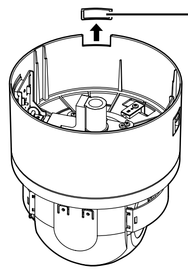
■ ケーブルを横出しする場合



■ ケーブルを上出しする場合



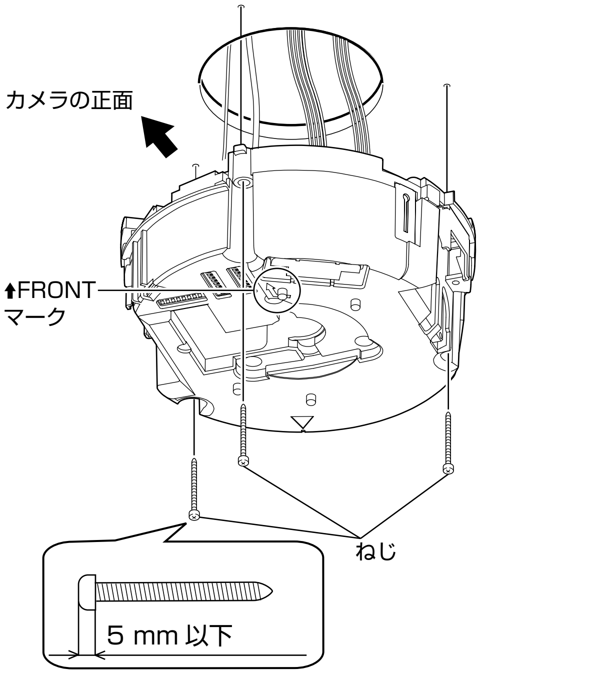
ご注意:
- 異物や埃が入らないよう、ターミナルカバーは必ず取り付けてください。
- ケーブルを上出しする場合、落下防止ワイヤーはターミナルカバーの下をくぐらせてケーブル類と合わせて上出ししてください。
- ケーブルを横出しする場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。



天井取付金具を天井に取り付ける

1 天井取付金具を天井に固定する

- 正面に向けたい方向に天井取付金具の“⬆FRONTマーク”がくるように設置します。
- 接続ケーブルをはさみ込まないよう注意して、天井取付金具をねじ 3 本で天井に固定します。



ご注意:

- 固定用ねじ、ボルトは M4 を使用してください。
- 木ねじは ø4.1mm をお使いください。
- ねじの長さは 25mm 以上のものを使用してください。
- 本機が水平になるように設置してください。傾けて使用すると正しく動作しません。
- ねじ頭が 5mm 以下のものをご使用ください。天井構造物が金属の場合、映像にノイズが入ることがあります。
- ねじ締め付け時にねじ頭がもぐり込むタイプのねじは使用しないでください。(皿ねじなど)
  絶縁用樹脂パーツが破損して絶縁がとれなくなることがあります。

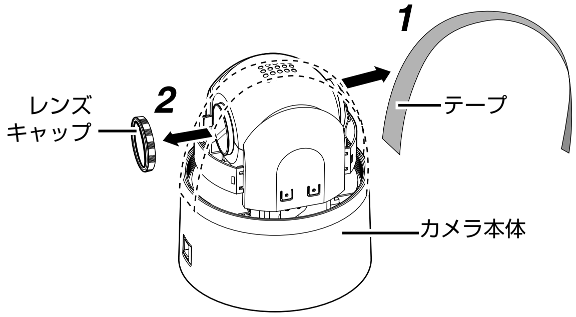
メモ:

- 必ず 3 本のねじを用いて、確実に取り付けてください。
- メンテナンス時は念のため、ねじを増し締めしてください。
- 天井取付金具の天井固定用穴についている樹脂パーツは、天井取付金具と天井構造物の絶縁目的で使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁を行わないと、映像にノイズが入ることがあります。
  必ず絶縁するように設置してください。

カメラ本体を天井に取り付ける

1 レンズ部のテープをはがす

2 レンズキャップをはずす



3 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

①ドームカバーやレンズにゴミが付いていないことを確認します。

②ドームカバーを時計方向に回して取り付けます。

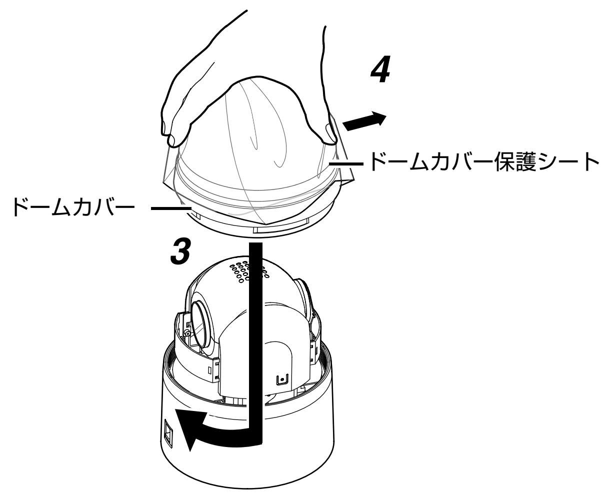
ご注意:

- ドームカバーはねじ構造になっているのでカバーが回らなくなるまで確実に締め込んでください。このときドームカバーが斜めに付かないようご注意ください。
- ドームカバーは無理に回さないでください。ドームカバーが破損することがあります。

メモ:

- ドームカバーが入りにくい場合、一度反時計方向に「カタッ」と音がするまで回し、再度時計方向に回すとスムーズに入ります。

4 ドームカバー保護シートをはがす



⚠注意

- ドームカバーは光学部品のため取り扱いに注意してください。
- ドームカバーを取り付ける際は、中にごみが入らないようご注意ください。
- ドームカバーは最後まで締めてください。

カメラの取り付け（つづき）

カメラ本体を天井に取り付ける（つづき）

5 落下防止ワイヤーを取り付ける

カメラ本体に付いている落下防止ワイヤーを、天井取付金具の落下防止ワイヤー固定金具に取り付けます。

⚠注意

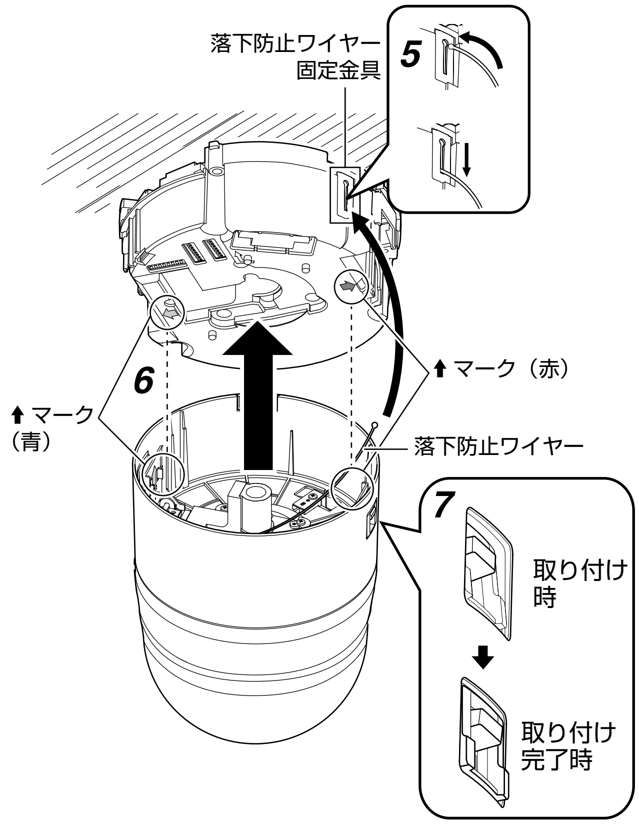
- 落下防止ワイヤーは必ず接続してください。接続しないとカメラ本体が落下するおそれがあります。
- 危険防止のため、落下防止ワイヤーにカメラをぶらさげたまま放置しないでください。

6 カメラ本体を取り付ける

- カメラ本体内側の "⬆" マーク（青色）/（赤色）と、天井取付金具の "⬆" マーク（青色）/（赤色）の位置を合わせます。
- カチッと音がするまで、カメラ本体を天井取付金具に挿入し、確実に取り付けます。

7 カメラ本体固定ロックノブ（2か所）が出っ張っているのを確認する

カメラ本体が確実に取り付くと、カメラ本体固定ロックノブ（2か所）が少し出っ張ります。



ご注意：

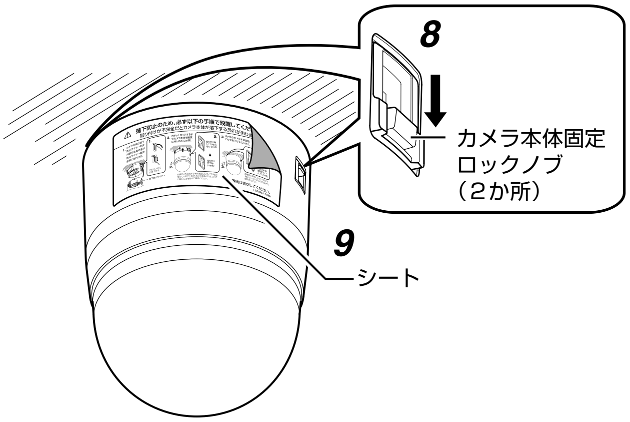
- カメラ本体を取り付ける前に、カメラ本体固定ロックノブがロックされていない（ロックノブが上方にある）ことを確認してください。ロックがされているとカメラが取り付けられません。
- ケーブルを横出しする場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。(☞ 18 ページ）

8 ロックする

カメラ本体を天井取付金具に取り付けたら、カメラ本体固定ロックノブ（2か所）を矢印の方向に下げて、カメラ本体が落下しないよう固定します。

9 本機側面のシートをはがす

安全のため、シートに書かれている内容について再度ご確認ください。



⚠注意

- カメラ本体固定ロックノブ（2か所）が確実にロックされているのを必ず確認してください。ロックがされていない場合、カメラ本体が落下するおそれがあります。
- 取り付け完了後、カメラが確実に取り付いているか確認してください。取り付けに不備があるとカメラ本体が落下するおそれがあります。

カメラの取りはずし

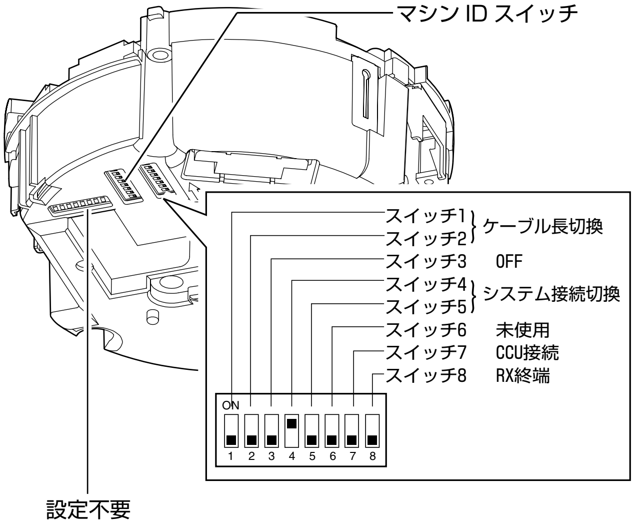
① カメラ本体固定ロックノブを天井の方向へスライドさせロックを解除してください。
② カメラ本体固定ロックノブ（2 か所）を左右から押し込み、カメラ本体をはずします。
③ 落下防止ワイヤーを取り付けと逆の手順ではずします。

スイッチの設定

設定スイッチ

カメラを取り付ける前に、天井取付金具にあるスイッチを設定します。
設定は使用するシステムによって異なります。

ケーブル長切換（スイッチ 1、スイッチ 2）



※ すべて “OFF” にしてください

本機と CCU（カメラコントロールユニット）もしくは SW-2200/SW-2600/SW-U1403 を接続する同軸ケーブルの距離によって設定します。
（● 初期設定）

ケーブル長	スイッチ 1	スイッチ 2
● 0m ～ 125m	OFF	OFF
126m ～ 250m	ON	OFF
251m ～ 375m	OFF	ON
376m ～ 500m	ON	ON

メモ:
- ● RM-P2580 のシステムでは設定の必要はありません。

スイッチ３

“OFF” に設定されていることを確認してください。

システム接続切換（スイッチ 4、スイッチ 5）

本機に接続する機器に合わせて設定します。
（● 初期設定）

システム接続切換	スイッチ 4	スイッチ 5
● SW-2200/SW-2600 SW-U1403	ON	OFF
RM-P2580	ON	ON
Point to Point	OFF	ON

Point to Point とは：
- ● パソコンなどを使用して、外部からコントロールするときに使用します。
- ● 詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

CCU 接続（スイッチ 7）

本機の電源を、CCU（カメラコントロールユニット）の電源入切に連動して入切させるかどうかの設定です。CCU を使ったシステム（SW-2200/SW-U1403 のシステム）では必ず “ 有 ” に設定してください。
SW-2600/SW-U1403 のシステムでは、CCU（カメラコントロールユニット）を接続しませんが、“ 有 ” に設定してください。
CCU を使わないシステム（RM-P2580 のシステム）では必ず “ 無 ” に設定してください。“ 有 ” に設定すると電源が入りません。
（● 初期設定）

CCU 接続	スイッチ 7
● 有	OFF
無	ON

RX 終端（スイッチ 8）

制御信号端子 RX ＋、RX －間を 110 Ω の抵抗値で終端するかどうかの設定です。
（● 初期設定）

RX 終端	スイッチ 8
● 開放	OFF
終端 (110 Ω)	ON

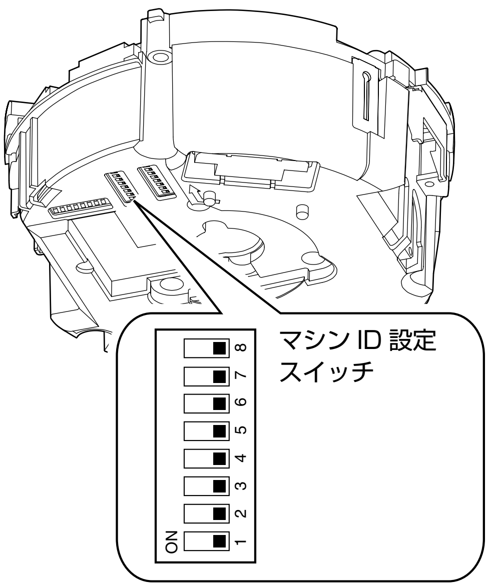
メモ:
- ● 本機を含むシステムが RM-P2580 などマルチドロップ (RS-485) 方式の場合、制御信号ケーブルの末端に設置したカメラのみ “ 終端 ” に設定し、他のカメラは “ 開放 ” に設定します。

スイッチの設定（つづき）

マシン ID 設定スイッチ

RM-P2580 などマルチドロップ方式でシステムを制御する場合、接続された複数のカメラを識別するために番号（マシン ID ）を付けます。
マシン ID は、RM-P2580 の [VIDEO INPUT] 番号と合わせてください。

メモ:
- マシンID設定のスイッチの詳細は[マシンID] (☞23ページ) をご覧ください。

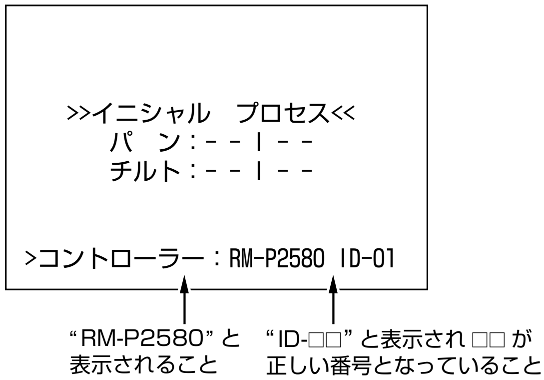


■ マシン ID の確認手順

1 チェックを行うカメラ映像をモニターに出力する

2 カメラの電源を入れる

カメラがイニシャル動作をし、モニターに下図画面が表示されます。



3 モニター画面上の表示を確認する

- “RM-P2580”、“ID- □□” が表示されること、RM-P2580 の [VIDEO INPUT] の番号と合っているかを確認します。
- 誤っていたらマシン ID を設定し直してください。

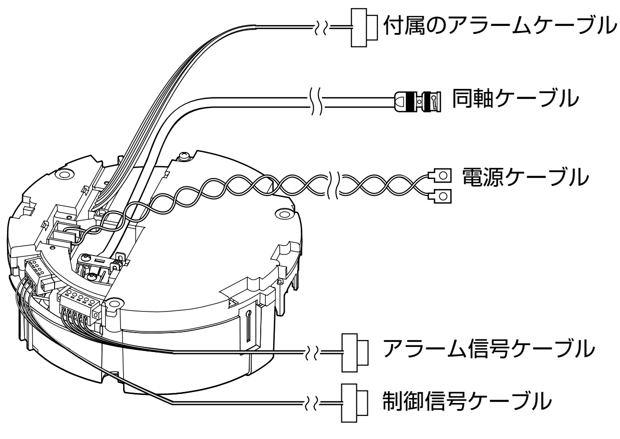
メモ:
- RM-P2580 を使用したシステムでは、1 組の制御信号ケーブルに、複数台を接続して使用するため、各カメラのスイッチ設定が 1 台でもおかしいとシステム全体が動作不良となります。

■ マシン ID

ディップスイッチ 1 番～ 8 番の組み合わせでマシン ID 番号を設定します。（初期値はすべて OFF)

マシンID	マシン ID 設置スイッチ	マシンID	マシン ID 設置スイッチ	マシンID	マシン ID 設置スイッチ	マシンID	マシン ID 設置スイッチ
1		26		51		76	
2		27		52		77	
3		28		53		78	
4		29		54		79	
5		30		55		80	
6		31		56		81	
7		32		57		82	
8		33		58		83	
9		34		59		84	
10		35		60		85	
11		36		61		86	
12		37		62		87	
13		38		63		88	
14		39		64		89	
15		40		65		90	
16		41		66		91	
17		42		67		92	
18		43		68		93	
19		44		69		94	
20		45		70		95	
21		46		71		96	
22		47		72		97	
23		48		73		98	
24		49		74		99	
25		50		75			

ケーブルの接続



アラーム入力 / アラーム出力端子の接続

■ アラーム入力１ / アラーム出力１端子

アラーム入力１ / アラーム出力１端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続する

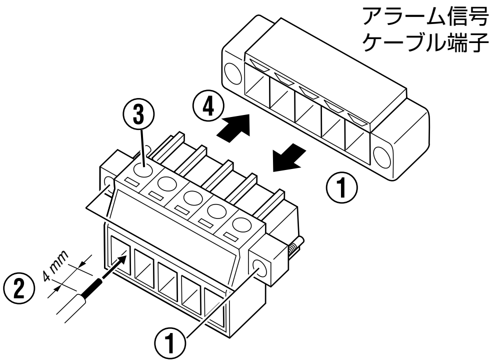
① 端子台の両端のスクリューをマイナスドライバーでゆるめ、下図の様にはずします。

メモ：
- ドライバーの先端を端子台の隙間に入れると端子台がはずしやすくなります。

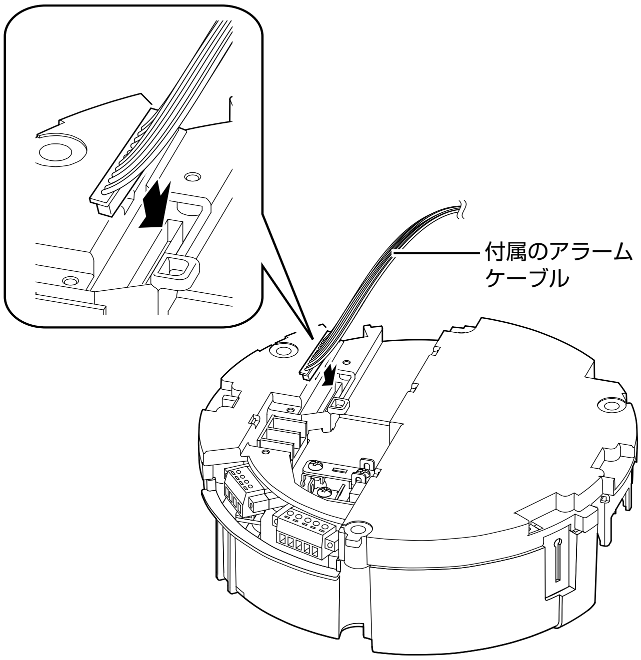
② アラーム信号ケーブルの被ふくを 4mm ほどむいて、端子に差し込みます。

③ 側面のスクリューを回しアラーム信号ケーブルを固定します。

④ アラーム信号ケーブルを固定したら、① ではずした端子台をもとに戻します。



■ アラーム入力２ ～ ６ / アラーム出力２端子

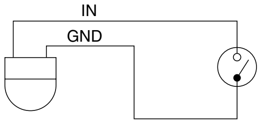


ピン番号	ケーブルの色	信号名
1	茶	アラーム入力2
2	赤	GND
3	オレンジ	アラーム入力３
4	黄色	GND
5	緑	アラーム入力４
6	青	GND
7	紫	アラーム入力５
8	灰色	GND
9	白	アラーム入力６
10	黒	GND
11	桃	アラーム出力２＋
12	若草	アラーム出力２－

■ アラーム入力端子

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

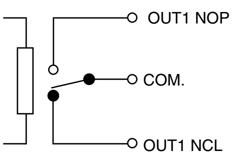
- アラーム入力端子は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニューで接点がショート（メイク）時にアラームとするか、接点がオープン（ブレイク）時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも 200 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。



■ アラーム出力端子

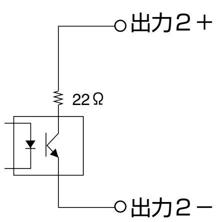
報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続する

- アラーム出力 1 端子は、接点出力となっており、アラーム状態となると、OUT1 NOP − COM 間がショート（メイク）、OUT1 NCL − COM 間がオープン（ブレイク）となります。



定格：
最大印加電圧：DC 30 V もしくは AC 24 V
最大印加電流：1 A
接点寿命　　：10 万回

- アラーム出力 2 端子はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっています。
- アラーム時、ON となります。
- この端子は、極性がありますので必ず−側端子より＋側端子の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。

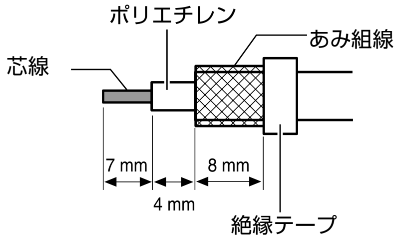


定格：
最大印加電圧：DC 20V
最大駆動電流：25 mA

メモ：
- アラーム出力 1 用のリレーはアラーム ON/OFF 時に音がします。音が気になる場合は、アラーム出力 2 端子を使用してください。この場合、定格を超えないようご注意ください。

同軸ケーブルの接続

5C-2V あるいは 3C-2V 同軸ケーブルを接続します。
同軸ケーブルの先端は、下図の様に処理してから接続してください。



メモ：
- 7C-2V をご使用の場合、直接端子台への接続はできませんので、5C-2V ケーブルを本機に接続し 7C-2V ケーブルに中継してください。
- あみ組線を逆におり返し、ほつれて他へショートしないように絶縁してください。

■ CCU 接続システムの場合

CCU（カメラコントロールユニット）との最大延長距離は下記の様になります。

ケーブルの種類	ケーブルの最大接続距離	
	ケーブル補償なし CCU	ケーブル補償あり CCU
3C-2V	200 m	200 m
5C-2V	350 m	500 m
7C-2V	500 m	500 m

メモ：
- CCU を使用しない直接ビデオ出力システム（RM-P2580 システム）で使用する場合、ケーブルの延長距離が延びるほど信号が減衰して、解像度が低下しノイズが増えます。
- より太いケーブルを使用したり、ケーブル補償器を使用することで延長距離を延ばすことができます。
- 最大延長距離は、使用システム、ケーブルの特性などによって異なります。

ケーブルの接続（つづき）

制御信号ケーブルの接続（RM-P2580 のみ）

RM-P2580 との最大接続距離は 1200m です。（RM-P2580 では、1 組のケーブルに複数のカメラを接続できますが、そのときのケーブル総延長は 1200m 以内となります。）

■ 端子台にケーブルを接続する

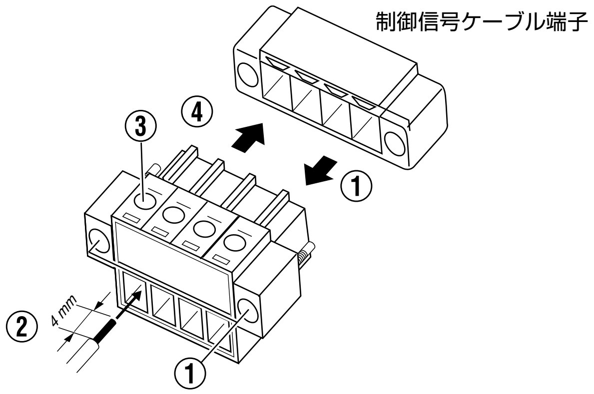
① 端子台の両端のスクリューをマイナスドライバーでゆるめ、下図の様にはずします。

メモ：
- ドライバーの先端を端子台の隙間に入れると端子台がはずしやすくなります。

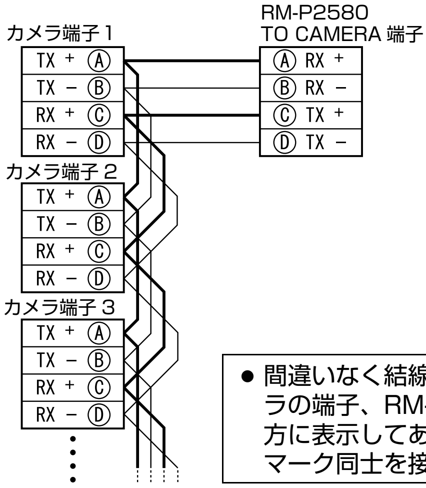
② 制御信号ケーブルの被ふくを 4mm ほどむいて、端子に差し込みます。

③ 側面のねじを回し制御信号ケーブルを固定します。

④ 制御信号ケーブルを固定したら、① ではずした端子台をもとに戻します。



■ 制御信号ケーブル接続の全体図



- 間違いなく結線するために、カメラの端子、RM-P2580 の端子両方に表示してあるⒶⒷⒸⒹの同じマーク同士を接続してください。

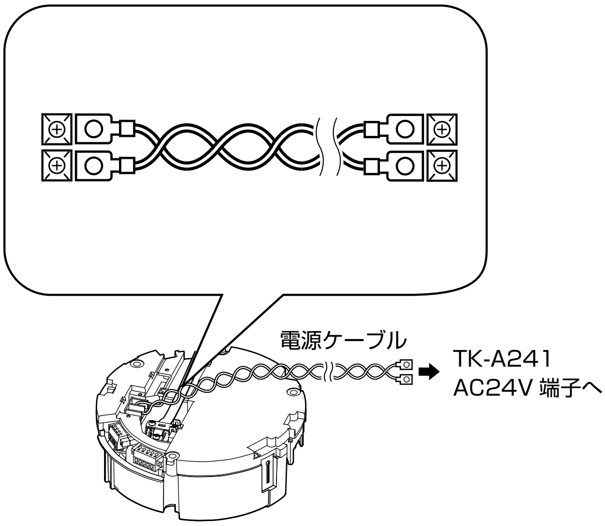
メモ：
- 使用ケーブルは、0.61 − 4 芯（2 対）より対ケーブルもしくは、イーサネットなどで用いられるカテゴリー 5 以上のツイストペアーケーブルを推奨します。
- 使用できるケーブルの太さは ø0.4mm~ø1.3mm です。
- 制御信号ケーブルは、TX +と TX −信号、RX +と RX −信号を対（ペア）になるようにしてください。

電源ケーブルの接続

AC24V 電源と接続する

AC24V 電源ケーブルを天井取付金具の AC24V 入力端子に接続します。

このとき、接続ミスやケーブルのはずれを防ぐため、AC24V 端子との接続には、ラグ板の使用をおすすめします。



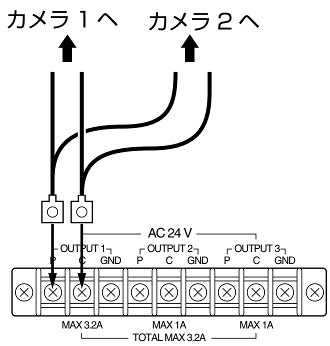
2 芯 VVF（ビニル絶縁ビニルシースケーブル）を使用した場合、接続距離は下記のようになります。（参考値）

最大接続距離	50m	130m	210 m	360 m
導体直径	ø1.0 以上	ø1.6 以上	ø2.0 以上	ø2.6 以上

ご注意：

- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。
- 細いケーブルを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり、本機の消費電力が最大のときに（パン、チルトとズーム同時に動作するとき）有効電圧が低下してしまいます。太い、抵抗値の小さいケーブルを使用する、もしくは電源ユニットをカメラの近くに設置し、ケーブル長を短くするなどの処置を行い、カメラの定格電流が流れたときの電圧降下を 10% 以内に抑えるよう設置してください。動作中電圧が低下すると、性能が不安定になったり、プリセット位置が正しく再現されないことがあります。
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。
- 万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- 安全上、全ての結線が終わってから電源を入れてください。

電源ユニット (TK-A241) の接続



TK-A241 背面端子台部

ご注意：

- 電源ユニット (TK-A241) に本機を接続するときは、“OUTPUT1”（MAX3.2A）に接続してください。“OUTPUT2”（MAX1A）、“OUTPUT3”（MAX1A）に接続すると電流容量が不足することがあります。
- 本機を 2 台接続するときも、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも “OUTPUT1” に接続してください。
- 電源ユニット 1 台で本機 2 台を駆動できます。

カメラの取り付け

壁面の準備

1 壁に穴をあける

接続ケーブルを通す穴（ø 45mm) をあけます。

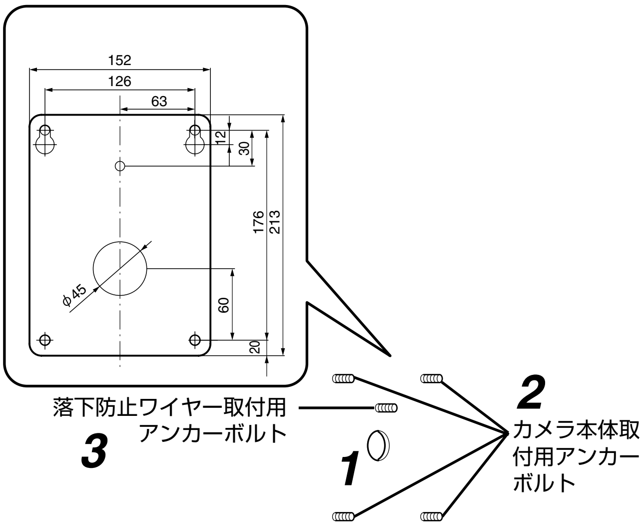
ご注意：
- 壁の強度を確認ください。落下の原因となります。

2 カメラ本体取り付け用アンカーボルトを立てる

カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト（M8×35mm 以上）を４本立てます。

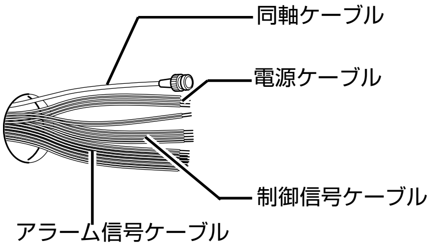
3 落下防止ワイヤー取り付け用のアンカーボルトを立てる

カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト上部２本の中央、30mm 下の位置に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルト（M8×35mm 以上）を立てます。



4 ケーブル類を壁の穴から出す

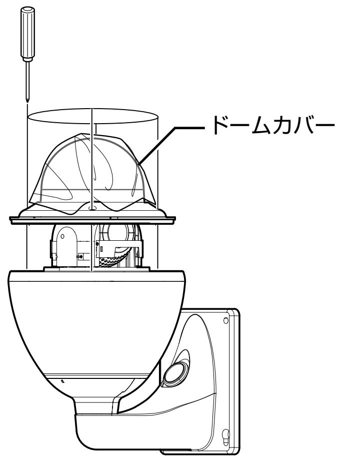
電源ケーブル、BNC ケーブル、制御信号ケーブル、アラーム信号ケーブルを壁から出します。



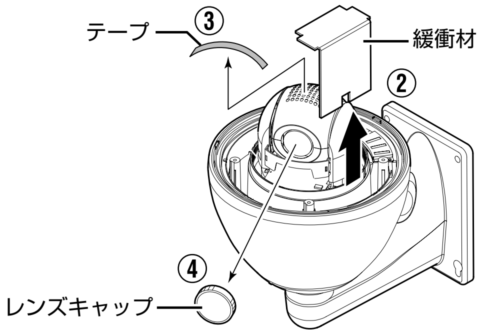
カメラの準備

1 ドームカバーをはずし、緩衝材を取り出す

① ねじ（４本）をゆるめ、カメラ本体からドームカバーをはずします。

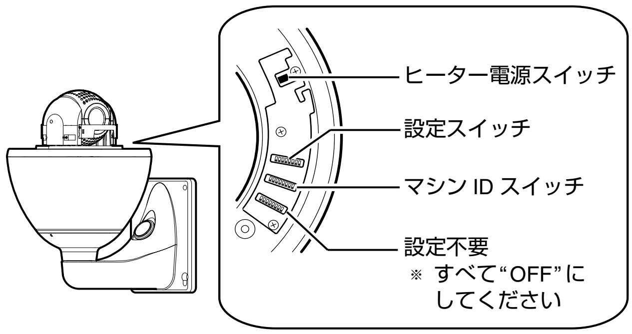


② 緩衝材を取りはずします。
③ レンズ部のテープをはがします。
④ レンズキャップをはずします。



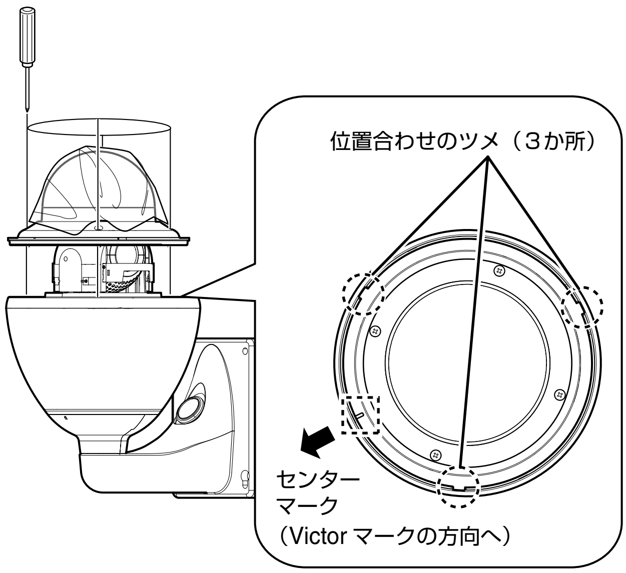
2 スイッチの設定を行う (☞ 31、32 ページ)

- システムに応じて、設定スイッチやマシン ID スイッチの設定を行います。
- ヒーターが不要な場所へ設置するときは、ヒーターのスイッチを切ってください。



3 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

ねじ（4本）でドームカバーをカメラ本体に取り付けます。ドームカバーのツメ（3か所）とセンターマークをめやすに取り付けます。センターマークがカメラ本体の Victor マークの上にくる位置に取り付けてください。



ご注意:

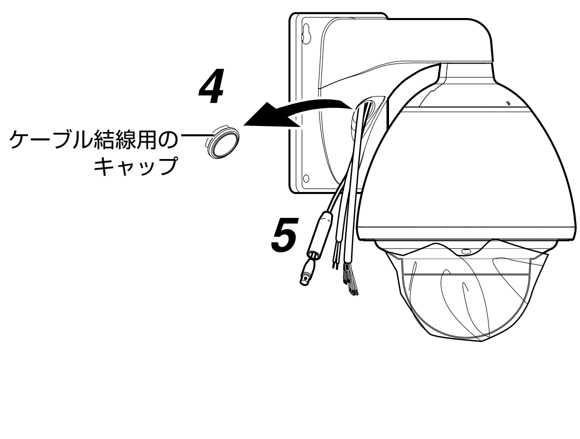
- ドームカバー内側に、ゴミや汚れなどがないことを確認してから取り付けてください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分にご注意ください。
- ドームカバーを取り付ける際は、4か所のねじを仮り止め後、増し締めしてください。
- ねじの締め付けは、0.5N・m ～ 1N・m（5kgf・cm ～ 10kgf・cm）をめやすにしてください。締め付けが不十分な場合、水が浸入しドームカバーが曇るおそれがあります。

4 ケーブル結線用のキャップをはずす

カメラ本体のアーム部分のキャップをはずします。

5 ケーブル結線用の穴からケーブル類を出す

カメラ本体から出ているケーブル類（落下防止ワイヤーを除く）をケーブル結線用の穴から出します。



カメラの取り付け

1 落下防止ワイヤーを取り付ける

- カメラ本体の落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

2 壁から出したケーブル類をケーブル結線用の穴から出す

3 カメラ本体を壁に取り付ける

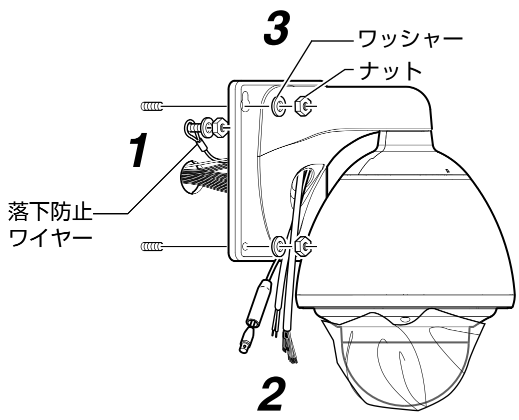
- カメラ本体を、準備で立てたカメラ本体取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- カメラ本体は、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

ご注意:

- 本期の質量は、約 5.5kg あります。落下には十分注意して取付作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、アーム部をつかんで作業してください。
- ナットとワッシャーには、取り付け後、塗装するなどの防錆処理を施してください。

メモ:

- カメラの取りはずしは逆の手順で行なってください。

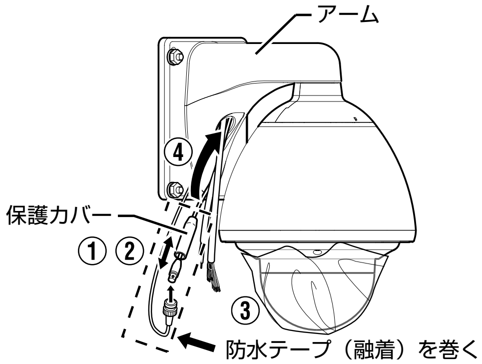


カメラの取り付け（つづき）

ケーブル接続

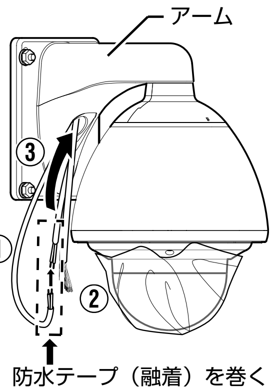
1 同軸ケーブル（BNC) の接続 (☞ 33 ページ)

① 保護カバーを下げて、コネクター同士を接続する。
② 接続が完了したら保護カバーでコネクターを覆う。
③ 保護カバーの上から防水テープ（融着）を巻き付ける。
④ ケーブルをカメラのアーム内部に押し込む。



2 電源ケーブルの接続 (☞ 33 ページ)

① 電源ケーブルを接続する。
② 接続が完了したら防水テープ（融着）を巻き付ける。
③ ケーブルをカメラのアーム内部に押し込む。

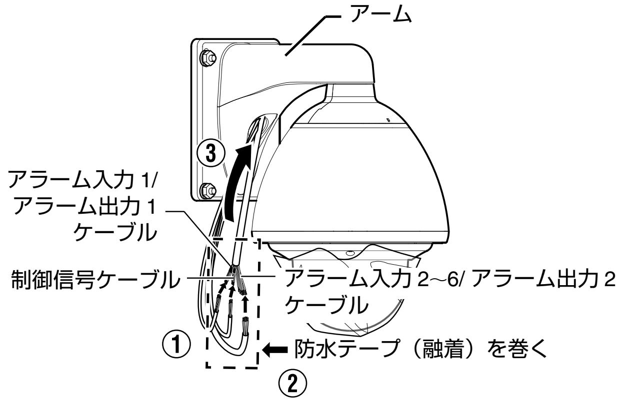


ご注意:

- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- 安全上、全ての結線が終わってから電源を入れてください。
- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。

3 アラームケーブル、制御信号ケーブルの接続 (☞ 32 ページ)

① ケーブルを接続する。
② 接続が完了したら防水テープ（融着）を巻き付ける。
③ ケーブルをカメラのアーム内部に押し込む。

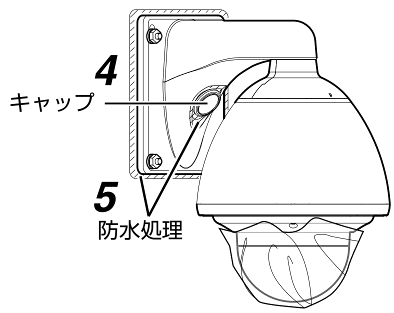


ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、１本ずつ必ず絶縁テープを巻いて処理してください。
- 安全上、全ての結線が終わってから電源を入れてください。

4 キャップを取り付ける

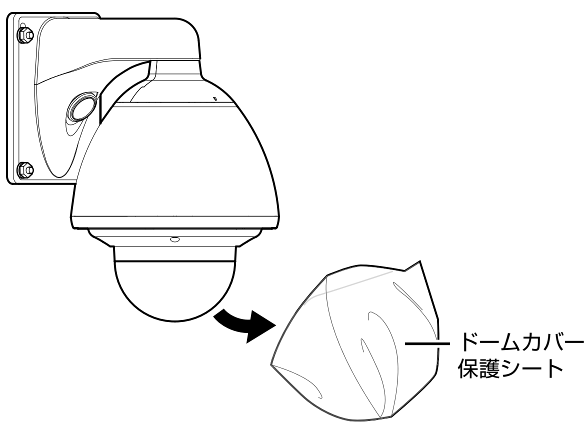
5 ケーブル結線用の穴とカメラ本体取付面の周りを防水シール材（ＧＥ シリコン）でふさぐ



ご注意:

- 防水処理は確実に行なってください。処理が不十分な場合、雨水などの浸水により故障することがあります。
- シーリング材としてGEシリコンか同等のものを使用してください。

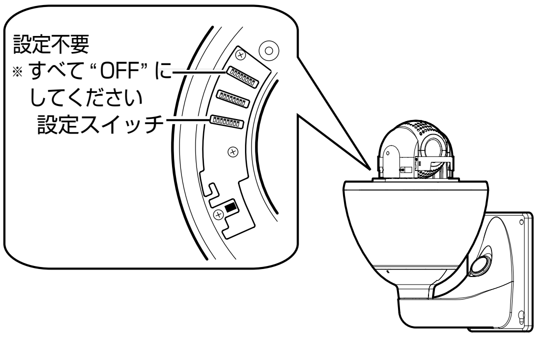
6 ドームカバー保護シートをはがす

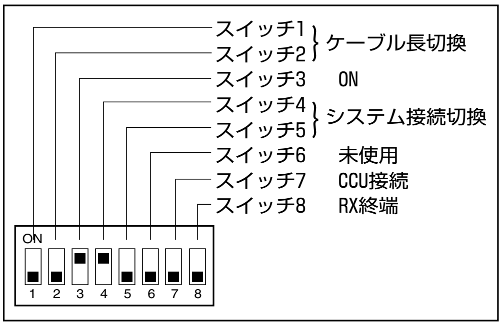


スイッチの設定

設定スイッチ

カメラを取り付ける前に、図の位置にあるスイッチの設定を行います。
設定は使用するシステムによって異なります。





ケーブル長切換（スイッチ 1、スイッチ 2）

本機と CCU（カメラコントロールユニット）もしくは SW-2200/SW-2600/SW-U1403 を接続する同軸ケーブルの距離によって設定します。
（● 初期設定）

ケーブル長	スイッチ 1	スイッチ 2
● 0m ～ 125m	OFF	OFF
126m ～ 250m	ON	OFF
251m ～ 375m	OFF	ON
376m ～ 500m	ON	ON

メモ:
- RM-P2580 のシステムでは設定の必要はありません。

スイッチ３

“ON” に設定されていることを確認してください。

システム接続切換（スイッチ 4、スイッチ 5）

本機に接続する機器に合わせて設定します。
（● 初期設定）

システム接続切換	スイッチ 4	スイッチ 5
● SW-2200/SW-2600 SW-U1403	ON	OFF
RM-P2580	ON	ON
Point to Point	OFF	ON

Point to Point とは：
- パソコンなどを使用して、外部からコントロールするときに使用します。
- 詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

CCU 接続（スイッチ 7）

本機の電源を、CCU（カメラコントロールユニット）の電源入切に連動して入切させるかどうかの設定です。CCU を使ったシステム（SW-2200/SW-U1403 のシステム）では必ず“ 有 ”に設定してください。
SW-2600/SW-U1403 のシステムでは、CCU（カメラコントロールユニット）を接続しませんが、“ 有 ”に設定してください。
CCU を使わないシステム（RM-P2580 のシステム）では必ず“ 無 ”に設定してください。“ 有 ”に設定すると電源が入りません。
（● 初期設定）

CCU 接続	スイッチ 7
● 有	OFF
無	ON

RX 終端（スイッチ 8）

制御信号端子 RX ＋、RX －間を 110 Ω の抵抗値で終端するかどうかの設定です。
（● 初期設定）

RX 終端	スイッチ 8
● 開放	OFF
終端 (110 Ω)	ON

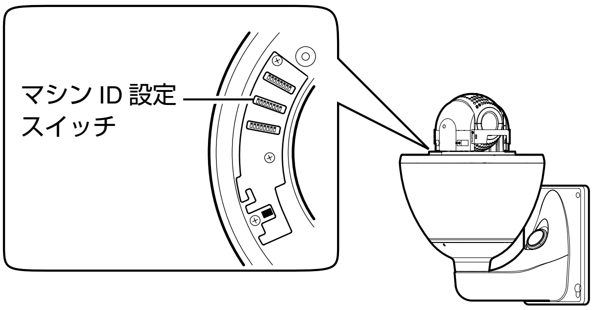
メモ:
- 本機を含むシステムが RM-P2580 などマルチドロップ (RS-485) 方式の場合、制御信号ケーブルの末端に設置したカメラのみ“ 終端 ”に設定し、他のカメラは“ 開放 ”に設定します。

スイッチの設定（つづき）

マシン ID 設定スイッチ

RM-P2580 などマルチドロップ方式でシステムを制御する場合、接続された複数のカメラを識別するために番号（マシン ID ）を付けます。
マシン ID は、RM-P2580 の [VIDEO INPUT] 番号と合わせてください。

メモ：
- マシンID設定のスイッチの詳細は[マシンID] (☞23ページ) をご覧ください。



■ マシン ID の確認手順

1 **チェックを行うカメラ映像をモニターに出力する**

2 **カメラの電源を入れる**

カメラがイニシャル動作をし、モニターに下図画面が表示されます。

```
>>イニシャル　プロセス<<
パ　ン：－－Ｉ－－
チルト：－－Ｉ－－

>コントローラー：RM-P2580 ID-01
```

“RM-P2580” と表示されることを確認する

“ID-□□” と表示され □□ が正しい番号となっていることを確認する

3 **モニター画面上の表示を確認する**

- “RM-P2580”、“ID- □□” が表示されること、RM-P2580 の [VIDEO INPUT] 番号と合っているかを確認します。
- 誤っていたらマシン ID を設定し直してください。

メモ：
- RM-P2580 を使用したシステムでは、1 組の制御信号ケーブルに、複数台を接続して使用するため、各カメラのスイッチ設定が 1 台でもおかしいとシステム全体が動作不良となります。

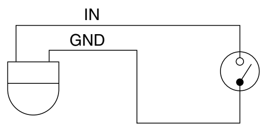
ケーブルの接続

アラーム信号ケーブルの接続

■ アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

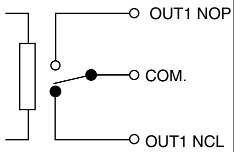
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニューで接点がショート（メイク）時にアラームとするか、接点がオープン（ブレイク）時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも 200 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。



■ アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続する

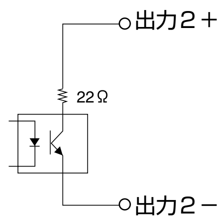
- アラーム出力 1 信号は、接点出力となっており、アラーム状態となると、OUT1 NOP － COM 間がショート（メイク）、OUT1 NCL － COM 間がオープン（ブレイク）となります。



定格：

最大印加電圧	：DC 30 V もしくは AC 24 V
最大印加電流	：1 A
接点寿命	：10 万回

- アラーム出力 2 信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっています。
- アラーム時、ON となります。
- この端子は、極性がありますので必ず－側出力より＋側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格：

最大印加電圧	：DC 20V
最大駆動電流	：25 mA

メモ：
- アラーム出力1用のリレーはアラーム ON/OFF 時に音がします。音が気になる場合は、アラーム出力 2 端子を使用してください。この場合、定格を超えないようご注意ください。

同軸ケーブルの接続

■ CCU 接続システムの場合

同期信号、制御信号、映像信号を重畳した特殊信号用の端子です。SW-2200、SW-2600、SW-U1403、カメラコントロールユニット (CCU) などと接続します。

カメラコントロールユニット (CCU) との最大延長距離は下記の様になります。

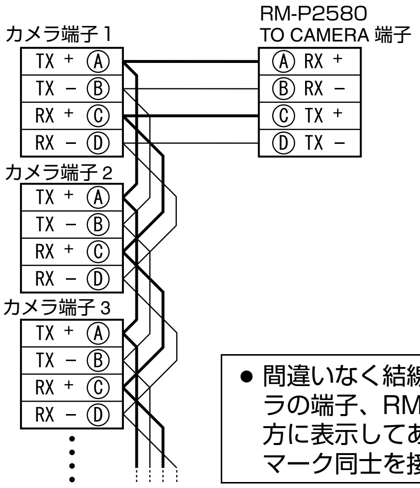
ケーブルの種類	ケーブルの最大接続距離	
	ケーブル補償なし CCU	ケーブル補償あり CCU
3C-2V 5C-2V 7C-2V	200 m 350 m 500 m	200 m 500 m 500 m

メモ:

- CCU を使用しない直接ビデオ出力システム（RM-P2580 システム）で使用する場合、ケーブルの延長距離が延びるほど信号が減衰して、解像度が低下しノイズが増えます。
- より太いケーブルを使用したり、ケーブル補償器を使用することで延長距離を延ばすことができます。
- 最大延長距離は、使用システム、ケーブルの特性などによって異なります。

制御信号ケーブルの接続

RM-P2580 との最大接続距離は 1200m です。（RM-P2580 では、1 組のケーブルに複数のカメラを接続できますが、そのときのケーブル総延長は 1200m 以内となります。）



- 間違いなく結線するために、カメラの端子、RM-P2580 の端子両方に表示してあるⒶⒷⒸⒹの同じマーク同士を接続してください。

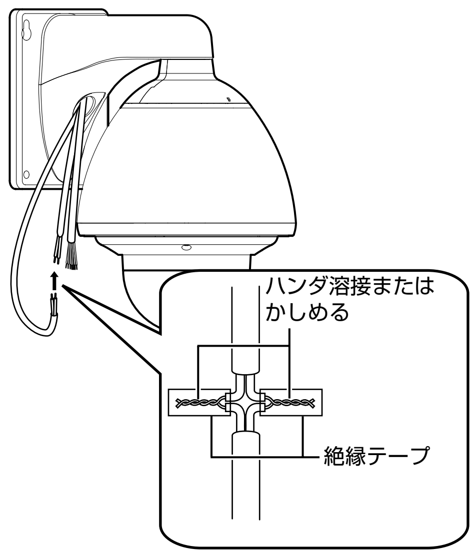
メモ:

- 使用ケーブルは、0.61 − 4 芯 (2 対) より対ケーブルもしくは、イーサネットなどで用いられるカテゴリー 5 以上のツイストペアーケーブルを推奨します。
- 使用できるケーブルの太さは ø0.4mm~ø1.3mm です。
- 制御信号ケーブルは、TX ＋と TX −信号、RX ＋と RX −信号を対（ペア）になるようにしてください。

電源ケーブルの接続

AC24V 電源と接続する

AC24V 電源ケーブルを AC24V 電源と接続します。



2 芯 VVF（ビニル絶縁ビニルシースケーブル）を使用した場合、接続距離は下記のようになります。（参考値）

導体直径	ø1.2	ø1.6	ø2.0	ø2.6
最大接続距離	40 m	70 m	110 m	180 m

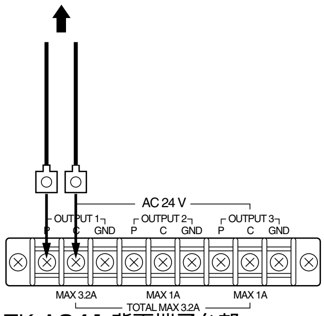
ご注意:

- AC24V を供給するには、AC100V ラインから絶縁された、AC24V を供給できる電源ユニットをご使用ください。
- 細いケーブルを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり、本機の消費電力が最大のときに（パン、チルトとズーム同時に動作するとき）有効電圧が低下してしまいます。太い、抵抗値の小さいケーブルを使用する、もしくは電源ユニットをカメラの近くに設置し、ケーブル長を短くするなどの処置を行い、カメラの定格電流が流れたときの電圧降下を 10% 以内に抑えるよう設置してください。動作中電圧が低下すると、性能が不安定になったり、プリセット位置が正しく再現されないことがあります。
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。
- 万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損していますので、絶対にそのまま使用せずお近くのビクターサービスで修理を受けてください。(有償)
- 全ての機器の接続が終わってから電源を入れてください
- 電源を入れ、起動が終了すると、本機はホームポジションに移動します。

ケーブルの接続 (つづき)

電源ユニット (TK-A241) の接続

カメラ 1 へ



TK-A241 背面端子台部

ご注意:

- 電源ユニット (TK-A241) に本機を接続するときは、“OUTPUT1”（MAX3.2A）に接続してください。“OUTPUT2”（MAX1A）、“OUTPUT3”（MAX1A）に接続すると電流容量が不足することがあります。
- 本機を接続するときも、図の様にラグ板を用いてください。
- 電源ユニット 1 台で、本機 1 台を駆動できます。

各部の名称の比較表

リモートコントロールユニット RM-P1000、RM-P2200、RM-P2600 の３機種と RM-P2580 では、各部の名称（ボタン名など）が異なります。
本書では、RM-P2200 を中心に設定などの説明をしています。RM-P2580 をお使いの場合は、この表をご覧の上、各部の名称を読みかえてお使いください。

RM-P1000、RM-P2200、RM-P2600 の名称	RM-P2580 の名称
[メニュー] ボタン	[MENU] ボタン
[セット] ボタン	[SET] ボタン
[パン / チルト] レバー	[PAN/TILT] レバー
[カメラ] ボタン	[CAMERA] ボタン
[ポジション] ボタン	[POSITION] ボタン
[ホーム] ボタン	[HOME] ボタン
[確定] ボタン	[ENTER] ボタン
[アイリス（閉）（開）] ボタン	[IRIS（CLOSE）（OPEN)] ボタン
[フォーカス（近）（遠）] ボタン	[FOCUS（NEAR）（FAR)] ボタン
[ズーム（広角）（望遠）] ボタン	[ZOOM（WIDE）（TELE)] ボタン
[オートパン / ー] ボタン	[AUTO PAN] ボタン

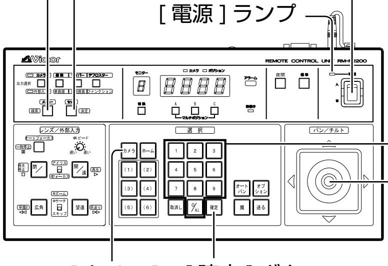
設定方法

リモートコントロールユニットを使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定を行うことができます。

● 本書では、RM-P2200 を中心に各設定の説明をしており、リモコン本体、およびメニュー画面のイラストは RM-P2200 のものとなっています。

RM-P1000/RM-P2200/RM-P2600 からカメラ側メニューの設定を行う

メモ:
- ご使用のリモートコントロールユニットの [取扱説明書] をあわせてご覧ください。
- 本項目で説明するメニューはカメラメニューのみとなります。カメラメニューは黄色で表示、リモコンのメニューは白色で表示されます。リモコンのシステムメニューについては、お使いのリモコンの［取扱説明書］をご覧ください。



1 [電源] スイッチを "ON" にする

[電源] ランプが点灯します。

2 [メニュー] ボタンを 1 秒間押す

パスワード入力画面が表示されます。

3 テンキーボタンでパスワード "2222" を入力する

4 [確定] ボタンを押す

- [メニュー] 画面が表示されます。
- " パスワードが正しくありません " と表示された場合は、正しいパスワードを再入力してください。

5 [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル（▷）を、[カメラメニュー設定 ..] 項目に移動する

- レバーを上側（▲）に押すと、カーソルは上に移動します。
- レバーを下側（▼）に押すと、カーソルは下に移動します。

カーソル

－－－メニュー－－－－
システム設定．．
▷ カメラメニュー設定．．
ホームポジション設定．．
プリセットポジション設定．．
アラーム設定．．

[メニュー] 画面

6 [セット] ボタンを押す

- カメラメニュー設定画面が表示されます。
- 項目の最後に "‥" が付いているものは、サブメニューがあります。

7 [パン/チルト]レバーを上下に動かし項目を選択する

8 [セット] ボタンを押す

カメラ側のサブメニュー画面が表示されます。

メニュー　1-1
カメラ機能1．．
▷ カメラ機能2．．
カメラタイトル／アラーム．．
カメラALC設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

サブメニューあり

[カメラメニュー設定] 画面

9 [パン / チルト] レバーを左右に動かし、項目の値を変更する

- レバーを左側（◀）に押すと、数値が小さくなります。
- レバーを右側（▶）に押すと、数値が大きくなります。

変更マーク

カメラ機能２　1-2
▷＊ フリップ　DIGITAL
バリアブルP/Tスピード　ON
イージーＡＦ　ＯＦＦ
ＩＲプリセットＡＦ　ＯＦＦ
チルトリミット　0°
マニュアルパンリミット　ＯＦＦ
<メニュー>戻る

選択カメラ表示

サブメニュー画面例

メモ:
- 項目の設定値を変更すると変更マーク（＊）が表示されます。
- 手順 **8** で、[戻る / 送る] ボタンを押すと、選択しているカメラを変更できます。選択カメラは画面右上に表示されます。

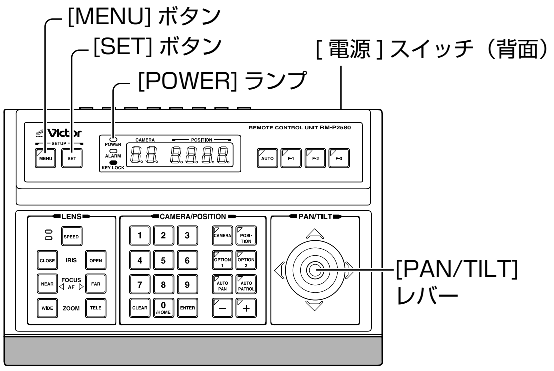
10 [メニュー] ボタンを押す

項目の設定が終わったら、[メニュー] ボタンを押し、上位メニュー画面に戻します。

RM-P2580 からカメラ側メニューの設定を行う

メモ:

- カメラのイニシャル動作が終了するまで、RM-P2580 のメニュー操作は行わないでください。
- RM-P2580 の [取扱説明書] をあわせてご覧ください。
- 本項目で説明するメニューはカメラメニューのみとなります。カメラメニューは黄色で表示、リモコンのメニューは白色で表示されます。RM-P2580 のシステムについては、RM-P2580 の取扱説明書をご覧ください。



1 背面部電源スイッチを “ON” にする

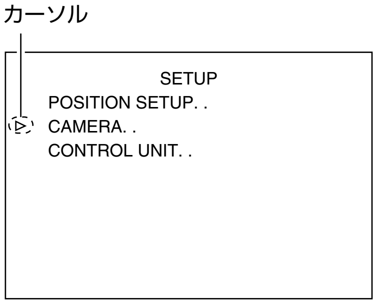
[POWER] ランプが点灯します。

2 [MENU] ボタンを 3 秒間押す

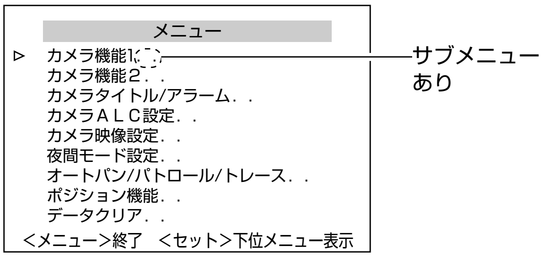
- [MENU] ボタンランプが点灯します。
- [MONITOR OUTPUT-1]からリモコン側の[SETUP]画面が表示されます。

3 [PAN/TILT] レバーを下に動かし、カーソル（▷）を、[CAMERA..] 項目に移動する

レバーを上側（▲）に押すと、カーソルは上に移動します。



[SETUP] 画面



[メニュー] 画面

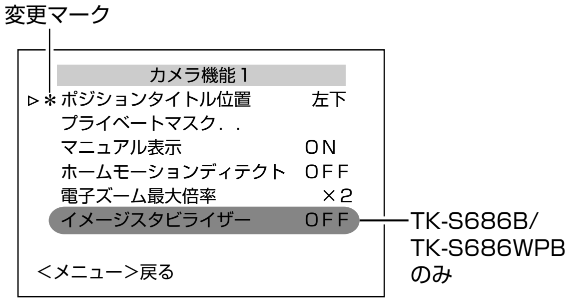
4 [SET] ボタンを押す

- [メニュー] 画面が表示されます。
- 項目の最後に “..” が付いているものは、サブメニューがあります。

5 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし項目を選択する

6 [SET] ボタンを押す

- レバーを左側（◀）に押すと、数値が小さくなります。
- レバーを右側（▶）に押すと、数値が大きくなります。



サブメニュー画面例

メモ:

- 項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク（＊）が表示されます。

7 [MENU] ボタンを押す

項目の設定が終わったら、[MENU] ボタンを押し、上位メニュー画面に戻します。

メモ:

- カメラの誤動作を防止するため、カメラのイニシャル動作が終るまで、メニュー操作は行わないでください。

メニュー画面の流れ

RM-P2200/RM-P2600

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）

通常画面

［メニュー］を 1 秒間押す

```
－－－メニュー－－－－
パスワードを入力してください
```

(☞ 36 ページ) [2222] を入力し［確定］を押す

```
－－－メニュー－－－－
システム設定．．
▷ カメラメニュー設定．．
ホームポジション設定．．
プリセットポジション設定．．
アラーム設定．．
データI/O端子設定．．      ← RM-P2600のみ
```

(☞ 36 ページ)

```
メニュー
▷ カメラ機能1．．
カメラ機能2．．
カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示
```

```
－－－ホームポジション設定－－－
ユニット一端子番号　　　1-1
▷ 映像設定．．
<標準>→ポジション登録モード
<戻る><送る>→［ユニット端子番号］選択
```

RM-P2200のみ RM-P2600では "カメラ番号 カメラ1" が表示されます。

RM-P2200のみ RM-P2600では "カメラ選択" が表示されます。

```
－－－プリセットポジション設定－－－－
カテゴリー　　　　　①
－－－－－－－－－－－－－－－－－
ポジションタイトル設定．．
番号モード　　　　　4，9抜き
▷ 登録．．　　　　　　Aポジション
クリア．．　　　　　全て(A,B,C)
```

RM-P2200のみ RM-P2600では "ポジションヘッダー表示設定" が表示されます。

(☞ 56 ページ)

```
ホームポジションタイトル／映像設定
▷ ホームポジションタイトル編集．．
映像設定．．　　　　　　シーンA
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

＊RM-P2600の画面

```
ープリセットポジション　A登録
プリセット番号1　　　(登録あり[カメラ 1])
カメラ番号　　　　　カメラ1
映像設定．．
<標準>→ポジション登録モード
<戻る><送る>→登録済みポジション選択
```

(☞ 79 ページ)

```
ホームポジションタイトル編集
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンァィゥェォャュョガギグゲゴザジズゼゾダヂ
ヅデドバビブベボパピプペポABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ．，'－：／（）＜ ゞ °
全クリア　やりなおし［←］　［→］INS DEL
▶広角 ▶望遠
<メニュー>戻る　　<セット>キャラクタ確定
[　　　　　　　　　　　　]
[　　　　　　　　　　　　]
```

＊RM-P2200の画面

```
ープリセットポジション カテゴリ①-A登録
プリセット番号　　　　1
ユニット一端子番号　　1-1
▷ 映像設定．．
<標準>→ポジション登録モード
<戻る><送る>→登録済みポジション選択
```

(☞ 84 ページ)

```
ポジションタイトル編集
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンァィゥェォャュョガギグゲゴザジズゼゾダヂ
ヅデドバビブベボパピプペポABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ．，'－：／（）＜ ゞ °
全クリア　やりなおし［←］　［→］INS DEL
▶広角 ▶望遠
<メニュー>戻る　　<セット>キャラクタ確定
[　　　　　　　　　　　　]
```

(☞ 58 ページ)

```
ポジション映像(タイトル)設定
▷ ポジションタイトル．．　カメラ編集
映像設定．．　　　　　　シーンA
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示
```

(☞ 56、58 ページ)

```
映像設定　シーンA
▷ アイリスモード　　　　ＡＵＴＯ
ExDRモード　　　　　　ＯＦＦ
ExDRレベル　　　　　　－－－
ＢＬＣモード　　　　　ＯＦＦ
ホワイトバランスモード　ＡＴＷ－Ｗ
Ｒゲイン　　　　　　　－－－
Ｂゲイン　　　　　　　－－－
<メニュー>戻る
```

(☞ 44 ページ)

```
カメラ機能1
▷ プライベートマスク．．
マニュアル表示　　　　　　　ＯＮ
ホームモーションディテクト．．ＯＦＦ
電子ズーム最大倍率　　　　　×２
イメージスタビライザー　　　ＯＦＦ　← TK-S686B/TK-S686WPBのみ
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

(☞ 46 ページ)

```
カメラ機能2
▷ フリップ　　　　　　　DIGITAL
バリアブルP/Tスピード　ＯＮ
イージーＡＦ　　　　　ＯＦＦ
ＩＲプリセットＡＦ　　ＯＦＦ
チルトリミット　　　　0°
マニュアルパンリミット　ＯＦＦ
<メニュー>戻る
```

(☞ 48 ページ)

```
カメラタイトル／アラーム
▷ カメラタイトル編集．．
エリア表示モード　　　　ＯＦＦ
アラームタイトルサイズ　大
アラームタイトルカラー　白
リモコンアラームタイトル編集．．
カメラアラーム入力．．
カメラアラーム出力．．
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

(☞ 50 ページ)

```
カメラＡＬＣ設定
▷ シャッター　　　　1/60
ＡＧＣモード　　　ＭＩＤ
電子増感アップ　　ＯＦＦ
ＡＬＣモード　　　－－－
白黒／カラーモード．．
<メニュー>戻る
```

(☞ 52 ページ)

```
カメラ映像設定
▷ モニタータイプ　　ＣＲＴ
ＤＶＲセーブモード　ＯＦＦ
カラーレベル　　　　ノーマル
エンハンスレベル　　ノーマル
セットアップ　　　　ＯＮ
ＤＮＲモード　　　　ＯＦＦ
ＳＥＣモード　　　　ＯＦＦ
<メニュー>戻る
```

(☞ 53 ページ)

```
夜間モード設定
▷ 強制白黒切換　　　　　　ＯＮ
強制モーションディテクト　ＯＦＦ
<メニュー>戻る
```

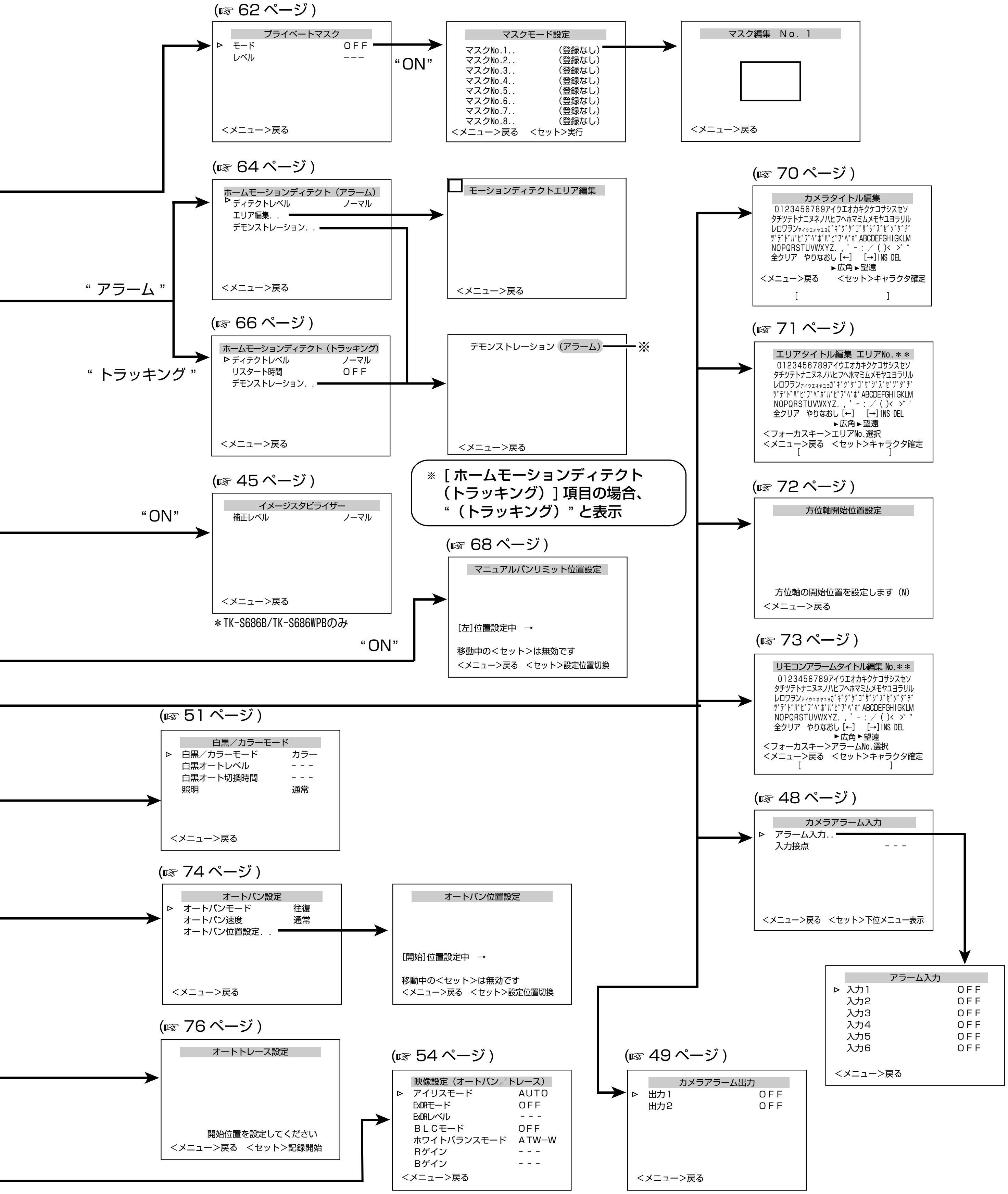
(☞ 53 ページ)

```
オートパン／トレース
▷ オートパン設定．．
オートトレース設定．．
映像設定(オートパン／トレース)．．
リモコンオートパンキー　　オートパン
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

■ メニュー画面について

本機にはカメラごとに設定できる機能（全てのポジションで同じ設定）と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。
また、本項目で説明するメニューはカメラメニューのみとなります。カメラメニューは黄色で表示、リモコンのメニューは白色で表示されます。リモコンのシステムメニューについては、お使いのリモコンの［取扱説明書］をご覧ください。

- **カメラごとに機能を設定するメニュー**
  - ・カメラ機能１
  - ・カメラ機能２
  - ・カメラ ＡＬＣ 設定
  - ・カメラタイトル / アラーム
  - ・カメラ映像設定
  - ・夜間モード設定
  - ・オートパン / トレース
- **各プリセットポジションに対して設定するメニュー**
  - ・ポジション機能 ➡ 映像設定



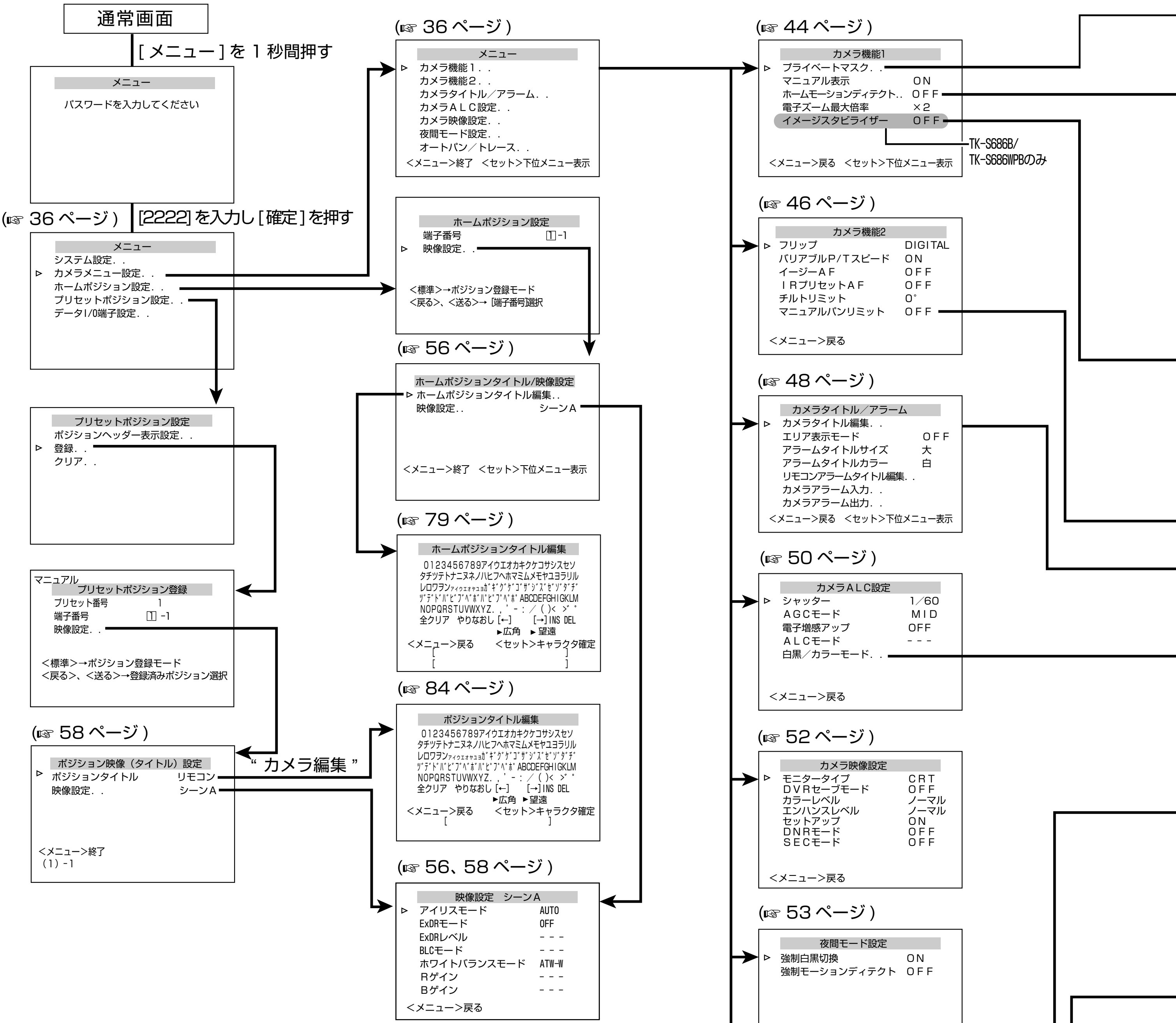
■ ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめ A~H 8 種類のシーンファイルを用意しています。各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとに A~H のうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行います。

メニュー画面の流れ（つづき）

RM-P1000

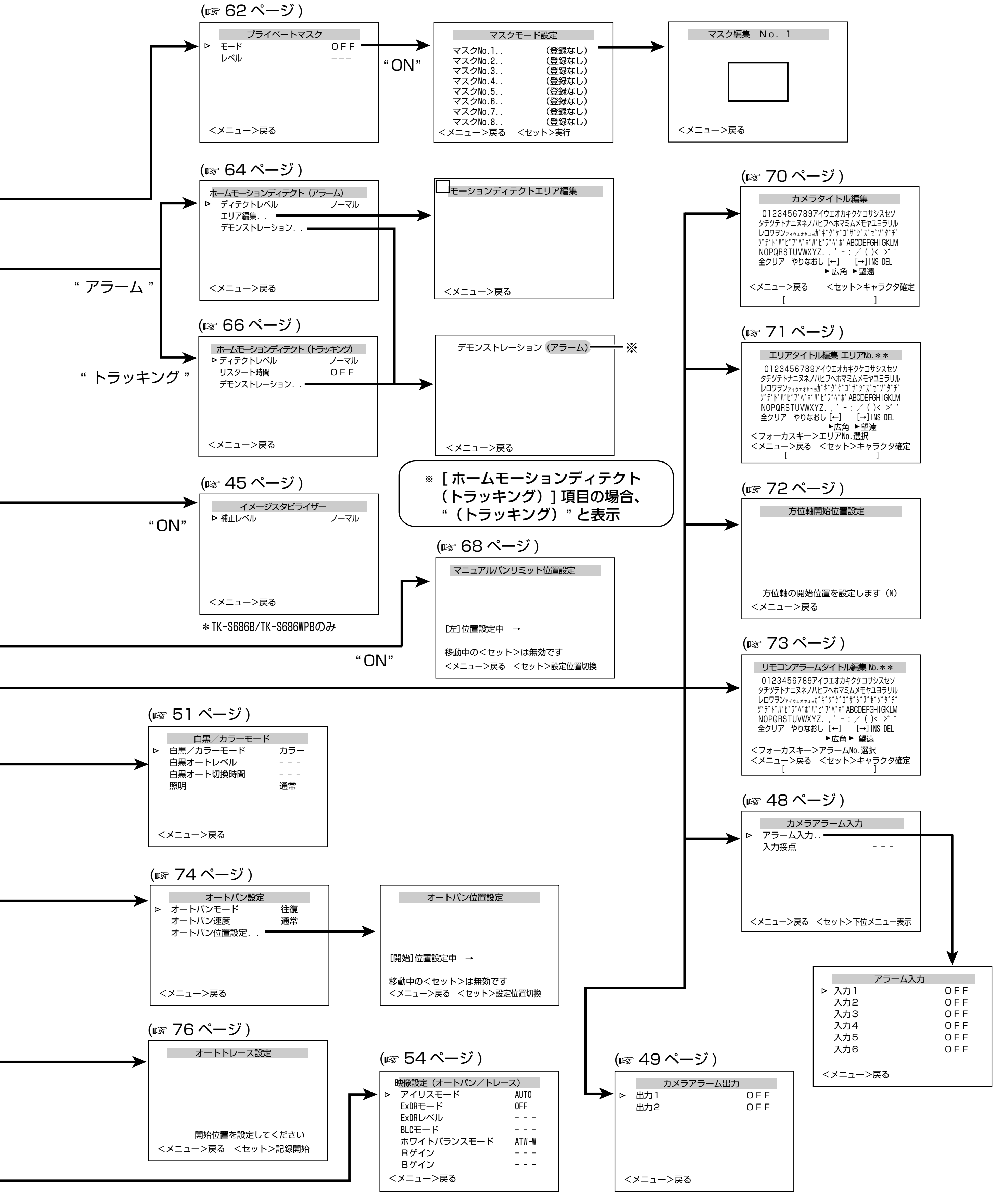
メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



■ メニュー画面について

本機にはカメラごとに設定できる機能（全てのポジションで同じ設定）と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。
また、本項目で説明するメニューはカメラメニューのみとなります。カメラメニューは黄色で表示、リモコンのメニューは白色で表示されます。リモコンのシステムメニューについては、お使いのリモコンの［取扱説明書］をご覧ください。

- **カメラごとに機能を設定するメニュー**
  - ・カメラ機能１
  - ・カメラ機能２
  - ・カメラＡＬＣ設定
  - ・カメラタイトル / アラーム
  - ・カメラ映像設定
  - ・夜間モード設定
  - ・オートパン / トレース
- **各プリセットポジションに対して設定するメニュー**
  - ・ポジション機能 ➜ 映像設定



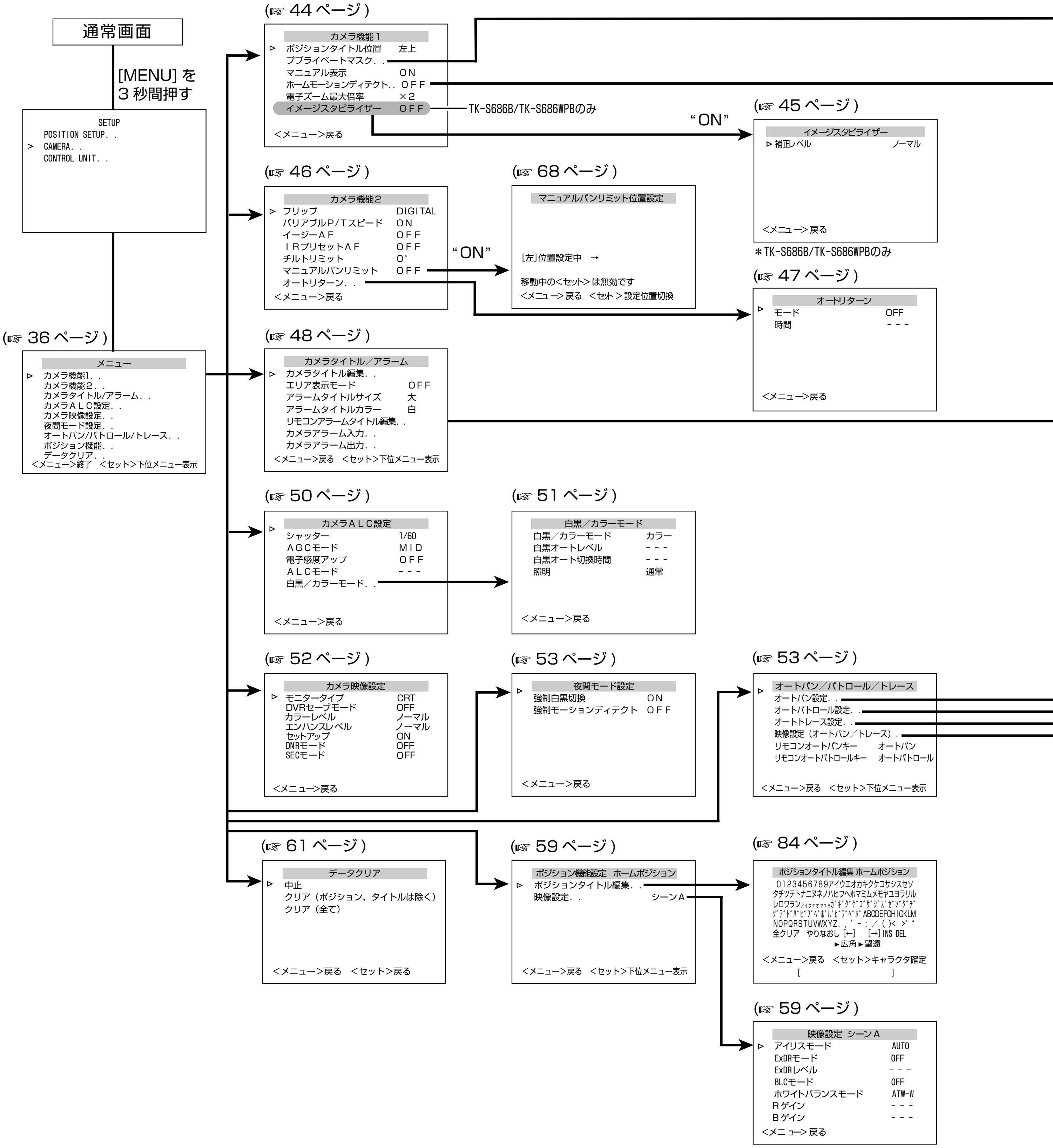
■ ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめ A~H 8 種類のシーンファイルを用意しています。各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとに A~H のうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行います。

メニュー画面の流れ（つづき）

RM-P2580

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



(☞ 62 ページ)

プライベートマスク
▹ モード　OFF
レベル　---
<メニュー>戻る

"ON"

マスクモード設定
マスクNo.1..　(登録なし)
マスクNo.2..　(登録なし)
マスクNo.3..　(登録なし)
マスクNo.4..　(登録なし)
マスクNo.5..　(登録なし)
マスクNo.6..　(登録なし)
マスクNo.7..　(登録なし)
マスクNo.8..　(登録なし)
<メニュー>戻る　<セット>実行

マスク編集　No.1
<メニュー>戻る

"アラーム"

(☞ 64 ページ)

ホームモーションディテクト(アラーム)
▹ ディテクトレベル　ノーマル
エリア編集..
アラーム時間　5秒
デモンストレーション..
<メニュー>戻る

モーションディテクトエリア編集
<メニュー>戻る

デモンストレーション(アラーム)
<メニュー>戻る

" トラッキング "

(☞ 66 ページ)

ホームモーションディテクト(トラッキング)
▹ ディテクトレベル　ノーマル
リスタート時間　OFF
デモンストレーション..
<メニュー>戻る

デモンストレーション(トラッキング)
<メニュー>戻る

(☞ 70 ページ)

カメラタイトル編集
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンｧｨｩｪｫｬｭｮｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ.,　'-:　/()< >" °
全クリア　やりなおし [←]　[→]INS DEL
▸広角 ▸望遠
<メニュー>戻る　<セット>キャラクタ確定
[　]

(☞ 71 ページ)

エリアタイトル編集 エリアNo.＊＊
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンｧｨｩｪｫｬｭｮｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ.,　'-:　/()< >" °
全クリア　やりなおし [←]　[→]INS DEL
▸広角 ▸望遠
<フォーカスキー>エリアNo選択
<メニュー>戻る　<セット>キャラクタ確定
[　]

(☞ 72 ページ)

方位軸開始位置設定
方位軸の開始位置を設定します(N)
<メニュー>戻る

(☞ 74 ページ)

オートパン設定
▹ オートパンモード　往復
オートパン速度　通常
オートパン位置設定..
<メニュー>戻る

オートパン位置設定
[開始]位置設定中→
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る　<セット>設定位置切換

(☞ 73 ページ)

リモコンアラームタイトル編集 No.＊＊
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンｧｨｩｪｫｬｭｮｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ.,　'-:　/()< >" °
全クリア　やりなおし [←]　[→]INS DEL
▸広角 ▸望遠
<フォーカスキー>アラームNo選択
<メニュー>戻る　<セット>キャラクタ確定
[　]

(☞ 83 ページ)

オートパトロール設定 モード＊
パトロール1　ホーム　10秒
パトロール2　ポジション1　10秒

オートパトロール設定 モード＊
パトロール93　ポジション92　10秒
パトロール94　ポジション93　10秒
パトロール95　ポジション94　10秒
パトロール96　ポジション95　10秒
パトロール97　ポジション96　10秒
パトロール98　ポジション97　10秒
パトロール99　ポジション98　10秒
パトロール100　ポジション99　10秒
<フォーカスキー>モード　<ズームキー>ページ
<メニュー>戻る

(☞ 48 ページ)

カメラアラーム入力
▹ アラーム入力..
入力接点　---
時間　---
アラームモード　---
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

アラーム入力
▹ 入力1　OFF
入力2　OFF
入力3　OFF
入力4　OFF
入力5　OFF
入力6　OFF
<メニュー>戻る

(☞ 76 ページ)

オートトレース設定
開始位置を設定してください
<メニュー>戻る　<セット>記録開始

(☞ 54 ページ)

映像設定(オートパン/トレース)
▹ アイリスモード　AUTO
ExDRモード　OFF
ExDRレベル　---
BLCモード　OFF
ホワイトバランスモード　ATW-W
Rゲイン　---
Bゲイン　---
<メニュー>戻る

(☞ 49 ページ)

カメラアラーム出力
▹ 出力1　OFF
出力2　OFF
<メニュー>戻る

カメラ機能 1 画面

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
ポジションタイトル位置 (RM-P2580 のみ)	● 左上 左下 中上 中下 右上 右下	ポジションタイトル、エリアタイトルの表示位置を設定します。 左上：画面の左上部に表示します。中下：画面の中央下に表示します。 左下：画面の左下部に表示します。右上：画面の右上部に表示します。 中上：画面の中央上に表示します。右下：画面の右下部に表示します。
プライベートマスク ..	—	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分をマスキングし映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。[プライベートマスク設定] (☞62 ページ)
モード	● OFF ON	プライベートマスクの ON/OFF を設定します。 OFF　：プライベートマスクは機能しません。 ON　：[マスクモード設定] 画面が表示されます。マスク No. を選択し、“ON” に設定し、マスクの設定を行います。設定の詳細は、[プライベートマスク設定] (☞62 ページ) をご覧ください。
レベル	0 ～10 (● 4)	マスクの色を設定します。“ 0 ” が黒色となり、数字が大きくなるごとに白に近くなります。“ 10” で白色となります。
マニュアル表示	OFF ● ON	プリセットされたポジション以外にリモートコントロールユニットでマニュアル操作した場合、画面上に “ マニュアル ” と表示させるかどうかの設定をします。 “ON” に設定すると、その他にオートパン動作中、オートトレース動作中画面上にそれぞれ “ オートパン ”、“ オートトレース ” と表示されます。 ON ： マニュアル表示します。 OFF ： マニュアル表示しません。 **メモ:** ● 本項目が“ON” に設定されていても、[エリア表示モード] 項目 (☞ 48ページ) が、“ タイトル ” または “ 方位 ” に設定されている場合と、プリセットポジション選択時には表示されません。
ホームモーションディテクト	● OFF アラーム トラッキング	カメラがホームポジションにあるとき、映像に動きがあると動作するモーションディテクト機能に関する設定を行います。 アラーム信号はアラーム出力端子から出力されます。 **ご注意:** ● 本機のモーションディテクト機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しない場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。 ● 本機能は、[イメージスタビライザー] 項目を “OFF” に設定したときのホームポジション画面に対して機能します。[イメージスタビライザー] 項目を “ON” に設定した場合、画面が拡大表示されるため、映っていない画面の動きにも反応することがありますが、本機の仕様であり故障ではありません。(TK-S686B/TK-S686WPB のみ)
OFF	—	モーションディテクトは機能しません。
アラーム	—	映像に動きがあるとアラーム信号を出力します。
ディテクトレベル	− 5 ～ 5 ● ノーマル	検出感度の設定をします。 感度を下げる ➡ 数を小さく 感度を上げる ➡ 数を大きく **メモ:** ● 検出感度を上げると、蛍光灯のフリッカーなどにも反応する場合があります。設定後は、必ずデモンストレーション画面で確認してください。

項目	設定値	機能と設定値
ホームモーションディテクト (つづき)		
アラーム (つづき)	—	映像に動きがあるとアラーム信号を出力します。
エリア編集	—	非検出エリアの設定をします。(☞ 65 ページ)
アラーム時間 (RM-P2580 のみ)	OFF ● 5 秒 6秒、7秒、 8秒、9秒、 10 秒、15 秒、 20 秒、30 秒、 60 秒	アラーム信号を出力する時間を設定します。 ご注意: ● RM-P2580 のシステムではこの設定は無効となります。RM-P2580 の [アラームタイム] 項目で設定してください。(☞ RM-P2580［取扱説明書］)
デモンストレーション ..	—	設定したモーションディテクト（アラーム）機能を確認します。
トラッキング	—	カメラがホームポジションにあるとき、映像に動きがあるときに、動きのある被写体を自動的に追いかけて撮影します。 [ホームモーションディテクト（トラッキング）の設定] (☞66 ページ) メモ: ● 下記の条件では、モーションディテクト（トラッキング）が困難な場合があります。 ● 同一画面に複数の移動する物体が存在する ● 画面内に点滅する光源など、ちらつきがある ● 移動する物体の速度が速い ● 移動する物体が大きい、または小さい ● 被写体のコントラストがない ● 映像が暗い場合、電子感度アップ機能 (☞ 50 ページ) によって改善しますが、反応が遅くなる場合があります。
ディテクトレベル	− 5 ～ 5 ● ノーマル	検出感度の設定をします。 感度を下げる ➡ 数を小さく 感度を上げる ➡ 数を大きく
リスタート時間	● OFF 10 秒、20 秒、 30 秒、40 秒、 50 秒、60 秒、 120 秒	トラッキング開始後、映像に動きがなくなってから、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。
デモンストレーション ..	—	設定したモーションディテクト（トラッキング）機能を確認します。
電子ズーム最大倍率	× 1 ● × 2 × 4 × 8 ×16 ×32	ズームレンズを望遠側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。 メモ: ● 電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ● 電子ズームの倍率を上げていくと、画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ● 光学ズームから電子ズームへ連続動作はしません。光学ズームが TELE 端にきたら、望遠ボタンを押し直してください。
イメージスタビライザー (TK-S686B/TK-S686WPB のみ)	● OFF ON	振動による画像の揺れを抑える機能です。“ON” に設定すると、画像の揺れを抑制します。 メモ: ● “ON” に設定した場合、画面が約 1.3 倍に拡大表示されます。 ● 電子ズーム領域では、補正は効きません。 ● 電源 ON から約 1 分間、およびパン / チルト / ズーム動作中に補正は効きません。 ● 速い周期の画揺れや、カメラヘッドのパン / チルト角度によっては、補正が効きにくい場合があります。また、設置環境によっては、カメラに伝わる振動によって、スタビライザーが誤動作し、画揺れが増えることがあります。このような場合には、[イメージスタビライザー] を “OFF” してご使用ください。
補正レベル	低 ● ノーマル 高	補正レベルを 3 段階に設定できます。 “ 高 ” にすると “ ノーマル ” に比べて補正量が大きくなり、“ 低 ” にすると “ ノーマル ” に比べて補正量が小さくなります。

カメラ機能 2 画面

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
フリップ	OFF AUTO ● DIGITAL	“OFF” に設定した場合、本機は垂直回転動作をすると真下を向いたところで停止します。 カメラの真下を通過する被写体を追従する場合、カメラを ① 真下に向ける ② 水平に 180° 回転させる ③ 上に向ける、この 3 つの手順が必要です。 フリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。 カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF ：フリップ機能は動作しません。 AUTO ：カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、止まります。 DIGITAL ：カメラが真下を過ぎ 135° の位置で、映像の上下左右が反転します。 メモ: ● “DIGITAL” に設定されている場合、チルト位置が 90° を超えると、画面上に “ マニュアル T90” と表示されます。本項目が、“DIGITAL” に設定されていても、[マニュアル表示] 項目 (☞ 44 ページ) が “OFF” に設定されている場合、“ マニュアル T90” は表示されません。
バリアブル P/T スピード	OFF ● ON	レンズのズームに応じて、パン（水平回転)、チルト（垂直回転) の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズを TELE（望遠) 側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、WIDE（広角) 側にすると、パン、チルトの速度は速くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF： 機能しません ON ： 機能します
イージー AF	● OFF ON	“ON” に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作を行なっている間、自動的にオートフォーカス（AF) が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF： 機能しません ON ： 機能します メモ: オートフォーカスは被写体によって十分にフォーカスが合わないことがあります。(☞ 7 ページ) その場合は手動でフォーカスを合わせてください。
IR プリセット AF	● OFF ON	白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このとき “ON” に設定すると、自動的にフォーカスを合わせます。 OFF： 機能しません ON ： 機能します
チルトリミット	− 5° 〜 10° (● 0°)	マニュアル操作時のチルト（垂直）動作の可動範囲を設定します。 プリセットポジションやオートトレース、オートパトロール動作には影響しません。10° に設定した場合チルト動作の可動範囲は 10° から 90° になり、−5 ° から 9° の間の操作ができなくなります。 チルトリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでチルト操作すると下記のように動作します。 メモ: ● 禁止領域内ではチルト操作ができず、強制的にチルトが有効領域内に移動されます。 ● 一度有効領域に入ると、その後はチルトリミット設定に従い、有効領域のみでのチルト操作になります。
マニュアルパンリミット	● OFF ON	マニュアル操作時のパン（水平）動作の可動範囲を設定します。プリセットポジション、オートパン、オートトレース動作には影響しません。 [マニュアルパンリミット設定] (☞68 ページ)

項目	設定値	機能と設定値
オートリターン .. **(RM-P2580 のみ)**	—	“ 時間 ” で設定した期間カメラの操作を行わないと、カメラが自動的に “ モード ” で設定した状態に戻ります。 **ご注意:** ● 本機能は、RM-P2580 のシリアルナンバープレートに表示される機種名が、“RM-P2580(A)” の商品でないと、正常に機能しません。
モード	● OFF ホーム オートパンキー オートパトロールキー	オートリターン後の動作を設定します。 OFF ：オートリターン動作しません。 ホーム ：ホームポジションに戻ります。 オートパンキー ：オートパンキーで設定された動作に戻ります。(☞ 55 ページ) オートパトロールキー: リモコンオートパトロールキーで設定された動作に戻ります。(☞ 55 ページ) **メモ:** ● 本機能を使用する場合は、RM-P2580背面のDIP SW4を“ON”に設定してください。
時間	● 1 分 2 分、3 分、 5 分、10 分、 20 分、30 分、 60 分	オートリターンで動作を戻すまでの時間を設定します。 **メモ:** ● モード項目が “OFF” に設定されている場合、“- - -” と表示され設定できません。

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。
(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
カメラタイトル編集 ..	―	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大 16 文字まで設定できます。 [カメラタイトル設定] (☞70 ページ)
エリア表示モード	● OFF タイトル 方位	エリアに関する設定をします。
OFF	―	表示しません。
タイトル	―	水平回転範囲 360° を 16 エリアに等分し、各エリアに 16 文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転) させると、設定したエリアタイトルが表示されます。 [エリア表示モード設定（タイトル）] (☞71 ページ)
方位	―	基本軸となる方向 N（北）を設定します。カメラを手動でパンニング（水平回転) させると、水平回転範囲 360° が 8 エリアに等分され、それぞれ、N, NE, E, SE, S, SW, W, NW と表示されます。 [エリア表示モード設定（方位）] (☞72 ページ)
アラームタイトルサイズ	小 ● 大	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 小：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 大：メニュー画面の文字に比べ縦・横 2 倍サイズです。
アラームタイトルカラー	● 白 緑 水色 黄色	アラーム時に表示するタイトル文字の色を設定します。
リモコンアラームタイトル編集	―	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 [リモコンアラームタイトル設定] (☞73 ページ)
カメラアラーム入力 ..	―	アラーム入力端子に関する設定を行います。
アラーム入力		アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。
入力 1 ～ 6	● OFF ホーム プリセット 1 ～ プリセット 99 (RM-P2580 のみ)	OFF　：アラーム入力があっても映像出力しません。 ホーム　：アラーム入力時、ホームポジジョンの映像を出力します。 プリセット 1 ～プリセット 99(RM-P2580 のみ) アラーム入力時に、選択したプリセットポジションの映像を出力します。 **メモ:** ● [白黒／カラーモード] (☞51 ページ) 設定が“ アラーム入力 ” に設定されている場合、“（白黒）” と表示され設定変更できません。
入力接点	● メーク ブレイク	アラーム入力信号の極性を設定します。 メーク　：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったときアラームが入ります。 ブレイク：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズからオープンになったときアラームが入ります。 **メモ:** ● [アラーム入力] 項目が “OFF” に設定されている場合、“- - -” と表示され設定できません。

項目	設定値	機能と設定値
カメラアラーム入力 ..（つづき）		
時間 (RM-P2580 のみ)	● **5 秒** 6秒 7秒 8秒 9秒 10 秒 15 秒 20 秒 30 秒 60 秒	アラームが発生したときに出力する、アラーム信号の出力時間、アラームタイトルの表示時間を設定します。 **メモ：** ● [アラーム入力] 項目が“OFF”、もしくは [白黒／カラーモード]（☞51 ページ）が、“アラーム入力”に設定されている場合、“- - -”と表示され設定できません。 **ご注意：** ● RM-P2580 のシステムではこの設定は無効となります。RM-P2580 の [アラームタイム] 項目で設定してください。（☞ RM-P2580「取扱説明書」）
アラームモード (RM-P2580 のみ)	● **アラーム優先** マニュアル優先	カメラをマニュアル操作しているときにアラーム入力があった場合の動作を設定します。 アラーム優先　：マニュアル操作中である・なしに関わらず、アラーム入力があるとアラーム動作になります。（アラーム動作優先） マニュアル優先：マニュアル操作中のカメラにアラーム入力があってもアラーム動作しません。（マニュアル操作優先） **メモ：** ● [アラーム入力] 項目が“OFF”に設定されている場合、“- - -”と表示され設定できません。 ● RM-P2580 のシステムでは、この設定は無効となり、“アラーム優先”モードとなります。
カメラアラーム出力		アラーム出力端子についての設定を行います。
出力1 **出力2**	● **OFF** アラーム 白黒 プリセット AUX1 AUX2 AUX3	OFF：アラームは出力しません。 アラーム：アラーム入力があったとき、アラーム信号を出力し、アラーム表示中は出力を継続します。 **メモ：** ● システムコントロールユニットや、RM-P2580 へアラーム入力があった場合も、アラーム信号を出力します。 白黒：本機が白黒モードになったとき、アラーム信号を出力し、白黒モードの間は出力を継続します。 プリセット：ホームポジションまたは、プリセットポジションに移動したとき、アラーム信号を出力します。 AUX1,AUX2,AUX3：オグジュアリー入力があったとき、アラーム信号を出力します。 **メモ：** ● “AUX1”、“AUX2”、“AUX3”は通常使用しないでください。詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

カメラ ALC 設定

明るさによって自動的に調整を行います。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定を行います。

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
シャッター	● 1/60 1/100 1/250 1/500 1/1000 1/2000 1/4000 1/10000	電子シャッターのスピードを設定します。[電子感度アップ] 項目を “× 2 ” 以上に設定すると、可変できる設定値は、“1/60” と “1/100” のみです。 メモ: ● 商用電源周波数 50Hz 地域ではシャッタースピードを “1/100” に、60Hz 地域では “1/60” に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ● シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生する CCD 特有のスミア現象が強調されます。
AGC モード	OFF ● MID HIGH SUPER	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げる AGC（自動ゲイン調整) の最大ゲインを設定します。 被写体の明るさに応じて設定してください。 “OFF” に設定すると、自動ゲイン調整は行いません。 メモ: ● [白黒／カラーモード] 項目が “ オート ” に設定されている場合は、本項目が “SUPER” のときは “SUPER” を、その他の設定時は “HIGH” を表示して、表示した値までゲインを上げます。 ● ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。 ● “SUPER” に設定すると、急激なレベル変化に対しては動作時間がかかることがあります。
電子感度アップ	● OFF × 2 × 4 × 8 ×16 ×32 ×64 ×128	電子感度アップは、露光時間を長くして感度を上げる機能です。 この項目では被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上るかを設定します。 “×32” の場合、標準レベルに比べ 32 倍まで自動的に連続で感度があがります。 感度が上がるとシャッタースピードが遅くなるため動きは不自然なものとなります。[シャッター] 項目を “1/250” 以上に設定すると “- - -” と表示され電子感度アップは機能しません。 メモ: ● 電子ズームの倍率を上げると、画面がザラついたり白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。
ALC モード	● 動き優先 画質優先	被写体が暗くなったとき、動きを優先するか、画質を優先するかを設定します。 動き優先 ：動きを優先します。被写体が暗くなると、AGC（自動ゲイン調整) が優先的に機能するため、動きの早い被写体に適しています。 画質優先 ：画質を優先します。被写体が暗くなると、電子増感（電子感度アップ) が優先的に機能するため、画像を優先する被写体に適しています。 メモ: ● [AGCモード]項目と[電子感度アップ]項目のどちらか一方でも“OFF”に設定されている場合 “- - -” と表示され設定できません。 ● [白黒／カラーモード]項目が“ オート”に設定されている場合は本項目は動き優先モードとなり “- - -” と表示されます。

項目	設定値	機能と設定値
白黒／カラーモード	—	白黒／カラーのモード切り換えに関する設定を行います。 メモ： ● 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このときは、白黒モードでフォーカスを合わせ直してください。また、[IR プリセット AF] 項目 (☞ 46 ページ) を "ON" に設定すると、モードの切換時に自動的にフォーカスを合わせることができます。 ● 必要に応じて赤外照明を使用してください。
白黒／カラーモード	● **カラー** 白黒 オート アラーム入力１～ アラーム入力６	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 カラー　：いつもカラーモードとなります。 白黒　：いつも白黒モードとなります。 オート　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 アラーム入力１～アラーム入力６： アラーム入力があった場合、白黒モードになります。接点がショート（メイク）時は白黒モード ON、オープン（ブレイク）時は白黒モード OFF となります。 メモ： **■ 白黒／カラー切り換えを確実に行うために：** ● [白黒／カラーモード] 項目を " オート " に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えを行うことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。より確実に切り換えを行うためには、外部センサー（別売）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行うことをおすすめいたします。
白黒オートレベル	低 ● **ノーマル** 高	白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 低　：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 ノーマル　：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 高　：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 メモ： ● [白黒／カラーモード]項目が" オート"以外に設定されている場合は"- - -"と表示され設定できません。
白黒オート切換時間	10 秒 20 秒 ● **30 秒**	被写体が暗くなったとき、白黒モードに切り換わるまでの時間を設定します。 メモ： ● [白黒／カラーモード] 項目が" オート " 以外に設定されている場合、"- - -" と表示され設定できません。
照明	● **通常** 赤外	白黒モード時、被写体を照らす照明を設定します。 **通常**：通常の照明はこの設定にします。 赤外：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 メモ： ● 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。

カメラ映像設定

（● は初期値 ）

項目	設定値	機能と設定値
モニタータイプ	● CRT LCD1 LCD2	モニタータイプの設定をします。 お使いのモニターに合わせて、出力される映像設定を変更できます。適切と思われるモードを選んで設定してください。
DVR セーブモード	● OFF ON	外付けのハードディスクレコーダーなどに、画像を録画する場合に設定します。“ON” に設定すると、記録データ量を減らすことはできますが、解像度は劣化します。
カラーレベル	－５～５ ● ノーマル	映像信号の色レベル調整を行います。 色を薄くする ➡ 数を小さく 色を濃くする ➡ 数を大きく
エンハンスレベル	－５～５ ● ノーマル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整を行います。 画質をソフトにする ➡ 数を小さく 画質をシャープにする ➡ 数を大きく メモ: ● [DVR セーブモード] 項目が “ON” に設定されている場合、“- - -” と表示され設定できません。
セットアップ	OFF ● ON	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準) の調整を行います。 OFF：画像を暗くします。 ON：画像を明るくします。 メモ: ● [モニタータイプ] 項目が “LCD1”、“LCD2” に設定されている場合、“- - -” と表示され設定できません。
DNR モード	● OFF ON	DNR モード（Digital Noise Reduction) 機能の設定をします。 “ON” にすると画面上のノイズが軽減されます。 メモ: ● 暗い画像でのノイズ低減効果がありますが、解像度が低下します。 ● 高輝度と低輝度が隣接する部分では、エッジがざらつく場合があります。
SEC モード	● OFF ON	極めの細かい部分の映像を強調します。見た目の解像度が上がります。 メモ: ● [DVR セーブモード] 項目が “ON” に設定されている場合、“- - -” と表示され設定できません。 ● 被写体によってはノイズが目立つことがあります。

夜間モード画面

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
強制白黒切換	OFF ● ON	夜間モード時の白黒制御を設定します。 OFF ： 夜間モード時に白黒制御しません。 ON ： 夜間モード時に白黒制御します。 **メモ:** ● “ON” に設定すると [白黒／カラーモード] 項目が “ 白黒 ” 以外に設定されていても強制的に白黒になります。
強制モーション ディテクト	● OFF アラーム トラッキング	夜間モード時の動き検出制御を設定します。 OFF ：夜間モード時のモーションディテクト機能はモーションディテクト画面で設定した状態になります。 アラーム ：夜間モード時強制的にモーションディテクト機能を “ アラーム ” にします。 トラッキング：夜間モード時強制的にモーションディテクト機能を “ トラッキング ” にします。

ご注意:

- 本機のモーションディテクト機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しない場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。
- RM-P2580 では、設定はできますが、リモコン本体から夜間モードに切り換えることはできません。

オートパン / パトロール / トレース画面

ゆっくり水平回転するオートパン機能、設定された順に複数のポジションを移動するオートパトロール機能※、手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定を行います。

※ **オートパトロール機能は RM-P2580 のみです。**

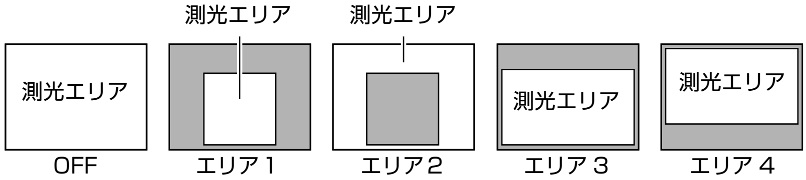
(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
オートパン設定 ..	—	オートパン動作に関する設定を行います。 [オートパン設定] (☞74 ページ)
オートパンモード	● **往復** 右回転 左回転	往復 ：開始位置と終了位置の往復 右回転：右回転 左回転：左回転
オートパン速度	低速 ● **通常** 高速	オートパン時の回転速度を設定します。 低速：低速回転 通常：標準回転 高速：高速回転
オートパン位置設定 ..	—	往復時のオートパンの開始位置と終了位置を設定します。

オートパン / パトロール / トレース画面（つづき）

※ オートパトロール機能は RM-P2580 のみです。
(● は初期値)

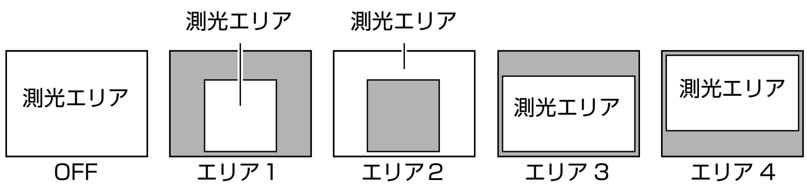
項目			設定値	機能と設定値
オートパトロール設定 .. (RM-P2580 のみ)			—	オートパトロール動作に関する設定を行います。 [オートパトロール設定] (☞83 ページ)
	モード		● 1 2 3	オートパトロール動作モードのパターンを選択します。
	ポジション			パトロールするポジションの順番を設定します。 設定したポジションの順番でオートパトロールします。
		パトロール 1	● ホーム ポジション 1 〜 ポジション 99	
		パトロール 2 〜 パトロール 100	ホーム ● ポジション 1 〜 ポジション 99	
	時間		スキップ ● 10 秒 20 秒 30 秒 45 秒 1 分 2 分	1 つのポジションに滞在する時間を設定します。
オートトレース設定			—	オートトレース動作に関する設定を行います。 [オートトレース設定] (☞76 ページ)
映像設定（オートパン / トレース）				オートパン、オートトレース時の映像に関する設定を行います。
	アイリスモード		マニュアル ● AUTO AUTO+ AUTO−	レンズアイリスの調整方法を設定します。 マニュアル： 手動でアイリスを調整するときに設定します。 AUTO ： 自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+ ： 自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO− ： 自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。
	ExDR モード		● OFF ON	低速シャッターと高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 OFF ： ExDR は機能しません。 ON ： ExDR は機能します。 メモ： ● [シャッター]項目を“ 1/250” 以上に設定した場合、“- - -” と表示され ExDR は機能しません。 ● [BLCモード]項目を“ エリア 1 〜エリア 4” に設定した場合、“- - -” と表示され ExDR は機能しません。
	ExDR レベル		− 5 〜 5 ● ノーマル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 被写体の高輝度部を見やすく ➡ 数を小さく 被写体の低輝度部を見やすく ➡ 数を大きく メモ： ● 被写体の照度差が大きい場合、[ExDR レベル] を可変させても映像が変化しない場合があります。これは本機の特性で故障ではありません。 ● [シャッター] 項目を “ 1/250” 以上に設定した場合、“- - -” と表示され [ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。 ● [ExDR モード] 項目が “ OFF” に設定されている場合、[ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。

項目	設定値	機能と設定値
映像設定（オートパン / トレース）(つづき)		
BLC モード	● **OFF** エリア１ エリア２ エリア３ エリア４	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 OFF　：逆光補正しません。 エリア１ ～エリア４：下図を参照し設定します。  **メモ:** ● [ExDR モード] 項目が "ON" に設定されている場合、"- - -" と表示され [BLC モード] 項目の設定は行なえません。
ホワイトバランスモード	● **ATW-W** ATW-N AWC	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 ATW-W：ATW-N よりさらに広い色温度の範囲に対応します。（色温度 2300K ～ 10000K の範囲） ATW-N：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾) モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度 3200K ～ 8000K の範囲） AWC：Auto White Control（自動白バランス調整) モードとなり、"＜セット＞AWC 開始 " と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。(☞ 78 ページ) **メモ:** ● "ATW-N"、"ATW-W" に設定した場合、[R ゲイン], [B ゲイン] 項目は "- - -" と表示され、色相調整は行えません。 ● [カメラＡＬＣ設定] 項目の [白黒／カラーモード] を " 白黒 " に設定した場合、[ホワイトバランスモード]、[R ゲイン]、[B ゲイン] 項目は "- - -" と表示され、色相調整は行えません。
R ゲイン	0 ～ 255 (**●71**)	AWC 時の R（赤) の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。
B ゲイン	0 ～ 255 (**●61**)	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。
リモコンオートパンキー	● **オートパン** オートパトロール (RM-P2580 のみ) オートトレース	リモコンの [オートパン] ボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　：オートパン機能 オートパトロール　：オートパトロール機能 (RM-P2580 のみ) オートトレース　：オートトレース機能
リモコンオートパトロールキー (RM-P2580 のみ)	オートパン ● **オートパトロール** オートトレース	リモコンの [AUTO PATROL] ボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　：オートパン機能 オートパトロール　：オートパトロール機能 オートトレース　：オートトレース機能

ホームポジションタイトル / 映像設定画面

(RM-P2200/RM-P2600/RM-P1000 のみ)

ホームポジションに関する設定を行います。
(● は初期値)

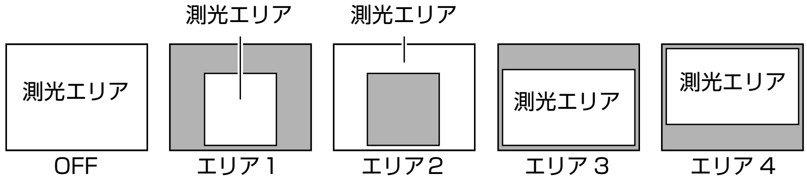
項目	設定値	機能と設定値
ホームポジションタイトル編集 ..	—	ホームポジションタイトルを 20 文字× 2 行まで設定し、画面に表示します。 [ホームポジションタイトル設定] (☞79 ページ)
映像設定 ..	シーン A ～ シーン H (● シーン A)	ホームポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。
アイリスモード	マニュアル ● AUTO AUTO+ AUTO−	レンズアイリスの調整方法を設定します。 マニュアル： 手動でアイリスを調整するときに設定します。 AUTO ： 自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+ ： 自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO− ： 自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。
ExDR モード	● OFF ON	低速シャッターと高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 OFF ： ExDR は機能しません。 ON ： ExDR は機能します。 メモ： ● [シャッター] 項目を " 1/250" 以上に設定した場合、"- - -" と表示され ExDR は機能しません。 ● [BLC モード] 項目を " エリア 1 ～エリア 4" に設定した場合、"- - -" と表示され ExDR は機能しません。
ExDR レベル	− 5 ～ 5 ● ノーマル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 被写体の高輝度部を見やすく ➡ 数を小さく 被写体の低輝度部を見やすく ➡ 数を大きく メモ： ● 被写体の照度差が大きい場合、[ExDR レベル] を可変させても映像が変化しない場合があります。これは本機の特性で故障ではありません。 ● [シャッター] 項目を " 1/250" 以上に設定した場合、"- - -" と表示され [ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。 ● [ExDR モード] 項目が "OFF" に設定されている場合、[ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。
BLC モード	● OFF エリア 1 エリア 2 エリア 3 エリア 4	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 OFF ： 逆光補正しません。 エリア 1 ～ エリア 4 ： 下図を参照し設定します。  メモ： ● [ExDR モード] 項目が "ON" に設定されている場合、"- - -" と表示され [BLC モード] 項目の設定は行なえません。

項目	設定値	機能と設定値
映像設定 .. (つづき)		
ホワイトバランスモード	● **ATW-W** ATW-N AWC	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 ATW-W ：ATW-N よりさらに広い色温度の範囲に対応します。（色温度 2300K ～ 10000K の範囲） ATW-N ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾) モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度 3200K ～ 8000K の範囲） AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整) モードとなり、“＜セット＞AWC 開始 ” と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。(☞ 78 ページ) メモ： ● “ATW-N”、“ATW-W” に設定した場合、[R ゲイン], [B ゲイン] 項目は “- - -” と表示され、色相調整は行えません。 ● [カメラ A L C 設定] 項目の [白黒／カラーモード] を“ 白黒 ” に設定した場合、[ホワイトバランスモード]、[R ゲイン]、[B ゲイン] 項目は “- - -” を表示され、色相調整は行えません。
R ゲイン	0 ～ 255 (● 71)	AWC 時の R（赤) の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。
B ゲイン	0 ～ 255 (● 61)	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。

ポジション映像（タイトル）設定画面

(RM-P2200/RM-P2600/RM-P1000 のみ)

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
ポジションタイトル	● リモコン カメラ編集	プリセットポジションのタイトルの表示を設定します。 **リモコン** ：リモートコントロールユニット RM-P2200、RM-P2600、RM-P1000 で設定した値を表示します。設定値はカテゴリタイトル、ポジション番号、マルチポジションなどです。 カメラ編集 ：編集したタイトルを表示します。セットボタンを押して編集画面を起動し設定します。 [プリセットポジション設定] (☞80 ページ) **メモ:** ● ポジションタイトルは、ホームポジション設定では表示されません。
映像設定 ..	シーン A ～ シーン H (● シーン A)	ホームポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。
アイリスモード	マニュアル ● AUTO AUTO+ AUTO−	レンズアイリスの調整方法を設定します。 マニュアル： 手動でアイリスを調整するときに設定します。 AUTO ： 自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+ ： 自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO− ： 自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。
ExDR モード	● OFF ON	低速シャッターと高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 OFF ： ExDR は機能しません。 ON ： ExDR は機能します。 **メモ:** ● [シャッター] 項目を“ 1/250” 以上に設定した場合、“- - -” と表示され ExDR は機能しません。 ● [BLC モード] 項目を“ エリア 1 ～エリア 4” に設定した場合、“- - -” と表示され ExDR は機能しません。
ExDR レベル	− 5 ～ 5 ● ノーマル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 被写体の高輝度部を見やすく ➡ 数を小さく 被写体の低輝度部を見やすく ➡ 数を大きく **メモ:** ● 被写体の照度差が大きい場合、[ExDR レベル] を可変させても映像が変化しない場合があります。これは本機の特性で故障ではありません。 ● [シャッター] 項目を “ 1/250” 以上に設定した場合、“- - -” と表示され [ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。 ● [ExDR モード] 項目が “OFF” に設定されている場合、[ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。
BLC モード	● OFF エリア 1 エリア 2 エリア 3 エリア 4	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 OFF ： 逆光補正しません。 エリア 1 ～ エリア 4 ： 下図を参照し設定します。  **メモ:** ● [ExDR モード] 項目が “ON” に設定されている場合、“- - -” と表示され [BLC モード] 項目の設定は行なえません。

項目		設定値	機能と設定値
映像設定 ..（つづき）			
	ホワイトバランスモード	● **ATW-W** ATW-N AWC	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 ATW-W ：ATW-N よりさらに広い色温度の範囲に対応します。（色温度 2300K ～ 10000K の範囲） ATW-N ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾）モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度 3200K ～ 8000K の範囲） AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整）モードとなり、"＜セット＞AWC 開始" と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。(☞ 78 ページ） **メモ：** ● ATW-N/ATW-W 設定時は、[R ゲイン], [B ゲイン] 項目は "- - -" と表示され、色相調整は行えません。 ● [カメラＡＬＣ設定] 項目の [白黒／カラーモード] を " 白黒 " に設定した場合、[ホワイトバランスモード]、[R ゲイン]、[B ゲイン] 項目は "- - -" を表示され、色相調整は行えません。
	R ゲイン	0 ～ 255 (● 71)	AWC 時の R（赤）の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。
	B ゲイン	0 ～ 255 (● 61)	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。

ポジション機能設定画面

(RM-P2580 のみ)

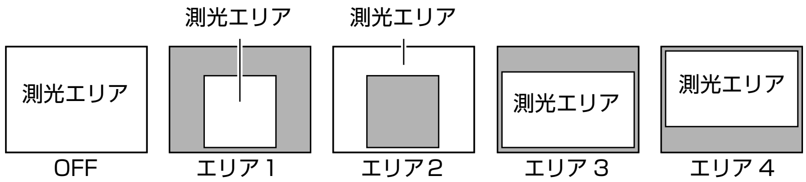
(● は初期値）

項目		設定値	機能と設定値
ポジションタイトル編集 ..		—	ポジションタイトルを 16 文字まで設定し、画面に表示します。 [ポジションタイトル設定] (☞84 ページ)
映像設定 ..		シーン A ～ シーン H (● シーン A)	プリセットポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。
	アイリスモード	マニュアル ● **AUTO** AUTO+ AUTO–	レンズアイリスの調整方法を設定します。 マニュアル： 手動でアイリスを調整するときに設定します。 AUTO ： 自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+ ： 自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO– ： 自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。
	ExDR モード	● **OFF** ON	低速シャッターと高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 OFF ： ExDR は機能しません。 ON ： ExDR は機能します。 **メモ：** ● [シャッター] 項目を " 1/250" 以上に設定した場合、"- - -" と表示され ExDR は機能しません。 ● [BLC モード] 項目を " エリア 1 ～エリア 4" に設定した場合、"- - -" と表示され ExDR は機能しません。

ポジション機能設定画面

(RM-P2580 のみ)（つづき）

(● は初期値)

項目	設定値	機能と設定値
映像設定 .. (つづき)		
ExDR レベル	－ 5 ～ 5 ● ノーマル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 被写体の高輝度部を見やすく ➡ 数を小さく 被写体の低輝度部を見やすく ➡ 数を大きく メモ: ● 被写体の照度差が大きい場合、[ExDR レベル] を可変させても映像が変化しない場合があります。これは本機の特性で故障ではありません。 ● [シャッター] 項目を “ 1/250” 以上に設定した場合、“- - -” と表示され [ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。 ● [ExDR モード] 項目が “ OFF” に設定されている場合、[ExDR レベル] 項目の設定は行なえません。
BLC モード	● OFF エリア 1 エリア 2 エリア 3 エリア 4	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 OFF　: 逆光補正しません。 エリア 1 ～ エリア 4 : 下図を参照し設定します。  メモ: ● [ExDR モード] 項目が “ON” に設定されている場合、“- - -” と表示され [BLC モード] 項目の設定は行なえません。
ホワイトバランスモード	● ATW-W ATW-N AWC	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 ATW-W : ATW-N よりさらに広い色温度の範囲に対応します。（色温度 2300K ～ 10000K の範囲） ATW-N : Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾) モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度 3200K ～ 8000K の範囲） AWC : Auto White Control（自動白バランス調整) モードとなり、“＜セット＞AWC 開始 ” と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。(☞ 82 ページ) メモ: ● ATW-N/ATW-W 設定時は、[R ゲイン], [B ゲイン] 項目は “- - -” と表示され、色相調整は行えません。 ● [カメラ A L C 設定] 項目の [白黒／カラーモード] を “ 白黒 ” に設定した場合、[ホワイトバランスモード]、[R ゲイン]、[B ゲイン] 項目は “- - -” を表示され、色相調整は行えません。
R ゲイン	0 ～ 255 (● 71)	AWC 時の R（赤) の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。
B ゲイン	0 ～ 255 (● 61)	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。

データクリア画面

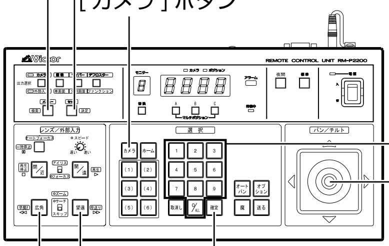
(RM-P2580 のみ)

設定値を初期値に戻します。
[SET] ボタンを押すと約 20 秒間 " データクリア実行中 " と表示され、設定値が初期値に戻ります。
終了時に " データをクリアしました " と表示します。

項目	設定値	機能と設定値
中止	—	初期値に戻しません。[MENU] ボタンか、[SET] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。
クリア（ポジション、タイトルは除く）	—	設定値を初期値に戻します。ただし、設定ポジション、ポジションごとの設定データと各種タイトルは初期値に戻りません。 終了後はメニュー画面に戻ります。
クリア（全て）	—	タイトル、設定ポジションを含め、すべての設定値を初期値に戻します。終了後は、メニュー画面に戻ります。

プライベートマスク設定

撮影画面の中で映したくない部分を設定し、その部分だけ単色（色の設定可）にし、映さないようにするマスクの設定を行います。
マスクは 8 か所に設定できます。



■ 準備

1 マスクをかけるカメラを選択する (☞ 使用リモコンの［取扱説明書］)

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号）➡ [確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 画面が表示されます。

3 [カメラ機能１] 画面を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラ機能１] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラ機能１] 画面が表示されます。

カメラ機能1
▷ プライベートマスク..
マニュアル表示　ON
ホームモーションディテクト..　OFF
電子ズーム最大倍率　×2
イメージスタビライザー　OFF　— TK-S686B/TK-S686WPB のみ
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

[カメラ機能１] 画面

4 [プライベートマスク] 画面を開く

カーソル（▷）を [プライベートマスク] 項目に移動し、[セット] ボタンを押すと [プライベートマスク] 画面が表示されます。

■ マスクの設定

1 [マスクモード設定] 画面を開く

- [パン/チルト]レバーを左右に動かし[**モード**]を“ON”にします。
- [セット]ボタンを押すと[マスクモード設定]画面が表示されます。

プライベートマスク
▷ モード　ON
レベル　4
<メニュー>戻る

[プライベートマスク] 画面

マスクモード設定
▷ マスクNo.1..　(登録なし)
マスクNo.2..　(登録なし)
マスクNo.3..　(登録なし)
マスクNo.4..　(登録なし)
マスクNo.5..　(登録なし)
マスクNo.6..　(登録なし)
マスクNo.7..　(登録なし)
マスクNo.8..　(登録なし)
<メニュー>戻る　<セット>実行

[マスクモード設定] 画面

メモ:
- [モード]を“OFF”にするとマスクNo.1 ～ No.8が一括して非表示になります。

2 マスク番号を選択

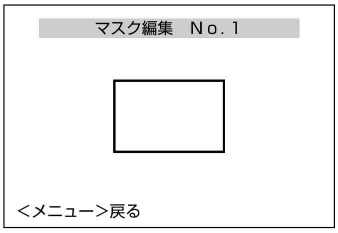
- [マスクモード設定] 画面の、マスク No.1 ～ No.8 でプライベートマスクする No. にカーソルを移動します。

マスクモード設定
▷ マスクNo.1..　ON
マスクNo.2..　(登録なし)
マスクNo.3..　(登録なし)
マスクNo.4..　(登録なし)
マスクNo.5..　(登録なし)
マスクNo.6..　(登録なし)
マスクNo.7..　(登録なし)
マスクNo.8..　(登録なし)
<メニュー>戻る　<セット>実行

[マスクモード設定] 画面

3 [セット] を押す

- [マスク編集] 画面が表示されます。
  （マスクエリアに枠が表示されます）



[マスク編集] 画面

メモ:

- 設定値が “OFF” に設定されている場合は、[マスクモード設定] 画面に入れません。
- チルト位置が水平方向から約 40°以上の場合、“ チルト位置が設定範囲外です ” と表示され、マスクの設定はできません。
- 工場出荷状態では、マスク No.1 ～ No.8 は全て“（登録なし）” と表示されます。
- すでに編集されたマスク番号を選択したときは、[マスク編集] 画面が設定した位置に移動します。

4 マスク範囲を設定

● [パン / チルト] レバー（上下左右）	マスクの位置を編集 メモ: ● チルトが水平端で停止したとき、更にチルトアップ操作でマスクを水平上部に設定することができます。
● [望遠] ボタン ● [広角] ボタン	マスクの垂直方向の大きさを調整
● [近] ボタン ● [遠] ボタン	マスクの水平方向の大きさを調整

5 [メニュー] ボタンを押す

設定したマスクの設定を保存し、上位メニュー画面（[マスクモード設定] 画面）に戻ります。

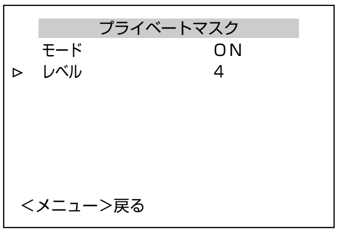
6 手順 *1* ～ *4* を繰り返す

7 [メニュー] ボタンを押す

■ レベルの設定

1 [プライベートマスク] 画面で [レベル] を選択する

- カーソル（▷）を [レベル] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし、“ レベル ”（マスクの色）を設定します。
- 設定値は 0（黒）～ 10（白）です。



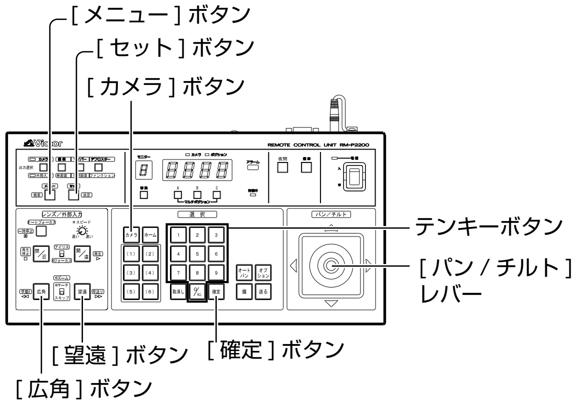
[プライベートマスク] 画面

メモ:

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向き、またはズーム位置によっては対象物が映ってしまう場合があります。必ず設定後にカメラの向きとズーム位置を動かしてプライベートマスク設定範囲が映らないことを確認してください。また対象物が映ってしまう場合は手順 *4* の [マスク範囲を設定] でマスク範囲を大きく設定してください。
- [マスク編集] 画面でマスクを設定すると、[マスクモード設定] 画面の設定値が “ON” になります。
- マスクが設定済みの場合、マスク No.1 ～ No.8 で個別に表示の ON/OFF の設定ができます。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません。
- チルト位置が水平方向から約 40°以上の場合、“ チルト位置が設定範囲外です ” と表示され、マスクの設定はできません。
- マスクの位置を調整する際に、チルト角が水平方向の限界まで達した後、[パン / チルト] レバーを 1 度離し、再度倒すとプライベートマスクだけが上方へ移動します。この操作によって、チルト角の限界より上方の領域にプライベートマスクを設定することができます。

ホームモーションディテクト（アラーム）の設定

カメラがホームポジションにあるとき、映像に動きがあるとモーションディテクト機能が働きます。
本項目では、動きを検出しない場所（非検出エリア）の設定を行います。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ） ➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

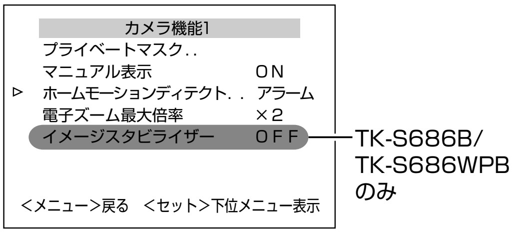
[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

3 [カメラ機能 1] 画面を選択する

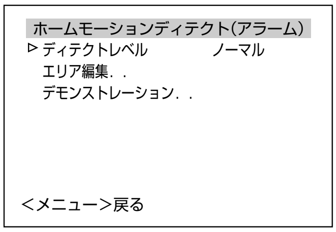
- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラ機能 1] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラ機能 1] 画面が表示されます。

4 [ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面を開く

- カーソル(▷)を [ホームモーションディテクト ..] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし " アラーム " を選びます。
- [セット]ボタンを押すと[ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面が表示されます。



[カメラ機能 1] 画面

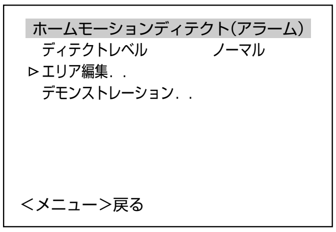


[ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面

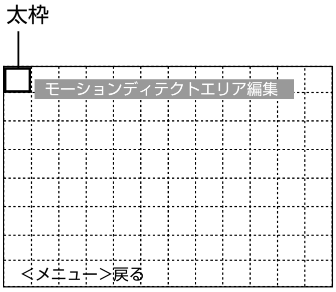
■ 設定

1 非検出エリアの設定

- [エリア編集 ..] を選択し、[セット] ボタンを押します。
- [ホームモーションディテクトエリア編集] 画面が表示されます。



[ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面



[ホームモーションディテクトエリア編集] 画面（イメージ）

メモ：
- ワク表示は画面中央から左上のほうへ少しずれて表示されます。
- イラストは、画面全体を 12 × 8で分割したイメージです。実際の画面に表示されるのは太枠のみで、分割された線は表示されません。

2 非検出エリアを選択する

- [パン / チルト] レバー(上下左右)をに動かし検出しないエリアを設定します。
- 選択エリア太枠が表示されます。

3 非検出エリアを設定する

[セット] ボタンを押すと、選択エリアが " 白色 " に変わり、設定が完了します。

4 手順 *2* 、*3* を繰り返す

検出しないエリアをすべて設定します。

5 [メニュー] を押す

設定したエリアの設定を保存し、上位メニュー画面（[ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面）に戻ります。

● 非検出エリアを解除

- 設定済みのエリア（白色）を選択し、[セット] ボタンを押します。
- 設定が解除され、" 太枠 " になります。

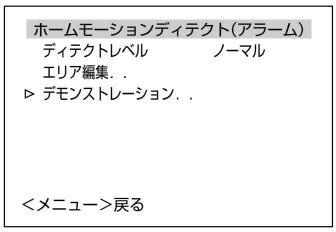
メモ：
- 画面表示の位置はめやすです。必ず実際の画面で確認してください。

ご注意：
- モーションディテクトは、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した不便や損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のモーションディテクト機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しない場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。
- 本機能は、スタビライザー項目を OFF に設定したときのホームポジション画面に対して機能します。スタビライザー項目を ON に設定した場合、画面が拡大表示されるため、映っていない画面の動きにも反応することがありますが、本機の仕様であり故障ではありません。

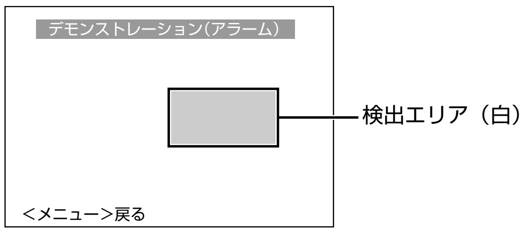
● デモンストレーション

1 [デモンストレーション ..] を選択し、[セット] ボタンを押す

検出エリアが白く表示されます。



[ホームモーションディテクト（アラーム）] 画面

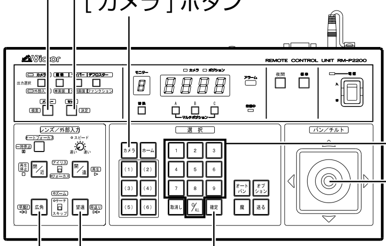


[デモンストレーション] 画面

ホームモーションディテクト（トラッキング）の設定

カメラがホームポジションにあるとき、動きのある被写体を自動追尾する機能の設定を行います。

本機能は、ホームポジション全体の輝度変化によって自動追尾を行います。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

3 [カメラ機能１] 画面を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラ機能１] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラ機能１] 画面が表示されます。

カメラ機能1
プライベートマスク . .
マニュアル表示　ON
▷ ホームモーションディテクト . .　アラーム
電子ズーム最大倍率　×２
イメージスタビライザー　ＯＦＦ ― TK-S686B/TK-S686WPB のみ
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

[カメラ機能１] 画面

4 [ホームモーションディテクト (トラッキング)] 画面を開く

- カーソル(▷)を [ホームモーションディテクト ..] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし " トラッキング " を選びます。
- [セット]ボタンを押すと[ホームモーションディテクト（トラッキング）] 画面が表示されます。

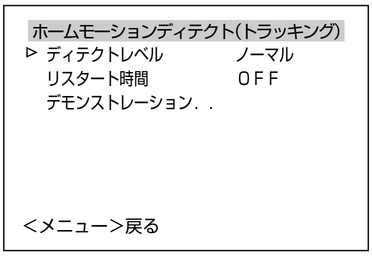
ホームモーションディテクト(トラッキング)
▷ ディテクトレベル　ノーマル
リスタート時間　ＯＦＦ
デモンストレーション . .
<メニュー>戻る

[ホームモーションディテクト（トラッキング）] 画面

■ 設定

1 [ディテクトレベル] を設定する

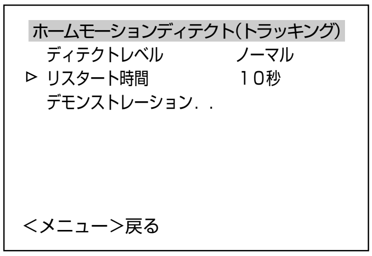
- カーソル（▷）を [ディテクトレベル] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし“ ディテクトレベル ”（動き検出の感度）を設定します。
- 設定値は－５（低感度）～５（高感度）です。



[ホームモーションディテクト（トラッキング）] 画面

2 [リスタート時間] を設定する

- カーソル（▷）を [リスタート時間] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし、動きがなくなってから、ホームポジションに戻る時間 (リスタート時間) を設定します。
- カメラは“ リスタート時間 ” 経過後、ホームポジションに移動します。



[ホームモーションディテクト（トラッキング）] 画面

メモ:

- [オートリターン]項目の[時間]の設定値(☞ 47ページ)が [リスタート時間] の設定時間よりも小さい場合、カメラの動作は [オートリターン] の設定に従います。（RM-P2580 のみ）
- 下記の条件では、モーションディテクト（トラッキング）が困難な場合があります。
  - 同一画面に複数の移動する物体が存在する
  - 画面内に点滅する光源など、ちらつきがある
  - 移動する物体の速度が速い、または遅い
  - 移動する物体が大きい、または小さい
  - 被写体のコントラストがない
- 映像が暗い場合、電子感度アップ機能によって改善しますが、反応が遅くなる場合があります。

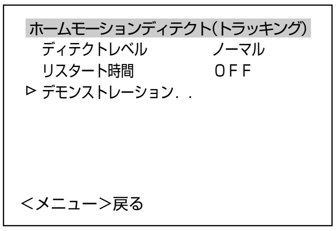
ご注意:

- モーションディテクトは、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した不便や損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のモーションディテクト機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しない場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。
- 本機能は、[イメージスタビライザー] 項目を “OFF” に設定したときのホームポジション画面に対して機能します。[イメージスタビライザー] 項目を “ON” に設定した場合、画面が拡大表示されるため、映っていない画面の動きにも反応することがありますが、本機の仕様であり故障ではありません。（TK-S686B/TK-S686WPB のみ）(☞ 45 ページ)

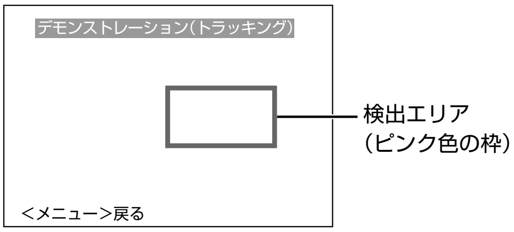
● デモンストレーション

1 [デモンストレーション ..] を選択し、[セット] ボタンを押す

検出エリアがピンク色の枠で表示されます。



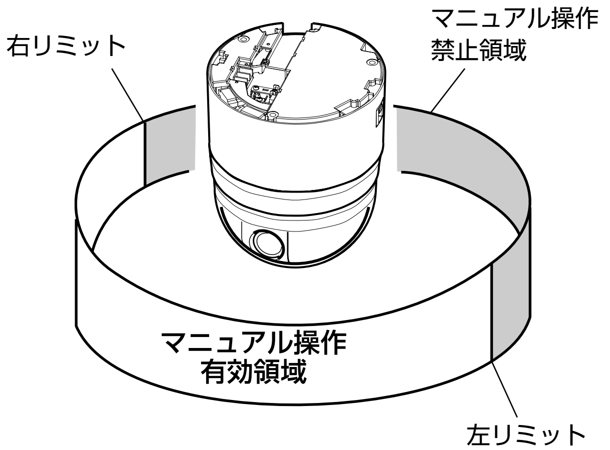
[ホームモーションディテクト（トラッキング）] 画面

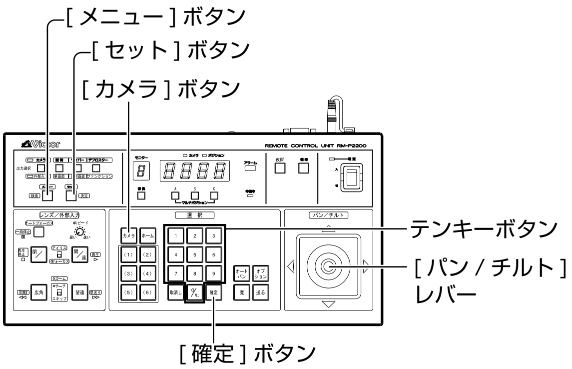


[デモンストレーション] 画面

マニュアルパンリミット設定

マニュアル操作する場合の、パン（水平）操作できる範囲を設定します。





■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

3 [カメラ機能２] 画面を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラ機能２] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラ機能２] 画面が表示されます。

カメラ機能2	
フリップ	DIGITAL
バリアブルP/Tスピード	ON
イージーAF	OFF
ＩRプリセットAF	OFF
チルトリミット	0°
▷マニュアルパンリミット..	ON
<メニュー>戻る	

[カメラ機能２] 画面

4 [マニュアルパンリミット位置設定] 画面を開く

カーソル（▷）を [マニュアルパンリミット] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし “ON” を選びます。

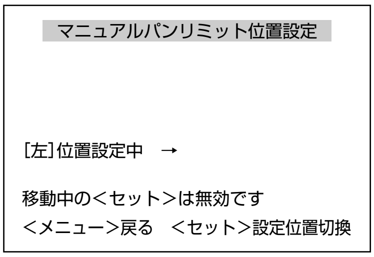
5 [セット] ボタンを押す

[マニュアルパンリミット位置設定]（左位置）が表示されます。

■ 設定

1 左リミット位置を設定

- [パン / チルト] レバー(左右)で左側のリミット位置を決めます。
- 操作中画面左下に"[左]位置設定中→"と表示されます。

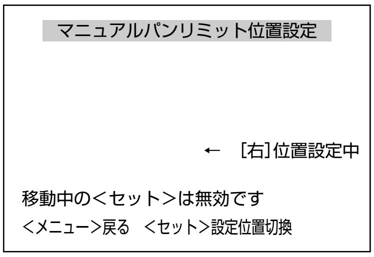


[マニュアルパンリミット位置設定] 画面
(左位置)

2 [セット] ボタンを押す

3 右リミット位置を設定

[パン / チルト] レバーで右側のリミット位置を決めます。操作中画面右下に " ←[右] 位置設定中 " と表示されます。



[マニュアルパンリミット位置設定] 画面
(右位置)

4 [メニュー] ボタンを押す

設定済みのリミット位置が記憶され、[カメラ機能２] 画面に戻ります。

メモ:

- 本メニュー表示中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでにマニュアルパンリミットが設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された左リミット位置に移動します。
- パン移動中の [セット] は無効です。パン移動が停止してから [セット] ボタンを押してください。

■ マニュアルパンリミットの基本動作

- マニュアルパンリミットを設定すると、有効領域のみパン操作できます。
- マニュアルパンリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでパン操作すると、下記のように動作します。
  - 有効領域に入るまで、禁止領域内でも自由にパン操作できます。
  - 一度有効領域に入るとその後はマニュアルパンリミット設定に従い、有効領域のみのパン操作になります。

● マニュアルパンリミットより優先される動作

下記動作は、マニュアルパンリミットで設定した禁止領域に関係なく動作します。

- オートパン動作
- オートトレース動作
- プリセットポジション移動
- フリップ動作
- モーションディテクト(トラッキング)動作

● マニュアルパンリミットより優先される設定

下記メニューの設定は、パン動作をともないますが、マニュアルパンリミットが設定されていても、禁止領域に関係なく設定できます。

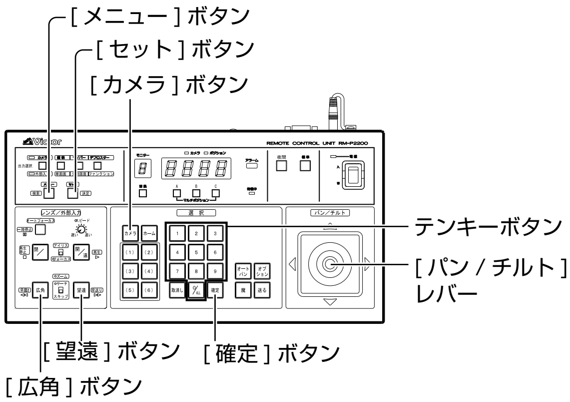
- プライベートマスク設定
- オートパン設定
- エリア表示モード(タイトル)設定
- エリア表示モード(方位)設定

メモ:

- オートトレース設定、プリセットポジション設定は、設定時にマニュアルパンリミット設定が ON になっている場合、禁止領域ではパン操作できません。
- ただし、オートトレース動作とプリセットポジション移動は、マニュアルパンリミットより優先される動作なので、マニュアルパンリミット設定の前にオートトレース設定または、プリセットポジション設定を行い、その後マニュアルパンリミット設定を行なっても、禁止領域に関係なく動作します。

カメラタイトル設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。
RM-P2580 は表示位置を設定できます。[ポジションタイトル位置] (☞44 ページ)



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
▷ カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[カメラメニュー設定] 画面

3 [カメラタイトル / アラーム] 画面を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラタイトル / アラーム] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラタイトル / アラーム] 画面が表示されます。

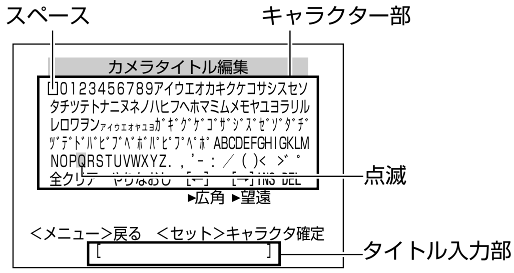
■ 設定

1 [カメラタイトル編集] にカーソル (▷) があることを確認し、[セット] ボタンを押す

- [カメラタイトル編集] 画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

カメラタイトル／アラーム	
▷ カメラタイトル編集．．	
エリア表示モード	OFF
アラームタイトルサイズ	大
アラームタイトルカラー	白
リモコンアラームタイトル編集．．	
カメラアラーム入力．．	
カメラアラーム出力．．	
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示	

[カメラタイトル / アラーム] 画面



[カメラタイトル編集] 画面

2 [パン / チルト] レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

選択した文字は点滅表示します。

3 [セット] ボタンを押す

タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。

メモ:

- タイトル入力部の点滅位置は、[広角] ボタンを押すと左に、[望遠] ボタンを押すと右に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

4 手順 2 、3 を繰り返す

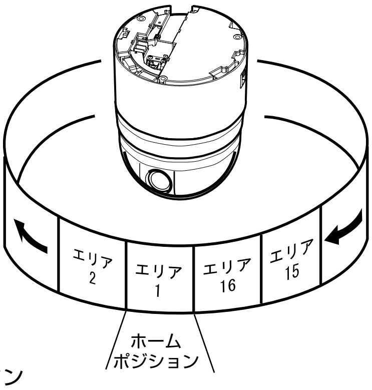
カメラタイトルをすべて入力します。

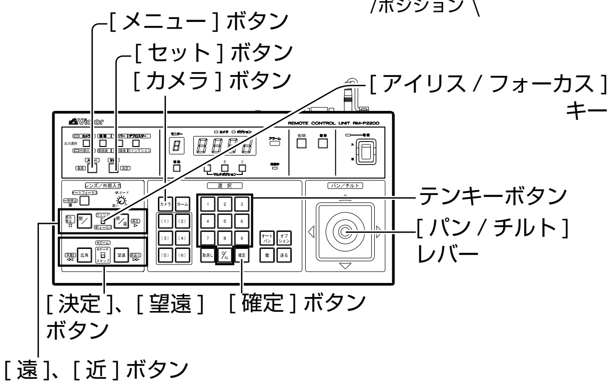
5 [メニュー] ボタンを押す

- 設定したカメラタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、準備から設定を繰り返し行なってください。

エリア表示モード設定（タイトル）

360° のパンニング（水平回転) 範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。
各エリアに 16 文字まで設定できます。
(表示の入 / 切 [エリア表示モード] (☞48 ページ)





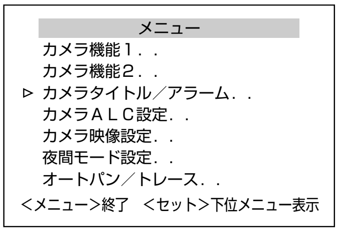
■ 準備

1 **カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書]）**

- ［カメラ] ボタン ➜ テンキーボタン（カメラ番号) ➜[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 **[カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)**

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。



カメラメニュー設定画面

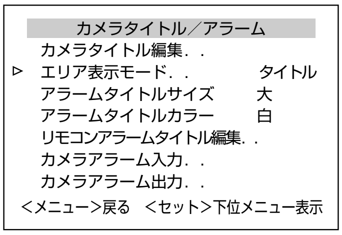
3 **[カメラタイトル / アラーム] 画面を選択する**

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラタイトル / アラーム] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラタイトル / アラーム] 画面が表示されます。

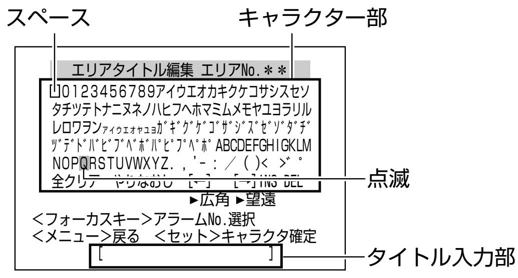
■ 設定

1 **[エリア表示モード ..] にカーソル (▷) を移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし [タイトル] を選択し、[セット] ボタンを押す**

- [エリアタイトル編集　No.1] 画面が表示されます。(ホームポジションはエリア No.1 に対応)
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。



[カメラタイトル / アラーム] 画面



[エリアタイトル編集] 画面

2 **[パン / チルト] レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する**

選択した文字は点滅表示します。

3 **[セット] ボタンを押す**

タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。

メモ:
- タイトル入力部の点滅位置は、[広角] ボタンを押すと左に、[望遠] ボタンを押すと右に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

4 **[アイリス/フォーカス]キーを“フォーカス”にして、[遠] ボタンを押す**

- カメラが次のエリアに移動し、[エリアタイトル編集　No.2] 画面が表示されます。
- [近] ボタンを押すと前のエリアに戻り、[エリアタイトル編集　No.1] 画面が表示されます。

5 **手順 2～ 4 を繰り返す**

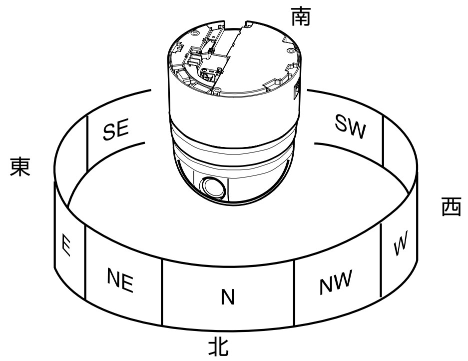
エリアタイトルをすべて入力します。

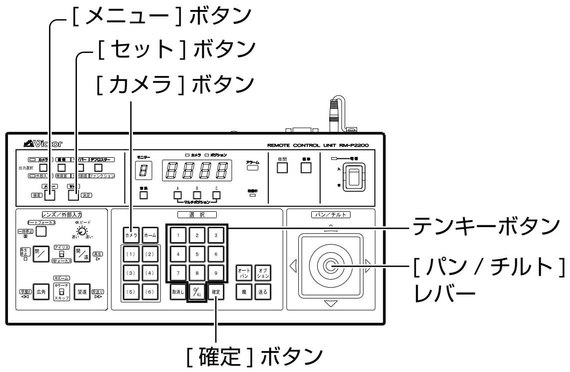
6 **[メニュー] ボタンを押す**

設定したエリアタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

エリア表示モード設定（方位）

基本軸となる方向 N（北）を設定すると、360° のパンニング（水平回転）範囲が 8 エリアに等分割され、カメラを手動でパンニング（水平回転）させると、それぞれ、N, NE, E, SE, S, SW, W, NW と表示されます。





■ 準備

1 **カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）**

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号） ➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 **[カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)**

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
▷ カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[カメラメニュー設定] 画面

3 **[カメラタイトル / アラーム] 画面を選択する**

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラタイトル / アラーム] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラタイトル / アラーム] 画面が表示されます。

■ 設定

1 **[エリア表示モード ..] にカーソル (▷) を移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし “ 方位 ” を選択し、[セット] ボタンを押す**

[方位開始位置設定] 画面が表示されます。

カメラタイトル／アラーム
カメラタイトル編集．．
▷ エリア表示モード．．　方位
アラームタイトルサイズ　大
アラームタイトルカラー　白
リモコンアラームタイトル編集．．
カメラアラーム入力．．
カメラアラーム出力．．
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

[カメラタイトル / アラーム] 画面

方位軸開始位置設定

方位軸の開始位置を設定します(N)
<メニュー>戻る

[方位開始位置設定] 画面

2 **[パン / チルト] レバーを左右に動かし基本軸となる方位（N）を設定する**

3 **[メニュー] ボタンを押す**

- 方位軸開始位置が設定され、通常画面左上に方位が表示されます。
- 方位はそれぞれ N（北）,NE（北東）,E（東）,SE（南東）,S（南）,SW（南西）,W（西）,NW（北西）で表示されます。

メモ：

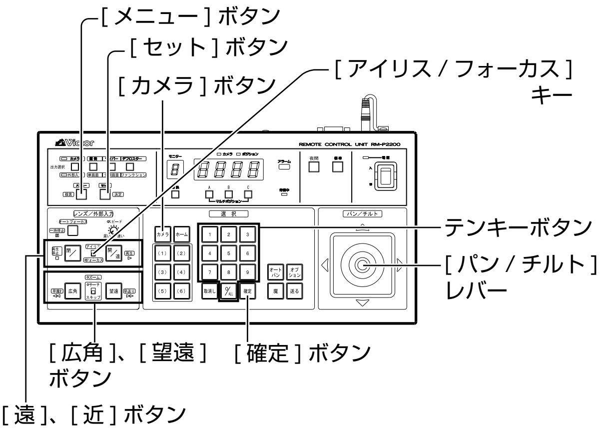
- 本メニュー表示中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでに方位軸開始位置が設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された方位軸開始位置に移動します。

リモコンアラームタイトル設定

アラーム入力時、表示するタイトルを設定します。
タイトルは 10 種類（リモコンアラームタイトル No.1 ～ No. 10) 設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

メモ:

- 本項目で設定したアラームタイトルを表示させるには、ご使用のリモコン側の設定が必要です。
  - RM-P2600/RM-P1000 をご使用の場合
    [データ I/O 端子設定] 画面 [端子 A アラーム入力設定] または [端子 B アラーム入力設定] の [アラームタイトル表示] を [カメラ編集 1 ～ 10] に設定する。
  - RM-P2580 をご使用の場合
    [DATA I/O] 画面 [TERMINAL] の [ALARM TEXT] を [EDIT1 ～ EDIT10] に設定する。
- ご使用のリモコンの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- RM-P2200 をご使用の場合、本項目については最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書]）

- [カメラ] ボタン ➜ テンキーボタン（カメラ番号）➜[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
▷ カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[カメラメニュー設定] 画面

3 [カメラタイトル / アラーム] 画面を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [カメラタイトル / アラーム] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [カメラタイトル / アラーム] 画面が表示されます。

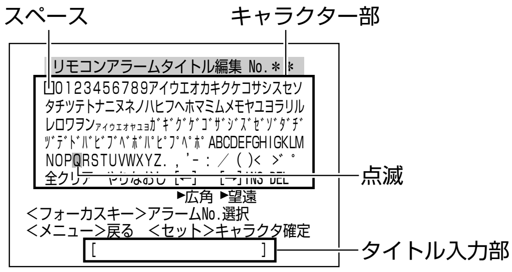
■ 設定

1 [リモコンアラームタイトル編集] を選択する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [リモコンアラームタイトル編集] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [リモコンアラームタイトル編集　No.1]画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

カメラタイトル／アラーム
カメラタイトル編集．．
エリア表示モード．．　方位
アラームタイトルサイズ　大
アラームタイトルカラー　白
▷ リモコンアラームタイトル編集．．
カメラアラーム入力．．
カメラアラーム出力．．
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

[カメラタイトル / アラーム] 画面



[リモコンアラームタイトル編集] 画面

2 [パン / チルト] レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

選択した文字は点滅表示します。

3 [セット] ボタンを押す

タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。

メモ:

- タイトル入力部の点滅位置は、[広角] ボタンを押すと左に、[望遠] ボタンを押すと右に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

4 [アイリス/フォーカス]キーを“フォーカス”にして、[遠] ボタンを押す

- 次のアラーム入力 [リモコンアラームタイトル編集 No.2] 画面が表示されます。
- [近]ボタンを押すと前のアラーム入力画面に戻ります。

5 手順 2～ 4 を繰り返す

すべてのアラーム入力画面（リモコンアラームタイトル編集 No.1 ～ No.10) において、タイトルを設定します。

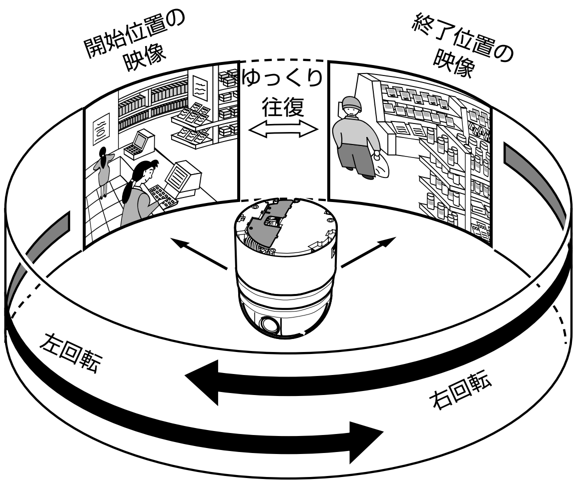
6 [メニュー] ボタンを押す

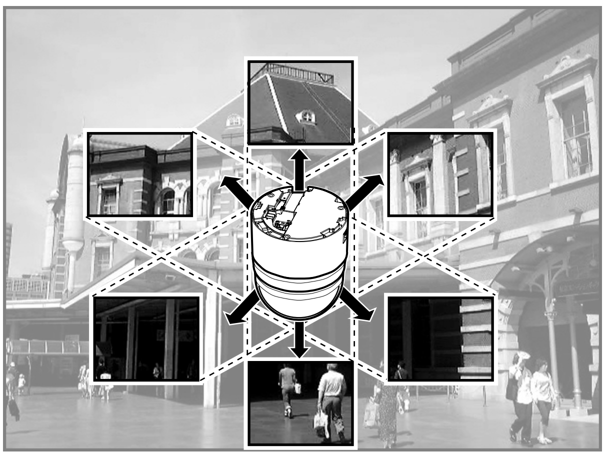
設定したリモコンアラームタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

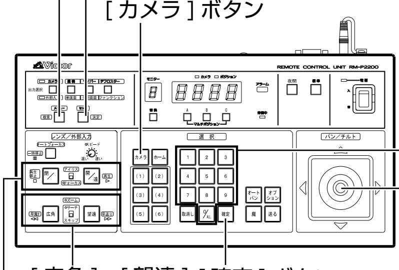
オートパン設定

オートパン動作の設定をします。オートパン動作とは下記動作です。

- 設定した 2 点間をゆっくり往復（左右、上下、斜め方向あらゆる 2 点間を設定可能）
- 設定地点から水平方向に右回転
- 設定地点から水平方向に左回転







■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
▷ オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[カメラメニュー設定] 画面

3 [オートパン / トレース] 画面を表示する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [オートパン / トレース] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [オートパン / トレース] 画面が表示されます。

■ 設定

1 [オートパン設定 ..] を選択し、[セット] ボタンを押す

- カーソルが [オートパン設定 ..] にあることを確認し、[セット] ボタンを押します。
- [オートパン設定] 画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
▷ オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[オートパン / トレース] 画面

オートパン設定
▷ オートパンモード　　往復
オートパン速度　　通常
オートパン位置設定．．
<メニュー>戻る

[オートパン設定] 画面

2 モードと速度を設定

- [オートパンモード] 項目でオートパンの動作を設定します。[設定値：往復、右回転、左回転]
- [オートパン速度] 項目で、オートパンの回転速度を設定します。

3 [オートパン位置設定] 項目にカーソル（▷）を移動し、[セット] ボタンを押す（往復時のみ）

[オートパン位置設定] 画面が表示されます。

4 開始位置の画角を合わせる（往復時のみ）

- [パン / チルト] レバー、[フォーカス]、[ズーム] ボタンで画面を合わせます。
- 終了位置設定画面では、フォーカスなどのレンズ操作は行えません。
- 設定中画面左下に“[開始]位置設定中→”と表示されます。

オートパン位置設定
[開始]位置設定中　→
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る　<セット>設定位置切換

[オートパン位置設定] 画面

5 [セット] ボタンを押す（往復時のみ）

開始位置から終了位置に切り換わります。

オートパン位置設定
←　[終了]位置設定中
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る　<セット>設定位置切換

[オートパン位置設定] 画面

6 終了位置を設定する（往復時のみ）

- [パン / チルト] レバー、[ズーム] ボタンで戻り位置を設定します。
- 設定中画面右下に“←[終了]位置設定中”と表示されます。

7 [メニュー] ボタンを押す

設定したオートパン位置が保存され、上位メニュー画面（[オートパン設定] 画面）が表示されます。

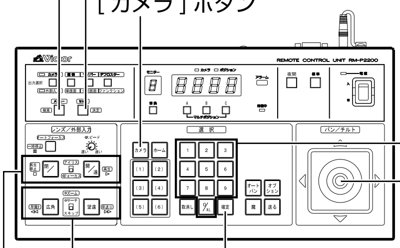
メモ：

- 終了位置でのフォーカス操作は行えません。
- カメラが移動中に、[セット] ボタン、または [メニュー] ボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからボタンを押してください。
- 本メニュー表示中はマニュアルパンリミットモードは一時的に OFF になります。メニュー終了後、マニュアルパンリミットが設定されても動作には影響しません。

- カメラをオートパン動作させるには、リモコンの [オートパン] ボタンを押します。
- 詳細につきましては、使用リモコンの［取扱説明書］をご覧ください。

オートトレース設定

手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能（約 30 秒間）を設定します。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号 ）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [カメラメニュー設定] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

[カメラメニュー設定] 設定画面が表示されます。

メニュー
カメラ機能１．．
カメラ機能２．．
カメラタイトル／アラーム．．
カメラＡＬＣ設定．．
カメラ映像設定．．
夜間モード設定．．
▷ オートパン／トレース．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示

[カメラメニュー設定] 画面

3 [オートパン / トレース] 画面を表示する

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [オートパン / トレース] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。
- [オートパン / トレース] 画面が表示されます。

オートパン／トレース
オートパン設定．．
▷ オートトレース設定．．
映像設定(オートパン／トレース)．．
リモコンオートパンキー　　オートパン
<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示

[オートパン / トレース] 画面

4 カーソル(▷) を [オートトレース設定 ..] 項目に移動し、[セット] ボタンを押す

[オートトレース設定] 画面が表示されます。

オートトレース設定
開始位置を設定してください
<メニュー>戻る　<セット>記録開始

[オートトレース設定] 画面

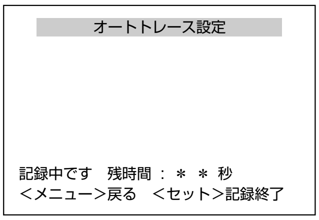
■ 設定

1 開始位置の設定

[パン / チルト] レバー、[フォーカス]、[ズーム] ボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

2 [セット] ボタンを押す（記録開始）

- オートトレース記録状態となります。[パン/チルト]レバー、[フォーカス]、[ズーム] ボタンでカメラを操作します。
- オートトレース機能は最大約 30 秒間記憶されます。記録中は画面に、“ 記録中です。残時間 :** 秒 ” と表示されます。約 30 秒経過後、自動的に記録は終了します。
- 30 秒以内に記録を終了する場合のみ手順 **3** を行なってください。
- 操作する内容によって、記録する時間は短くなることがあります。（最小約 10 秒）



[オートトレース設定] 画面

3 [セット] ボタンを押す（記録終了）

画面上に “ 記録終了しました ” と表示されます。

4 [メニュー] ボタンを押す

[オートパン / トレース] 画面に戻ります。

メモ：

- 本メニュー表示中はオート動作の記憶はできません。
- 本メニュー表示中はマニュアルパンリミット有効です。
- 本メニュー終了後、新たにマニュアルパンリミット設定されても、オートトレース動作には影響しません。
- オートトレースは、マニュアル操作を簡易的に記録しているため、再生時に位置が多少ずれることがあります。

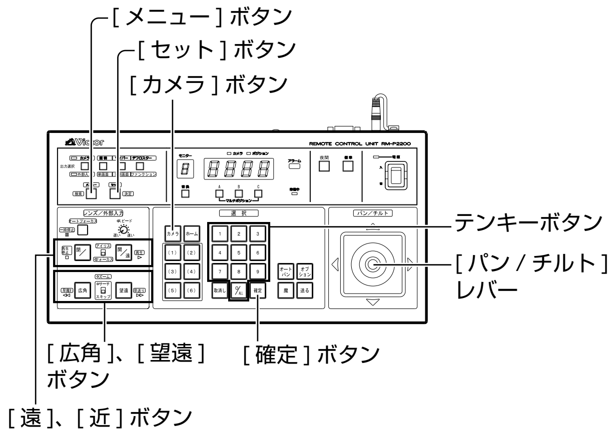
オートトレース動作をさせるには：

- カメラをオートトレース動作させるには、[オートパン / トレース] 画面の [リモコンオートパンキー] (☞55 ページ) 項目を “ オートトレース ” に設定する必要があります。
- 設定後、オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作終了後は、開始位置に戻り、30 秒間停止したのち繰り返し動作します。
- 動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

オートホワイトバランス調整

光源によって光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、[ホワイトバランスモード] 項目を “AWC” に設定してホワイトバランスを再調整してください。

メモ：
- 映像設定シーン画面を表示するには下記に示すホームポジション設定から入る方法とプリセットポジション設定から入る方法の 2 とおりがあります。プリセットポジション設定から入る方法はメニュー画面の流れを参照して操作してください。



■ 準備

1 [メニュー] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

```
−−−メニュー−−−−
  システム設定．．
  カメラメニュー設定．．
▷ ホームポジション設定．．
  プリセットポジション設定．．
  アラーム設定．．
```

[メニュー] 画面

2 [ホームポジション設定] 画面を表示させる
- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [ホームポジション設定 ..] 項目に移動し [セット] ボタンを押します。
- [ホームポジション設定] 画面が表示されます。
- カメラはホームポジションに移動します。

```
−−−ホームポジション設定−−−
  ユニット−端子番号   1-1
▷ 映像設定．．

<標準>→ポジション登録モード
<戻る><送る>→[ユニット端子番号]選択
```

[ホームポジション設定] 画面

3 [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [映像設定 ..] 項目に移動、[セット] ボタンを押す

[ホームポジションタイトル / 映像設定] 画面が表示されます。

```
ホームポジションタイトル／映像設定
  ホームポジションタイトル編集．．
▷ 映像設定．．          シーンA

<メニュー>戻る  <セット>下位メニュー表示
```

[ホームポジションタイトル / 映像設定] 画面

■ 設定

1 画面の中心付近に（被写体と同じ照明条件）白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す

2 [映像設定シーン A] 画面を表示
- [パン/チルト]レバーでシーンを選択➜[セット]ボタン
- [映像設定シーン A] が表示されます。

```
映像設定　シーンA
 アイリスモード       AUTO
 ExDRモード          OFF
 ExDRモード          OFF
 ＢＬＣモード ＯＦＦ
▷ホワイトバランスモード  AWC
 Ｒゲイン            − − −
 Ｂゲイン            − − −
<メニュー>戻る <セット>ＡＷＣ開始
```

[映像設定シーン A] 画面

3 [ホワイトバランスモード] 項目を “AWC” に設定
- カーソル (▷) を [ホワイトバランスモード] 項目に移動し、[パン / チルト] レバー（左右）で “AWC” に設定します
- 画面に “＜セット＞AWC 開始 ” と表示されます。

4 [セット] ボタンを押す（調整開始）
- オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面左下に “AWC 動作中 ” と表示されます。
- 正しくホワイトバランスがとれると、“AWC 正常終了 ” と表示されます。

■ エラー表示

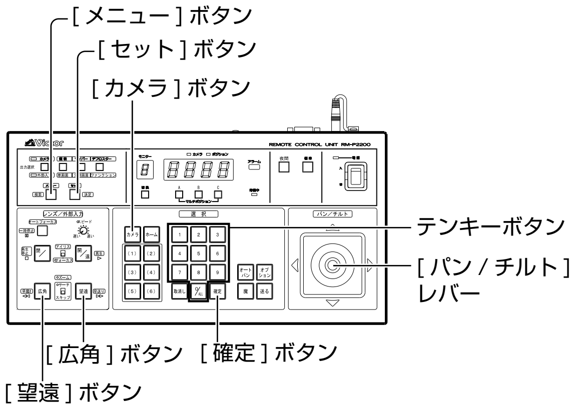
オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

メッセージ	原因
AWC エラー：補正範囲外	被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。 白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。
AWC エラー：ローライト（光量不足）	照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
AWC エラー：ハイライト（光量過剰）	照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

メモ：
- 白黒モードで動作中、[ホワイトバランスモード] は “- - -” と表示され設定できません。

ホームポジションタイトル設定

ホームポジションのタイトルを最大 2 行 40 文字まで設定できます。
タイトルがホームポジションの画面下に表示されます。



■ 準備

1 **カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）**

- ［カメラ］ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号）➡［確定］ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 **[メニュー] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)**

```
　　　　－－－メニュー－－－
　　システム設定．．
　　カメラメニュー設定．．
▷　ホームポジション設定．．
　　プリセットポジション設定．．
　　アラーム設定．．
```

[メニュー] 画面

3 **[ホームポジション設定] 画面を表示させる**

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [ホームポジション設定 ..] 項目に移動し [セット] ボタンを押します。
- [ホームポジション設定] 画面が表示されます。
- カメラはホームポジションに移動します。

```
　　－－－ホームポジション設定－－－
　　ユニット一端子番号　　1-1
▷　映像設定．．

<標準>→ポジション登録モード
<戻る><送る>→[ユニット端子番号]選択
```

[ホームポジション設定] 画面

4 **[パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [映像設定 ..] 項目に移動し、[セット] ボタンを押す**

[ホームポジションタイトル / 映像設定] 画面が表示されます。

```
　　ホームポジションタイトル／映像設定
▷　ホームポジションタイトル編集．．
　　映像設定．．　　　　　　シーンA

<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

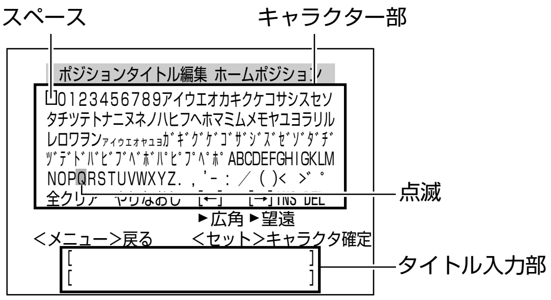
[ホームポジションタイトル / 映像設定] 画面

ホームポジションタイトル設定（つづき）

■ 設定

1 [ホームポジションタイトル設定] にカーソル（▷）があることを確認し、[セット] ボタンを押す

- [ホームポジションタイトル編集] が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。



[ホームポジションタイトル編集] 画面

2 [パン / チルト] レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

選択した文字は点滅表示します。

3 [セット] ボタンを押す

- タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
- [広角] ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

4 手順 *2* 、*3* を繰り返す

ホームポジションタイトルをすべて入力します。

5 [メニュー] ボタンを押す

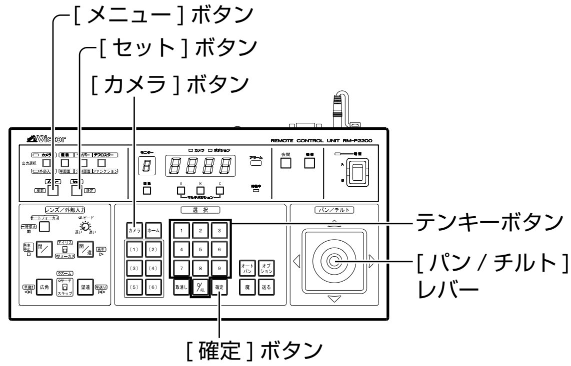
上位メニュー画面が表示されます。

メモ：

- 複数のカメラにホームポジションタイトルを設定する場合は、準備の ***1*** ～ ***3***、設定の ***1*** ～ ***5*** を繰り返し行なってください。
- また、準備の手順 ***4*** で、[戻る / 送る] ボタンを押すと、カメラの選択ができます。

プリセットポジション設定

ポジション選択時に表示するタイトルを設定します。
各ポジションごとに最大 16 文字まで設定できます。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ 使用リモコンの［取扱説明書］）

- [カメラ] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号）➡[確定] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [メニュー] 画面を表示させる (☞ 36、37 ページ)

```
        ---メニュー---
  システム設定. .
  カメラメニュー設定. .
  ホームポジション設定. .
▷ プリセットポジション設定. .
  アラーム設定. .
```

[メニュー] 画面

3 [プリセットポジション設定] 画面を表示させる

- [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [プリセットポジション設定 ..] 項目に移動し [セット] ボタンを押します。
- [プリセットポジション設定] 画面が表示されます。

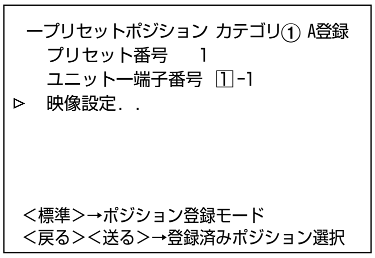
```
     プリセットポジション設定
  カテゴリー      ①
  --------------------------
  ポジションタイトル設定. .
  番号モード      4, 9抜き
▷ 登録. .         Aポジション
  クリア. .       全て(A,B,C)
```

[プリセットポジション設定] 画面

■ 設定

1 [プリセットポジション登録] 画面を表示させる

カーソル（▷) を [登録] 項目に移動し、[セット] ボタンを押します。

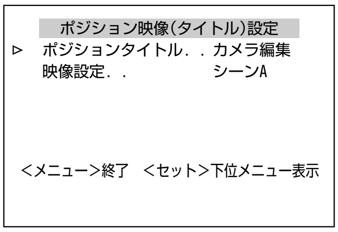


[プリセットポジション登録] 画面

2 [パン / チルト] レバーを左右に動かし、プリセット番号を選択する

3 [パン / チルト] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [映像設定 ..] 項目に移動し [セット] ボタンを押す

[ポジション映像 (タイトル) 設定] 画面が表示されます。

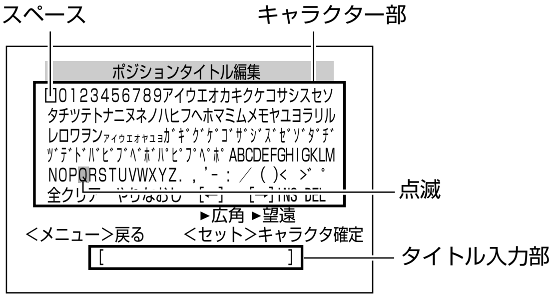


[ポジション映像 (タイトル) 設定] 画面

4 カーソル(▷) を [ポジションタイトル ..] 項目に移動し、[パン / チルト] レバーを左右に動かし、[カメラ編集] を選択する

5 [セット] ボタンを押す

- ポジションタイトル編集画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。



[ポジションタイトル編集] 画面

6 [パン / チルト] レバーを上下に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

選択した文字は点滅表示します。

7 [セット] ボタンを押す

タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。

メモ：

- タイトル入力部の点滅位置は、[広角] ボタンを押すと左に、[望遠] ボタンを押すと右に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

8 手順 *2* ～ *7* を繰り返す

プリセットポジションタイトルをすべて入力します。

9 [メニュー] ボタンを押す

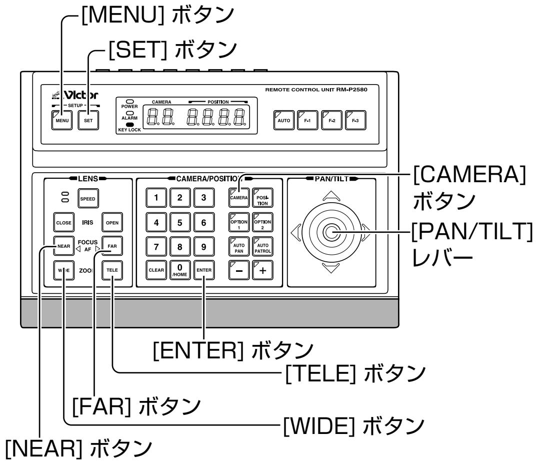
- 設定したポジションタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のプリセットポジションタイトルを設定する場合は、準備から設定を繰り返し行なってください。

メモ：

- プリセットポジション設定時にマニュアルパンリミット設定が ON になっている場合、禁止領域ではパン操作できません。
- ただし、プリセットポジション移動は、マニュアルパンリミットより優先される動作なので、マニュアルパンリミット設定の前にプリセットポジション設定を行い、その後マニュアルパンリミット設定を行なっても、禁止領域に関係なく動作します。

オートホワイトバランス調整

光源によって光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、[ホワイトバランスモード] 項目を “AWC” に設定してホワイトバランスを再調整してください。



■ 準備

1 カメラを選択する（☞ RM-P2580 の［取扱説明書］）

- [CAMERA] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号) ➡[ENTER] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [メニュー] 画面を表示させる (☞ 37 ページ)

```
メニュー
  カメラ機能１．．
  カメラ機能２．．
  カメラタイトル/アラーム．．
  カメラＡＬＣ設定．．
  カメラ映像設定．．
  夜間モード設定．．
  オートパン/パトロール/トレース．．
▷ ポジション機能．．
  データクリア．．
<メニュー>終了　<セット>下位メニュー表示
```

[メニュー] 画面

3 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし､カーソル (▷) を [ポジション機能 ..] 項目に移動し、[SET] ボタンを押す

[ポジション機能設定 ホームポジション] 画面が表示されます。

```
ポジション機能設定　ホームポジション
  ポジションタイトル編集．．
▷ 映像設定．．　　　　　シーンA

<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

[ポジション機能設定 ホームポジション] 画面

■ 設定

1 画面の中心付近に（被写体と同じ照明条件）白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す

2 [映像設定シーン A] 画面を表示

- [PAN/TILT] レバーで [映像設定 ..] を選択 ➡ [SET] ボタン
- [映像設定シーン A] が表示されます。

```
映像設定　シーンA
  アイリスモード　　　　　AUTO
  ExDRモード　　　　　　OFF
  ExDRモード　　　　　　OFF
  ＢＬＣモード ＯＦＦ
▷ホワイトバランスモード　AWC
  Ｒゲイン　　　　　　　－－－
  Ｂゲイン　　　　　　　－－－
<メニュー>戻る　<セット>ＡＷＣ開始
```

[映像設定シーン A] 画面

3 [ホワイトバランスモード] 項目を “AWC” に設定

- カーソル (▷) を [ホワイトバランスモード] 項目に移動し、[PAN/TILT] レバー（左右）で “AWC” に設定します
- 画面に “＜セット＞AWC 開始 ” と表示されます。

4 [SET] ボタンを押す（調整開始）

- オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面左下に “AWC 動作中 ” と表示されます。
- 正しくホワイトバランスがとれると、“AWC 正常終了 ” と表示されます。

■ エラー表示

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

メッセージ	原因
AWC エラー：補正範囲外	被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。 白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。
AWC エラー：ローライト（光量不足）	照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
AWC エラー：ハイライト（光量過剰）	照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

メモ：

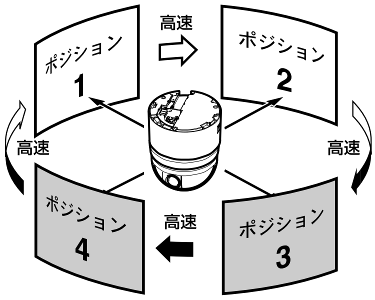
- 白黒モードで動作中､[ホワイトバランスモード] は “- - -” と表示され設定できません。

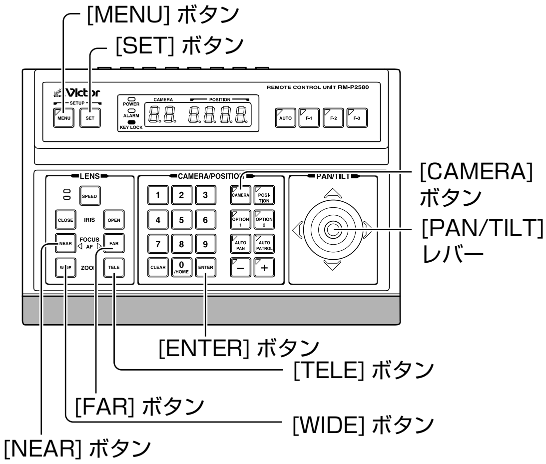
オートパトロール設定

複数のポジションを順番に移動するオートパトロール機能を設定します。
モード 1 ～ 3、各モードにパトロール 1 ～ 100 まで設定できます。（モードは曜日や時間帯、例えばモード 1 は夜、モード 2 は昼のように設定すると便利です。）

メモ：

- 設定を行う前にポジションの登録を行なってください。登録方法の詳細につきましては、RM-P2580 の［取扱説明書］をご覧ください。





■ 準備

1 カメラを選択する（☞ RM-P2580 の［取扱説明書］）

- [CAMERA] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号）➡[ENTER] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

2 [メニュー] 画面を表示させる (☞ 37 ページ)

3 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [オートパン / パトロール / トレース] 項目に移動し、[SET] ボタンを押す

[オートパン / パトロール / トレース] 画面が表示されます。

```
オートパン／パトロール／トレース
  オートパン設定．．
▷ オートパトロール設定．．
  オートトレース設定．．
  映像設定(オートパン／トレース)．．
  リモコンオートパンキー　オートパン
  リモコンオートパトロールキー オートパトロール

<メニュー>戻る　<セット>下位メニュー表示
```

[オートパン / パトロール / トレース] 画面

4 [オートパトロール設定 ..] 項目にカーソル（▷）を移動し、[SET] ボタンを押す

[オートパトロール設定 モード１] 画面が表示されます。

```
オートパトロール設定 モード1
▷ パトロール１ ホーム　　　　１０秒
  パトロール２ ポジション１　１０秒
  パトロール３ ポジション２　１０秒
  パトロール４ ポジション３　１０秒
  パトロール５ ポジション４　１０秒
  パトロール６ ポジション５　１０秒
  パトロール７ ポジション６　１０秒
  パトロール８ ポジション７　１０秒
<フォーカスキー>モード　<ズームキー>ページ
<メニュー>戻る
```

[オートパトロール設定 モード１] 画面
（パトロール 1～8 表示例）

オートパトロール設定（つづき）

■ 設定

1 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし、カーソル（▷）を設定したいパトロール番号に移動する

- 次の設定ページ（パトロール 9 ～ 16）を表示するには [TELE] ボタンを押します。
- 前のページを表示するには、[WIDE] ボタンを押します。

```
オートパトロール設定 モード1
▷ パトロール9  ポジション8    10秒
   パトロール10ポジション9    10秒
   パトロール11ポジション10   10秒
   パトロール12ポジション11   10秒
   パトロール13ポジション12   10秒
   パトロール14ポジション13   10秒
   パトロール15ポジション14   10秒
   パトロール16ポジション15   10秒
<フォーカスキー>モード  <ズームキー>ページ
<メニュー>戻る
```

[オートパトロール設定 モード 1] 画面
（パトロール 9 ～ 16 表示例）

2 ポジションを設定する
[POSITION] ボタン ➜ テンキーボタン（ポジション番号）➜ [ENTER] ボタン

初期設定値はパトロール 1 にホーム、パトロール 2～100 にポジション 1 ～ 99 が順番に設定されています。

3 時間を設定する

[PAN/TILT] レバーを左右に動かし、時間を設定します。（秒 , 分）

選択できる時間：スキップ、10 秒、20 秒、30 秒、45 秒、1 分、2 分

メモ：
- スキップを設定すると、オートパトロール時スキップ（とばされ）され、選択されません）。
- 初期設定値は全て " 10 秒 " に設定されています。

4 手順 *1* ～ *3* を繰り返す

すべてのパトロール番号のポジションと時間を設定します。

5 モードを切り換える

- [FAR] ボタン、[NEAR] ボタンでモードを切り換えます。
- モードを切換えたら、***1***～ ***4*** を繰り返してください。

6 [MENU] ボタンを押す

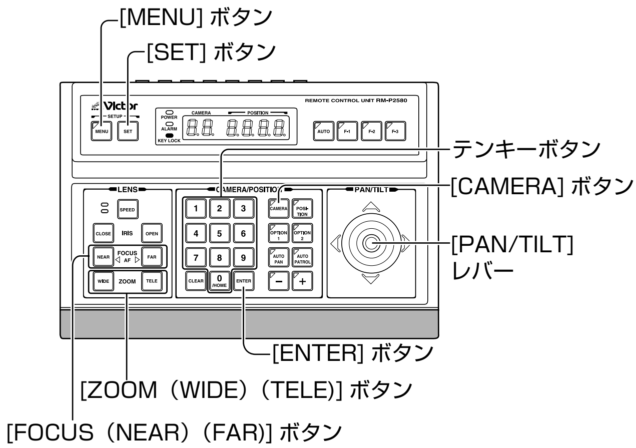
- 上位メニューに戻ります。
- 設定したオートパン位置が保存され、上位メニュー画面が表示されます。

オートパトロール動作をさせるには：
- カメラをオートパトロール動作させるには、RM-P2580 の [AUTO PATROL] ボタンを押します。
- 設定後のオートパトロールのモード切換えは、オートパトロールモード画面を表示し、[FAR] ボタン、[NEAR] ボタンで行なってください。
- オートパトロールは RM-P2580 からのみ設定できます。

ポジションタイトル設定

ポジション選択時に表示するタイトルを設定します。
各ポジションごとに 16 文字まで設定できます。

メモ：
- 設定を行う前にポジションの登録を行なってください。登録方法の詳細につきましては、RM-P2580 の［取扱説明書］をご覧ください。

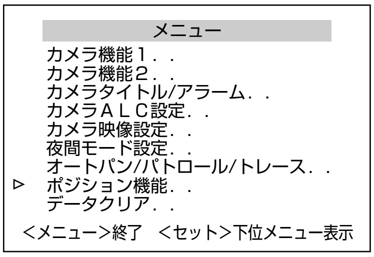


■ 準備

1 カメラを選択する（☞ RM-P2580 の［取扱説明書］）

- [CAMERA] ボタン ➡ テンキーボタン（カメラ番号）➡[ENTER] ボタン
- 選択カメラの映像が出力されます。

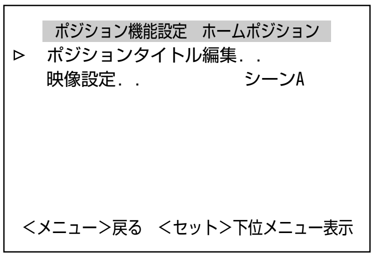
2 [メニュー] 画面を表示させる (☞ 37 ページ)



[メニュー] 画面

3 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし、カーソル (▷) を [ポジション機能 ..] 項目に移動し、[SET] ボタンを押す

[ポジション機能設定 ホームポジション] 画面が表示されます。



[ポジション機能設定 ホームポジション] 画面

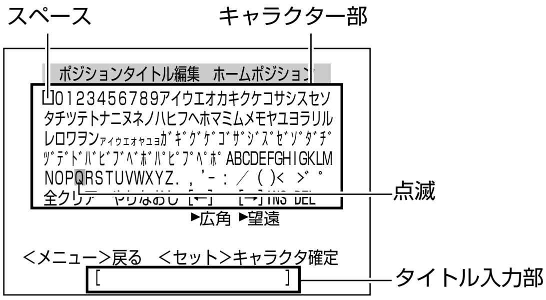
■ 設定

1 [ポジションタイトル編集 ..] 項目にカーソル（▷）があることを確認し、[SET] ボタンを押す

- ポジションタイトル編集画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

2 ポジションを選択（☞ RM-P2580 の［取扱説明書］）

- [POSITION] ボタン ➡ テンキーボタン（ポジション番号）➡[ENTER] ボタン
- 選択ポジションの映像が出力します。
- 次のポジションは、[+] ボタンでも選択できます。



[ポジションタイトル編集] 画面

3 [PAN/TILT] レバーを上下に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

選択文字は点滅表示します

4 [SET] ボタンを押す

タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。

メモ：

- タイトル入力部の点滅位置は、[WIDE] ボタンを押すと左に、[TELE] ボタンを押すと右に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

5 手順 **2** ～ **4** を繰り返す

- 次のポジションを選択するとポジションタイトルは登録されます。
- すべてのポジションにおいてタイトルを設定します。

6 [MENU] ボタンを押す

設定したポジションタイトルが保存され、上位メニューに戻ります。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	● カメラと天井取付金具はしっかり取り付けられていますか？ ● 天井取付金具の端子台へケーブル類が正しく接続されていますか？ (TK-S685/TK-S686B) ● 電源ケーブル、同軸ケーブルなどのケーブル類が正しく接続されていますか？ (TK-S686WPB)	● カメラと天井取付金具をしっかり取り付けます。 ● ケーブル類を正しく接続します。
一度電源が入るが、回転台が動作すると電源がすぐ落ちる	● 本機と電源ユニット間のケーブルに問題はありませんか？ (ケーブルが長すぎたり、細いものを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり回転台動作中電流が流れ電圧が低下してしまいます。) ● 輸送用のテープと緩衝剤ははずしてありますか？	● 電源ケーブルの抵抗値を低いもの（太いもの、短いもの）にかえてください。 ● 輸送用テープと緩衝剤をはずしてください。
画面上に “FAN STOP**” と表示される (** は数字)	**● TK-S686WPB のみ** ● 内部の冷却ファン、もしくはヒーター用ファンの異常です。	● “FAN STOP**” の表示文字をお控えの上、お近くのビクターサービスへお問い合わせください。本機の電源は切っておいてください。

■ RM-P2200/ RM-P2600/ RM-P1000 のシステム

症状	原因	処置
映像が出ない 電源が入らない	● 本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありませんか？ (電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。)	● 抵抗値の低いケーブルを正しいケーブル長で接続してください。 (本機の動作中（定格電流が流れた状態）にて本機端子での供給電圧が定格の電圧となっていることを確認してください。)
	● レンズキャップが付いたままになっていませんか？	● レンズキャップをはずします。 ☞ 19 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 28 ページ (TK-S686WPB)
	● RM-P2200 システムの場合 ● CCU､電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となっていますか？ (本機は CCU、電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となってはじめて映像が出力します。)	● CCU、電源ユニット両方の電源が “ 入 ” となっているか確認してください。
	● RM-P2600 システムの場合 ● SW-2600、電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となっていますか？ (本機は SW-2600、電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となってはじめて電源が入ります。)	● SW-2600、電源ユニット両方の電源が “ 入 ” となっているか確認してください。
	● RM-P1000 システムの場合 ● SW-U1403、電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となっていますか？ (本機は SW-U1403、電源ユニットの両方の電源が “ 入 ” となってはじめて電源が入ります。)	● SW-U1403、電源ユニット両方の電源が “ 入 ” となっているか確認してください。
映像の同期がみだれる	● 使用ケーブル長に応じて、設定スイッチ 1,2 の設定が正しく行われていますか？	● 使用ケーブル長によって設定スイッチを切り換えてください。 ☞ 21 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 31 ページ (TK-S686WPB)

症状	原因	処置
● リモコンの操作がきかない ● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない ● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない	● 設定スイッチ4, 5の設定が正しく行われていますか？ ● キーロック（誤操作防止）状態になっていませんか？ ● リモートコントロールユニットのメニューでカメラタイプの設定が“通信制御カメラ”に設定されていますか？	● スイッチを正しく設定します。 ☞ 21 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 31 ページ (TK-S686WPB) ● キーロックを解除します。 (☞ リモートコントロールユニットの［取扱説明書］) ● カメラタイプの設定を“通信制御カメラ”に設定します。 (☞ リモートコントロールユニットの［取扱説明書］)

■ RM-P2600 のシステム

症状	原因	処置
SW-2600 の過電流保護回路が動作し、カメラの電源が入らない (画面に“ カデンリュウを検出しました！ ”と表示される)	● 天井取付金具の設定スイッチ7の設定は正しく行われていますか？ (TK-S686B) ● 設定スイッチ 7 の設定は正しく行われていますか？ (TK-S686WPB)	● 使用ケーブル長によって設定スイッチを切り換えてください。 ☞ 21 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 31 ページ (TK-S686WPB)

■ RM-P2580 のシステム

症状	原因	処置
映像が出ない 電源が入らない	● 電源ケーブルの太さは十分ですか？ ● スイッチ 7 は “ON” になっていますか？	● 正しい太さのケーブルを使ってください。 ☞ 25 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 32 ページ (TK-S686WPB) ● “ON” に設定します。 ☞ 21 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 31 ページ (TK-S686WPB)
	● レンズキャップが付いたままになっていませんか？ ● TK-S686WPB のみ ● − 40℃〜 − 20℃環境での電源投入ではありませんか？	● レンズキャップをはずします。 ☞ 19 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 28 ページ (TK-S686WPB) ● 内部ヒーターの効果がでるまで約 2 時間程度、この状態を継続してください。
● リモコンの操作がきかない ● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない ● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない	● 設定スイッチ 4, 5, 8 の設定が正しく行われていますか？ ● キーロック（誤操作防止）状態になっていませんか？ ● 制御信号ケーブルの接続は正しく行われていますか？	● スイッチを正しく設定します。 ☞ 21 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 31 ページ (TK-S686WPB) ● キーロックを解除します。 (☞RM-P2580 取扱説明書) ● ケーブルをを正しく接続します。 ☞ 25 ページ (TK-S685/TK-S686B) ☞ 33 ページ (TK-S686WPB)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。

保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。

その他詳細は保証書をご覧ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備　考
撮像素子（CCD など）	一年保証のみ。 追加延長保証の対象外です。
ズームレンズ組み立て スリップリング 冷却ファン アラーム出力１用リレー ヒーター用リレー (TK-S686WPB) ヒーター用ファン (TK-S686WPB)	消耗部品

■ 消耗部品の寿命のめやす

- ズームレンズ組み立て
  ズーム動作........................約 200 万動作
  フォーカス動作........................約 400 万動作
- スリップリング........................約500万動作
- 冷却ファン........................約 5 万時間
- アラーム出力１用リレー........................約 10 万回
- ヒーター用リレー (TK-S686WPB)........................約 10 万回
- ヒーター用ファン (TK-S686WPB)........................約 5 万時間

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

メンテナンス契約のご案内

本機は、機械的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店又は最寄りのビクターサービスにご相談ください。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名・品番	：コンビネーションカメラ（ドーム型） TK-S685/TK-S686B
品名・品番	：コンビネーションカメラ（屋外ドーム型） TK-S686WPB
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

TK-S685/TK-S686B

■ カメラ部

撮像素子	：1/4 型、インターライン転送方式 CCD
有効画素数	768（H）× 494（V）
同期方式	：外部同期（専用 CCU からの特殊複合同期信号による）, 内部同期
映像出力	：CCU 接続時：専用 CCU に適合 CCU 非接続時：VBS 1V（p-p）75 Ω
走査周波数	：水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz
S / N	：50 dB（標準）（AGC モード :OFF、エンハンスレベル：－ 5） 48 dB（最低）（AGC モード :OFF、エンハンスレベル：－ 5）
水平解像度	：540 本（標準、WIDE 端） 520 本（最低、WIDE 端）
最低被写体照度	：カラー時： 1.0 lx（50 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 0.5 lx （理論値）（25 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 白黒時（理論値）： 0.08 lx（50 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 0.04 lx（25 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端）
ホワイトバランス	：ATW-W/ATW-N/AWC より選択
電子シャッター	：1/60,1/100 秒（50 Hz フリッカーレス）, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
逆光補正	：可、測光エリアは 4 ヵ所を選択可
カラーレベル調整	：可
輪郭補整	：水平、垂直両効き（レベル調整可）

■ レンズ部 (TK-S686B)

ズーム比	：約 36 倍
焦点距離	：3.43 mm ～ 122 mm
最大口径比	：F1.6（WIDE 端）～ F4.5（TELE 端）
絞り範囲	：F1.6（フルオープン）~F360 相当
最至近距離	：約 1.8 m（TELE 端） 約 0.6 m（WIDE 端）

■ レンズ部 (TK-S685)

ズーム比	：約 27 倍
焦点距離	：3.43 mm ～ 92.6 mm
最大口径比	：F1.6（WIDE 端）～ F3.5（TELE 端）
絞り範囲	：F1.6（フルオープン）~F360 相当
最至近距離	：約 1.8 m（TELE 端） 約 0.6 m（WIDE 端）

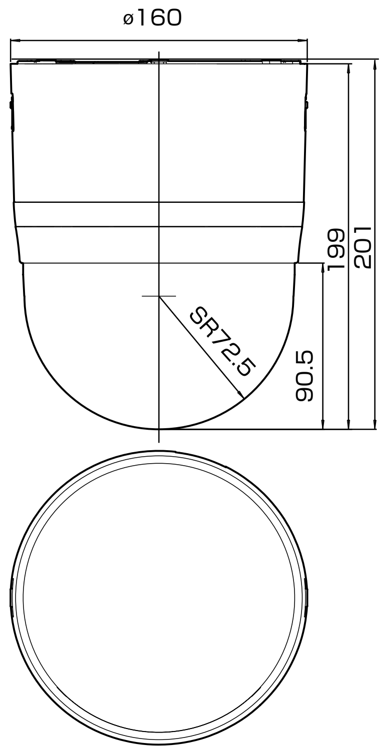
■ 回転台部

水平回転範囲	：360° エンドレス回転
水平回転速度	：約 0.04°/s ～ 約 500°/s
垂直回転範囲	：－ 5°～ 185°（水平 ～ 真下 ～ 水平）
垂直回転速度	：約0.04°/s ～ 約 500°/s

■ 総合

電源	：AC24 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	：18 W
プリセットポジション数	：最大 256（RM-P1000、RM-P2200、RM-P2600 使用時） ：最大 100（RM-P2580 使用時）
適合コントロールユニット	：RM-P1000、RM-P2200、RM-P2580、RM-P2600
周囲温度	：－ 10 ℃～ 50 ℃（動作） 0 ℃～ 40 ℃（推奨）
湿度	：20 %RH ～ 90 %RH（結露なきこと）
質量	：1.9 ㎏（カメラ本体、ドームカバー、天井取付金具を含む）
添付物・付属品	：ドームカバー. . . . . .1 天井取付金具. . . . . .1 アラームケーブル . . . . .1 テンプレート . . . . .1 ワイヤークランプ . . . . .1 取扱説明書 . . . . .1 安全上のご注意 . . . . .1 保証書. . . . . .1 ビクターサービス窓口案内. 1

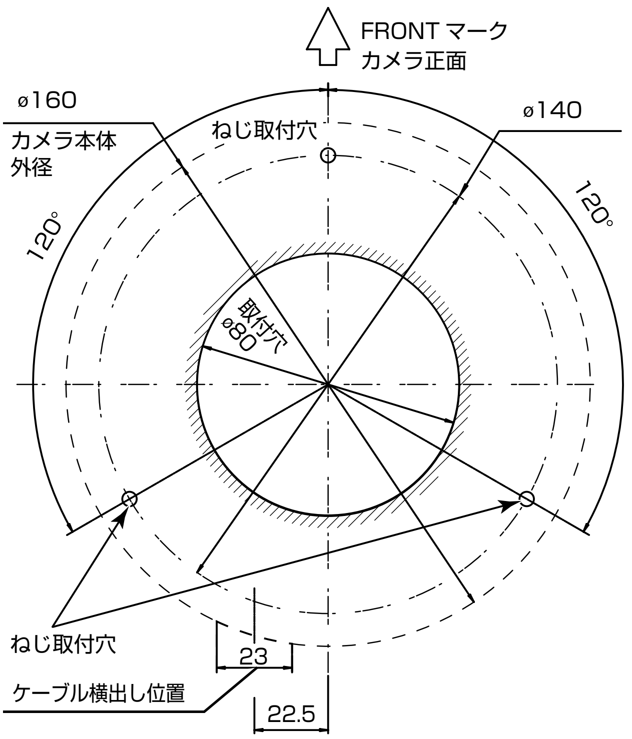
■ 外形寸法図［単位：mm］



仕様（つづき）

TK-S685/TK-S686B（つづき）

■ 天井取付穴［単位：mm］



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S686WPB

■ カメラ部

撮像素子	： 1/4 型、インターライン転送方式 CCD 768（H）× 494（V）
同期方式	： 外部同期（専用 CCU からの特殊複合同期信号による）, 内部同期
映像出力	： CCU 接続時：専用 CCU に適合 CCU 非接続時：VBS 1V（p-p）75 Ω
走査周波数	： 水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz
S / N	： 50 dB（標準）（AGC モード :OFF、エンハンスレベル：－ 5） 48 dB（最低）（AGC モード :OFF、エンハンスレベル：－ 5）
水平解像度	： 540 本（標準、WIDE 端） 520 本（最低、WIDE 端）
最低被写体照度	： カラー時： 1.0 lx（50 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 0.5 lx（理論値）(25 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 白黒時（理論値）： 0.08 lx（50 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端） 0.04 lx（25 % 出力 , AGC SUPER, WIDE 端）
ホワイトバランス	： ATW-W/ATW-N/AWC より選択
電子シャッター	： 1/60 ,1/100（50 Hz フリッカーレス）, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
逆光補正	： 可、測光エリアは 4 ヵ所を選択可
カラーレベル調整	： 可
輪郭補整	： 水平、垂直両効き（レベル調整可）

■ レンズ部

ズーム比	： 約 36 倍
焦点距離	： 3.43 mm ~ 122 mm
最大口径比	： F1.6（WIDE 端）~ F4.5（TELE 端）
絞り範囲	： F1.6（フルオープン）~ F360 相当
最至近距離	： 約 1.8 m（TELE 端） 約 0.6 m（WIDE 端）

■ 回転台部

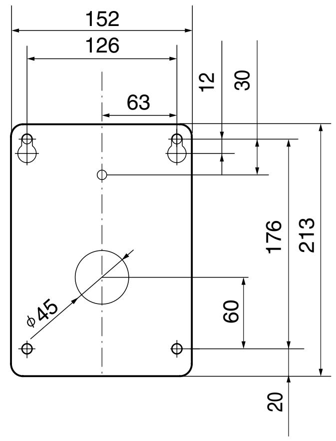
水平回転範囲	： 360° エンドレス回転
水平回転速度	： 約 0.04°/s ~ 約 500°/s
垂直回転範囲	： － 5°~ 185°（水平 ~ 真下 ~ 水平）
垂直回転速度	：約0.04°/s ~ 約 500°/s

■ 総合

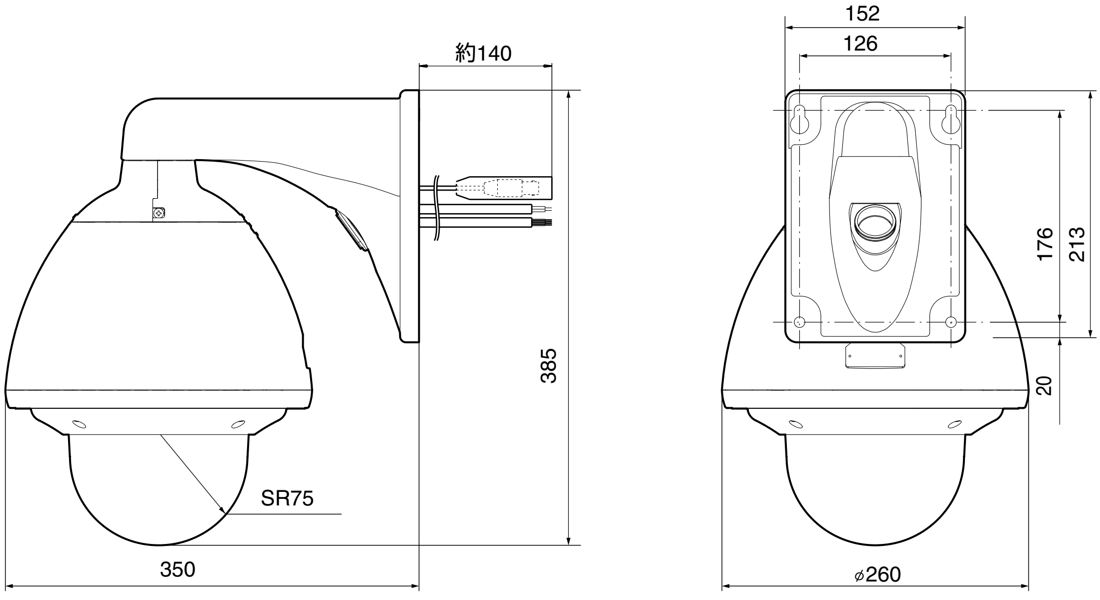
電源	：	AC24 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	：	48 W
プリセットポジション数	：	最大 256（RM-P1000、RM-P2200、RM-P2600 使用時）
	：	最大 100（RM-P2580 使用時）
適合コントロールユニット	：	RM-P1000、RM-P2200、RM-P2580、RM-P2600
周囲温度	：	− 40 ℃〜 50 ℃（動作）（常時入電状態）※ 1 − 30 ℃〜 40 ℃（推奨）
湿度	：	20 %RH 〜 90 %RH（結露なきこと）
質量	：	5.5 kg
添付物・付属品		取扱説明書 . . . . 1 安全上のご注意. . . . . 1 保証書 . . . . 1 ビクターサービス窓口案内 1

※ 1 電源投入時の温度がー 40 ℃〜 − 20 ℃ の場合、ヒーターの効果が出るまで (約２時間) 映像が出ないことがあります。

■ 壁面取付穴 [単位 :mm]



■ 外形寸法図 [単位 :mm]



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S685/TK-S686B コンビネーションカメラ（ドーム型）
TK-S686WPB コンビネーションカメラ（屋外ドーム型）

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話（045）450-8950［代表］
FAX （045）450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7245

LST0835-001A